

南陽市字限図調査報告書 (3)

— 漆山・梨郷 —

坂上神明宮所蔵 棟札及び神像の調査

2023年3月

南陽市教育委員会

南陽市字限図調査報告書（3）

— 漆山・梨郷 —

坂上神明宮所蔵 棟札及び神像の調査

令和5年3月

南陽市教育委員会

凡 例

1 本報告書は、埋蔵文化財分布調査基礎調査として平成 25 年度から実施してきた南陽市内の地名と字限図調査のうち、漆山、梨郷分をまとめた南陽市字限図調査報告書及び令和 3 年度に実施した坂上神明宮所蔵の棟札及び神像調査の報告書である。

2 調査は、南陽市教育委員会が実施した。

3 事務局体制は次のとおりである。

主 管 課 スポーツ文化課（平成 25、26 年度）

社会教育課（平成 27 年度～）

事 務 局 スポーツ文化課長 江口和浩（平成 25、26 年度）

社会教育課長 田中吉弘（平成 27 年度）

〃 佐藤賢一（平成 28～30 年度）、

〃 板垣幸広（令和元～2 年度）

〃 山口広昭（令和 3～）

社会教育課長補佐 角田朋行（平成 25 年度～）

社会教育課嘱託・会計年度任用職員 齊藤紘輝（令和元年～）

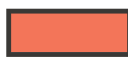









4 本報告書の執筆、編集は角田朋行が行った。

5 字限図のデジタル化は、これまで主に下記の分担により行った。

角田朋行：赤湯、金沢、長岡、櫛塚、俎柳、松沢、三間通、上野、二色根、大橋、郡山、島貫、中の目、中落合、西落合、萩生田、若狭郷屋、鍋田、長瀬、蒲生田、高梨、関根、露橋、沖田、坂井、法師柳、宮崎、宮内、金山、梨郷、和田、竹原、砂塚、羽付、池黒、漆山、川樋、小岩沢、小滝、萩、下萩、太郎

齊藤紘輝：漆山、川樋、小岩沢、小滝

6 土地利用図の地目毎の塗り分けは下記によった。

 道	 墳墓地
 水路・川・湖沼	 畑
 橋	 水田
 宅地	 草地・原野・茅場・荒地・堤塘
 寺・神社	 林

7 小字名の漢字は、明治期の字限図の記載によった。

目 次

第1章 調査の概要	1
1 調査の経緯等	1
2 字限図について	1
3 調査範囲	1
4 作図	1
(1) 字限図のデジタル化と土地利用図の作成	1
(2) 土地利用図等を作成する際の修正について	3
5 字限図及び土地利用図の活用法	3
第2章 土地利用図調査（地区別調査）	4
1 漆山地区	4
(1) 漆山地区の概要と特色	4
(2) 漆山地区の集落・屋敷・館等	4
(3) 明治期の土地利用図（漆山）	8
①漆山	8
②池黒	10
③羽付	12
2 梨郷地区	14
(1) 梨郷地区の概要と特色	14
(2) 梨郷地区の集落・屋敷・館等	14
(3) 明治期の土地利用図（梨郷）	20
①梨郷	20
②竹原	22
③和田	24
④砂塚	26
第3章 南陽市（漆山・梨郷・大塚）の小字名及び地名	28
1 漆山（1）漆山の小字名・地名	29
(2) 池黒の小字名・地名	36
(3) 羽付の小字名・地名	39
(4) その他の地名等	41
2 梨郷（1）梨郷の小字名・地名	42
(2) 竹原の小字名・地名	45
(3) 和田の小字名・地名	49
(4) 砂塚の小字名・地名	51
(5) その他の地名等	53

3 大塚（1）大塚の小字名・地名	54
坂上神明宮所蔵 棟札及び神像の調査	
1. 経過	55
2. 史料について	55
3. 理化学分析	56
4. 制作年代について	56
5. 棟札のカビ除去等処置について	57
6. 年代測定	58
引用・参考文献	65

表 目 次

表 1 字限図の保管場所	2
表 2 漆山の城館遺跡	5
表 3 梨郷の城館遺跡	15
表 4 小字名・地名の出典	28

挿図目次

第 1 図	南陽市内の地区境	1
第 2 図	デジタル図化方法	2
第 3 図	漆山地区の土地利用図(山間部除く)	5
第 4 図	漆山の屋敷や館跡 1	6
第 5 図	漆山の屋敷や館跡 2	7
第 6 図	土地利用図 漆山	9
第 7 図	漆山の小字名	9
第 8 図	土地利用図 池黒	11
第 9 図	池黒の小字名	11
第 10 図	土地利用図 羽付	12
第 11 図	羽付の小字名	13
第 12 図	梨郷地区の土地利用図(山間部除く)	15
第 13 図	梨郷の屋敷や館跡 1	16
第 14 図	梨郷の屋敷や館跡 2	17
第 15 図	梨郷の屋敷や館跡 3	18
第 16 図	梨郷の屋敷や館跡 4	19
第 17 図	土地利用図 梨郷	20
第 18 図	梨郷の小字名	21
第 19 図	土地利用図 竹原	22
第 20 図	竹原の小字名	23
第 21 図	土地利用図 和田	24
第 22 図	和田の小字名	25
第 23 図	土地利用図 砂塚	26
第 24 図	砂塚の小字名	27

第1章 調査の概要

1. 調査の経緯等

市教育委員会では、平成三～五年度に市内遺跡分布調査の基礎となる内部資料を作成するため市内平野部の字限図調査を実施した(角田 1993)。各地区の小字の字限図から字寄図を作成し、それを基本図として土地利用図、旧地形推定図、館跡や条里制等の分布参考図等を作成し、分布調査等の諸調査に活用してきたが、平成二十五年度から新たにこの字限図調査のデジタル化に取り組んだ。

今次調査では字限図をデジタル化したうえで土地利用図を作成し、小字名・地名を採録した。これまで赤湯・宮内・金山・沖郷地区分が報告済みとなっており、本報告書では漆山・梨郷地区分について報告する。



第1図 南陽市内の地区境

2. 字限図について

表題は、明治七年調製のものは地租御改正精絵図、明治八年調製のものは国、郡、村名に続いて字限図、全地字限絵図、字限全地絵図、全地絵図、精絵図、明治二十五年及び二十六年調製のものは単に地図、字切図となっている。様々な名称が用いられているが、本報告書では字限図の呼称を用いる。南陽市内の明治時代の字限図は、市教育委員会、市税務課、各地区に保管されている。字限図の保管場所は表1のとおりである。今次調査では、主として明治七年(1874)、八年(1875)、二十六年(1893)の字限図を主に使用した。

なお、調製後に他の地区へ小字の編入があった場合も当該小字は編入前の地区分とした。

3. 調査範囲

土地利用図作成による調査範囲は、南陽市域のうち山間部を除いた範囲とし、主に宮内扇状地の地域を対象とした。今次報告地域は、漆山・梨郷(山間部を除く)である。

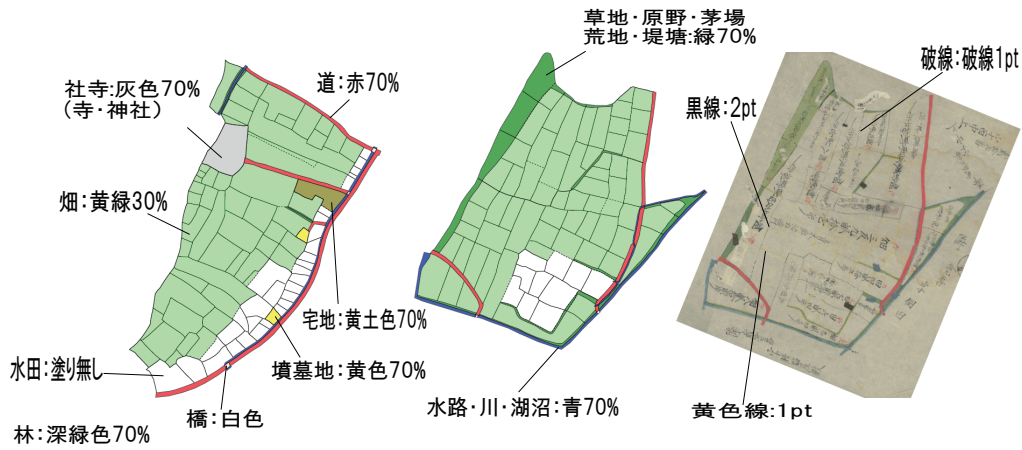
4. 作図

(1) 字限図のデジタル化と土地利用図の作成

スキャナーで読み込んだ字限図を1葉ごとデジタルトレースし、作成した小字単位の土地利用図を張り合わせ、地区毎の土地利用図を作成した。

土地利用図を作成するために、小字の輪郭をデジタルトレースし、地目毎に次のような配色で色分けを行った。なお、地目変更がある場合及び畦線等の変更・追加があった場合は古い方を優先とした。ソフトはInkscapeを使用した。

水田は白抜き、畑は黄緑色、草地・原野・萱場・芦場・高岸・砂地は緑色、水路・湖沼・溜池・川は青色、道路は赤色、宅地・公共用地は茶色、墓地は黄色、神社・寺は灰色、山林は濃緑色、温泉は紫色に塗り分け、土地利用図を作成した。



<区割りレイヤーに記載> 区割り線 道、水路（湖沼） 草地・原野で水路沿いのものや雨季水路	<土地利用図レイヤーに記載> 畑・宅地 草地・原野・茅場等で面積のあるもの 社寺 墳墓地
--	--

第2図 デジタル図化方法

地区	デジタル化数	明治7年	明治8年	明治22年	明治25年	明治26年	明治27年	明治31年	年不明・昭和	
赤湯	赤湯	118		○			○	○		
	金沢	36		○			○			
	長岡	31					○			
	桐塚	80					○	○		
	俎柳	32					○			
	松沢	32		○		○				
	三間通	59		地						
	上野	19							□	
	二色根	32					地			
沖郷	大橋	43					□			
	郡山	39		○			□			
	島貫	17		○			□			
	中ノ目	55					□			
	中落合	29		○			□			
	西落合	16		○			□			
	萩生田	40		○			□			
	若狭郷屋	24		○			□			
	鍋田	81		○			□			
	長瀬	14		○			□			
	蒲生田	54					□			
	高梨	48		○			□			
	関根	42		○			□			
	露橋	40						□		
宮内	沖田	16		○			□			
	坂井	17		○			□			
	法師柳	25		○			□			
	宮崎	127		○			○・□			
	宮内	201					○			
	金山	150		○		○				
	梨郷	梨郷	90		○			□		
		和田	45					○・□		
竹原		49		○			□			
砂塚		88					□			
漆山	羽付	32					○			
	漆山	81		○		○	○			
	池黒	67	○							
吉野	荻			○			□			
	下荻			○			□			
	小滝						□			
	太郎						□			
中川	川樋								□	
	小岩沢								□	
	新田								□	
	元中山				□					
	日影				□					
	釜渡戸				□					
※全ての小字が揃っていないものを含む。										
○：市史編さん室、地：地区保管、□：税務課保管										

表1 字限図の保管場所

(2) 土地利用図等を作成する際の修正について

個々の字限図は、歪みや計測時の不正確さがあり、隣同士であっても境界の形状が合わないことは珍しくない。地区毎の土地利用図の作成にあたって、その修正については概ね次の方法によった。また、作成した小字単位のデータとそれを集合させた地区毎の土地利用図は別に管理し境界線の修正状況を追認できるように図った。

- ・地形図に重ね合わせて正誤が判断できる個所は地形図に沿って修正する。
- ・周辺の図との整合性から、明らかに変形している図のみを修正する。
- ・どうしても齟齬を生じる境界については、相互の境界線を近づけるように互いの境界線を変形させて擦り合わせる。

なお、中世城館等の埋没遺構等、詳細な検討を要する範囲については、ベースとなる地形図の上に小字単位の土地利用図を重ね、必要に応じて昭和二十年等代の空撮写真とも照合した。

5. 字限図及び土地利用図の活用法

明治期の字限図を元に作成した土地利用図では、重機による大規模な開発が行われる以前の微高地や旧河道といった自然地形、溝跡のような人為的地形が判読可能である。明治時代まで使用されていた廃道や古い水路の位置も発掘調査前に把握できる。

小字名・地名からは、古墓地、寺跡、神社跡、古墳等が推測される場合や、小字名・地名が土地の成因や環境を示していることも多い。地名については、古語（やまと言葉）による経験則的な地名研究やアイヌ語地名の研究の例も知られており、字名一覧の備考欄には参考としてカナで記載した。また、方位や位置を示す「東西南北」、「前後」、「裏」が付く地名からは、どの方向から人々がその土地を見ていたか推測できる。なかでも「前田」等、「前」が付く地名は、宮内扇状地内では屋敷や墓地の南側を意味する割合が70%であった。

土地利用図では、地目（土地利用法）及び地割から得られる情報がある。

地目からは、土地の高低が推測できる。一般に水田は低地である。宅地や畑地は微高地である場合が多い。草地は営農に適さない土地であることが多く、河川沿いの低湿地帯や斜面、崖、水路の肩、塚等に見られる。水田（畑地）の中にぽつりと畑地（草地）が残る場合は古墳、塚、古墓地の可能性もある。このような場合で当該地目内で交点を持つ地境が見られる場合は高塚の可能性もある。

地割からは、館跡、道路跡、水路跡、旧河道、条里水田跡、河川氾濫跡等を読み取ることができる。河川氾濫跡では新旧の切り合い関係をもみることができる。館跡ではしばしば周囲に堀跡が水田化した地割を見ることができる。最上川等の河川沿いでは開墾に伴う長割りの地割が見られ、その長軸方向は排水方向に一致する傾向がある。湿地性の水田では、一般の水田に比べ一区画が小さく密になる傾向がある。

なお、土地利用図は明治初期の状況を示すものである。地名や地割りが年代的にどこまで遡りえるのか、地割りの性格や成因には、発掘調査や文献等の様々な手法による検証が必要である。また、正確性に欠く古い字限図を基にしていることから、今次作成の土地利用図及び字名図が現在の地図や地籍図と合わないことは多々あり、何らかの公的な基準としては使えないため、用途を間違えないよう注意を要する。

第2章 土地利用図調査（地区別調査）

1. 漆山地区

（1）漆山地区の概要と特色（第3図）

漆山地区は、宮内扇状地の織機川（別名：境川、沢入川、池川、池黒川）による扇状地の扇頂から扇央付近に位置する。織機川を境に東が池黒、西が漆山となっており、漆山の西が羽付である。織機川の東西には広く自然堤防が発達している。集落は山裾の緩斜面地や自然堤防の微高地上に立地している。

池黒地区は、地区の北半で織機川左岸の自然堤防外縁に沿って織機川の旧河道が見られる。地区東辺から南にかけて神明堀川が南流し、やがて上無川（別名：高松川、栗屋川）になる。また矢ノ目川が矢の目橋で上無川に合流するなど、地区の南半は多くの河川が集まる土地になっている。館関連地名や屋敷地名も数多く残る、延暦年間の創建と伝わる池黒皇大神社が鎮座し、多くの城館址が残る地域である。池黒皇大神社北東の宮内別所山の北斜面からは保延六年（1140年）銘の別所山経筒が出土している。

漆山地区は、織機川右岸の自然堤防上に集落が立地し、地区の中央付近を織機川の派流である大江川が南南西に流れ、その両岸にも自然堤防が発達している。大江川の右岸に広がる天王遺跡では古墳群や館跡が確認されている。館関連地名や屋敷地名も多く残り、山々には多くの城館址が残る。鶴の恩返しの民間伝承が残る寛正元年（1460年）開山の鶴布山珍藏寺がある。

羽付地区は、北部の山裾に沿って集落が広がり、その合間を梨郷堰が西流している。南には水田が広がるが、小字名「高山原」という古い自然堤防が北東から南西にかけて見られる。山地部には神社や館跡が残る。

（2）漆山地区の集落・屋敷・館等

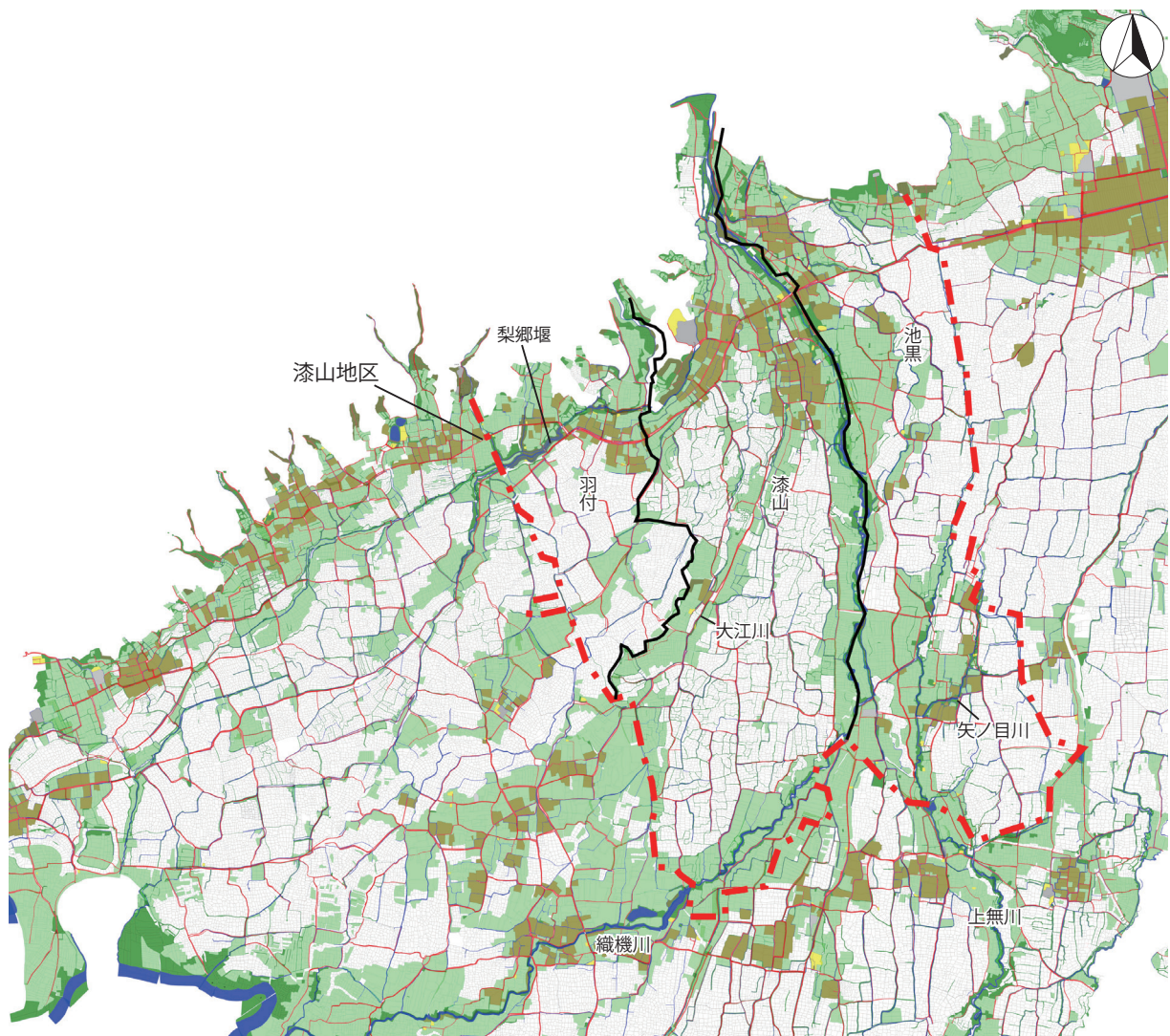
漆山地区の中世城館跡は、現在8ヶ所が確認されている（表2）。そのほとんどは山間地に立地し、平野部の城館跡としては天王遺跡の屋敷跡のみが知られている。土地利用図で確認された集落・屋敷・館等を下記に記す（第4、5図）。

①池黒字館之内は、織機川左岸の自然堤防に立地し、池黒館山館の南に位置する。北は字館山に接している。館之内の南辺には織機川の旧河道が走り、堀の役目を果たしていたものとみられる。旧河道に沿って「土戸川原」「川原」「石台」といった河川地名が残り、旧河道を挟んで南に字馬場がある。

②池黒字猫子屋敷は、織機川旧河道の左岸に位置する。「猫子屋敷」は館関連地名である「根小屋」の転化と考えられる。平成二年度に市教育委員会が実施した富貴田遺跡発掘調査では平安時代と中世に集落があったものと考えられている。

③池黒字木ノ実小屋・弁天・東弁天・南弁天・五倫壇付近では、自然堤防上に屋敷が散在している。木ノ実小屋は、製蠟用の漆の実を納めるため元禄三年（1690年）に設けられた木の実御蔵があった所と考えられる。地区名「漆山」に関連が深い地名である。

④池黒字西屋敷は、矢ノ目川と上無川に挟まれた微高地に立地する方形の屋敷地である。すぐ北辺は字「大坪」になっている。



第3図 漆山地区の土地利用図（山間部除く）

※黒線：地区境

遺跡名	概要
備後館跡	山峡を約6kmほど入った杣の沢・須刈田の三叉路の地にある。比高10mの丘城で主郭は長軸90mである。文治元年（1185年）備後の武士がここに落ち延び館を構えたと伝わる。
別所館跡	池黒別所山（羽黒山）の山頂に主郭を置く。標高368m、比高120mの山城で長軸230mである。源義家や坂上田村麻呂の屯地と伝わる。
漆山館跡	高台に立地する古館と新山館と呼ばれる館跡を一括して漆山館と呼んでいる。古館は標高255m、新山館は標高270mである。南北100～200m、東西400の規模の山城である。城主不明だが戦国後期に粟野氏の一族が新山を領有した。
稲荷山物見跡	標高300mに位置し、主郭には稲荷神社が建つ。北側の尾根を大きな二重堀切で断ち切っている。
阿弥陀山物見跡	標高260mの阿弥陀山の山頂に位置する。北側の尾根を堀切で断ち切っている。
池黒館山館跡	最高所は標高362m、比高95mである。上の平山の南西、南に伸びた枝尾根上に立地する。山裾に「館山下」「館山」の小字名が残る。尾根頂よりやや下ったところに主郭となる二段の大きな曲輪を設け、背後は堀切で尾根を断っている。前方の二つに分かれた枝尾根上に階段状の曲輪群を設けている。
大滝沢館跡	主郭は字「大滝沢」「雪ヶ沢」「館ヶ沢」が交差する標高約463m、比高199mの山頂に位置し、虚空蔵様の石祠がある。斜面には帯曲輪、周囲の枝尾根には階段状の曲輪群を配し、南西方向の尾根の先には堀切を設けている。「滝」は「館」が転化する場合があることが知られており、「館ヶ沢」の西にもさらに字「西滝」がある。
天王遺跡	字天王に位置する。平成19年に山形県埋蔵文化財センターが発掘調査を行い、堀跡を有する方形の屋敷跡を検出した。堀跡からは青磁等、中世陶磁器が出土した。

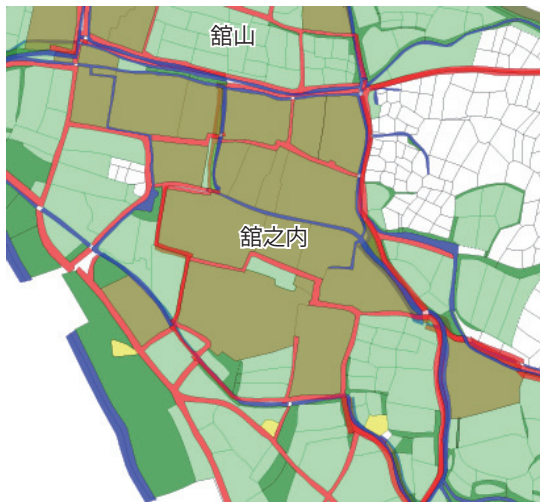
表2 漆山の城館遺跡

⑤漆山字古館・西屋敷は、漆山館跡として知られる字古館・字新山と、その館の下に位置する集落地である。西屋敷は水田面に比して高台になっている。この西屋敷の南方には小字名「大根在家^{だいこん}」が広がっている

⑥漆山字東屋敷は、織機川右岸の自然堤防上に立地した集落地である。

⑦羽付字道之下は、深い堀状を呈する梨郷堰の右岸に位置する。字道之下の土地を東西に分けるように北から流れる谷川があり、堰と谷川に囲まれた舌状の高台に屋敷が立地する。

⑧羽付字道東は、梨郷堰の左岸の緩斜面に広がる集落地である。漆山館跡の南に位置し、集落景観としては漆山の西屋敷から連続している。漆山館に関連した屋敷地と思われる。



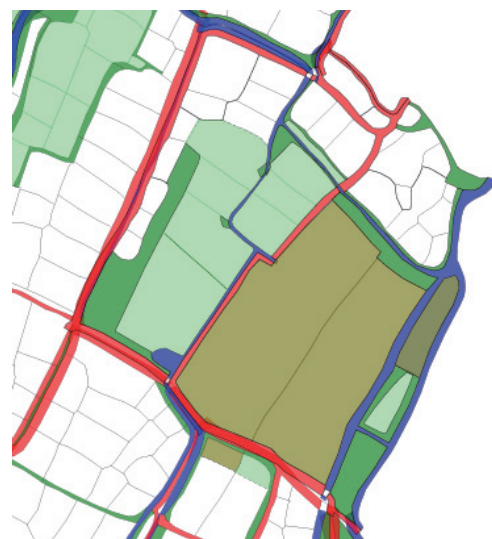
①池黒字館之内



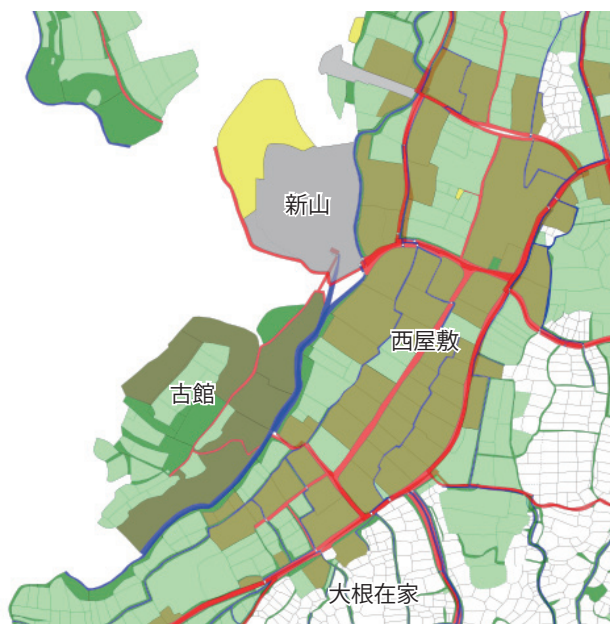
②池黒字猫子屋敷



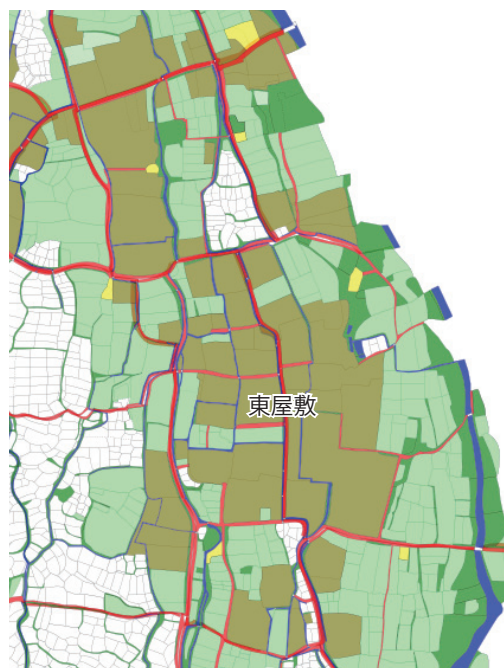
③池黒字木の実小屋・弁天・東弁天・南弁天・五倫壇



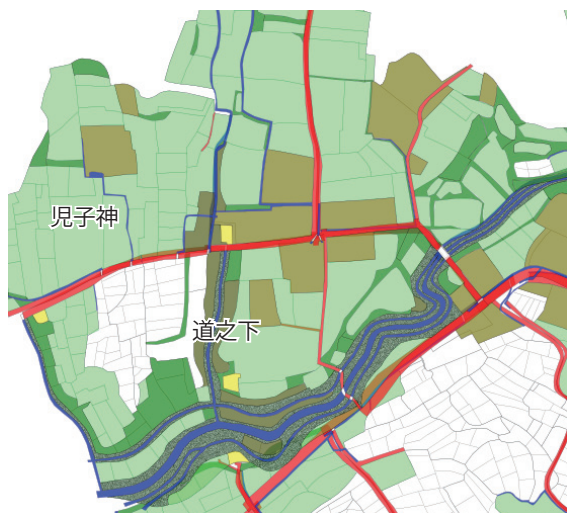
④池黒字西屋敷



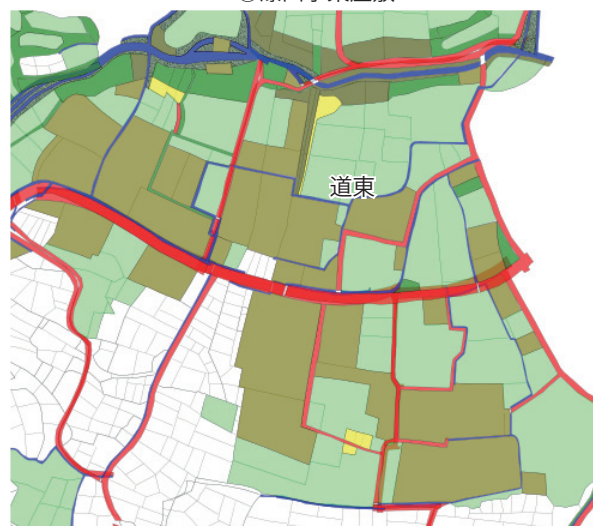
⑤漆山字古館・西屋敷



⑥漆山字東屋敷



⑦羽付字道之下



⑧羽付字道東

第5図 漆山の屋敷や館跡2

(3) 明治期の土地利用図 (漆山)

① 漆山

織機川 (別名：境川、沢入川、池川、池黒川) の右岸に位置し、地区の中央を織機川の派流である大江川が南南西に流れる。地区名の漆山は米沢藩特産物の漆の産地であったことに由来すると思われる。漆山地区の平野部の小字では「河原」「谷地中」「広面」のように旧河道や低地を表すものや、「細田」「柳田」のように水田の形状を表すものなど、自然地形に由来するものがみられるが、下記に述べるように比較的歴史的な地名が多い。

織機川の右岸沿いには「東寺町 1～4」「西寺町 1～5」の小字名が連なっているが、現在池黒地区にある羽黒神社は、元は三堀寺宝乗院^{みつぼり}という修験寺で、現在地の西方約 100 m の地点にあったが度重なる洪水のため元禄十二年 (1699 年) に現在地に移転したと云い (山田 1965)、東寺町や西寺町の小字名はこれに関連すると思われる。市史上巻では東寺町と西寺町の間^{みつぼり}に三堀寺があったものと推察している。

大江川の自然堤防に位置する「塚原」の塚地名は、古墳に由来することが多い。「塚原」に接する「天王」では県埋文センターによる天王遺跡の発掘調査 (高橋 2010) で古墳群が確認されていることから「塚原」にも古墳群が存在する可能性がある。

また、「天王」は牛頭天王社に由来し、その石祠の南側には戦後まで民家があったとされ、発掘調査では中世の屋敷跡に伴うとみられる堀が検出されている。

「大仏」「大仏東」は県内第 2 位の大きさを誇る文和三年阿弥陀板碑に由来する。「備後塚」の南東角付近には備後三郎の首塚があったと伝えられ、中世にさかのぼる墓地があったと考えられている。

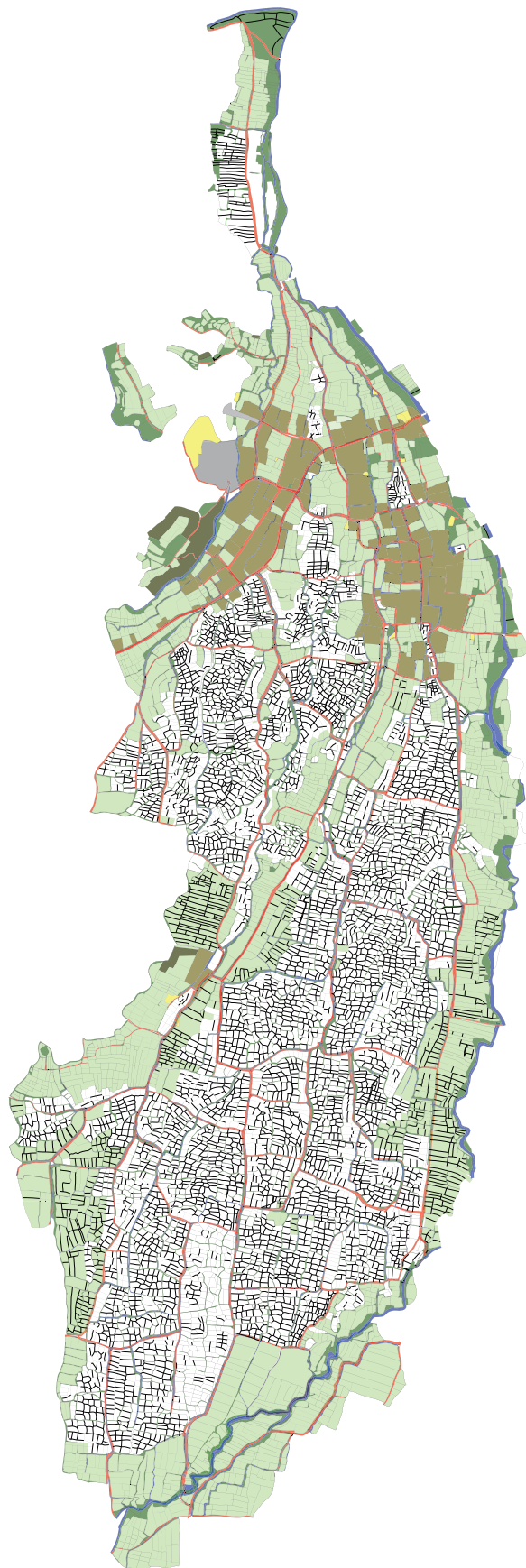
「大根在家」^{だいこん}は在家地名である。オオネと読めば根小屋に関連する可能性もあるが寛永拾五年北條之内漆山村御検地帳では「大こん才け」と記す。また「新山」^{にやま}は天正十三年 (1585 年) の北条段銭帳に出てくる新山在家があった所であろうか。

「古館」「新山」で確認された中世城館跡の古館と新山館は、二つ併せて漆山館という名称で遺跡登録されている。織機川の谷口付近の「上達」も館地名の可能性はあるが、令和三年度にその北西の山である「大滝沢」「館ヶ沢」「雪ヶ沢」で大滝沢館跡が新規確認された。古館・新山の漆山館の背後の山にも館があったことになり、それを平地から見上げて上館と呼んだ可能性もあろうか。ちなみに「館」が転化して「滝」地名になる事例は多く知られており、この大滝も大館であったかもしれない。

「西屋敷」「東屋敷」は集落地である。「上・下横打」^{よこうち}は河川の氾濫で横から土地が打ち崩された土地であろうか。

このほか漆山地区は北に広大な山地を有する。山地部は今調査の範囲外となるが、「備後館」「備後館下」「館石」「館岩」「中館岩」「東館岩」「西館岩」「館ヶ沢」といった城館に関連すると思われる小字名が残る。また、寛永拾五年北條之内漆山村御検地帳では「たての下」「達の下」「内達」「達の内」等の地名もみられる。

条里に関連するような地名は見られないが、郡山遺跡群や沖郷条里制の状況 (角田 2022) からすれば、織機川が郡端川^{こおりはた}や大里端川^{おおりはた} (条里の端や郡衙のあった大里の端を成す川) からの転化という可能性も考えるべきかもしれない。



第6図 土地利用図 漆山



第7図 漆山の小字名

②池黒

池黒は昔は池川村と言ひ、織機川（別名：境川、沢入川、池川、池黒川）の左岸に位置し、織機川や織機川旧河道の自然堤防上に集落が立地する。「池黒（右夫馬）」という源義経の御召馬を産したという伝承（文化八年（1811年）光保里観世音縁記）（山田 1965）が残る。

自然地形を示す小字名・地名を見ていくと、織機川の自然堤防付近には「土戸川原」^{つちど}「川原」「新右衛門川原」と言つた河川関連地名や「中嶋」のような中洲地名が残る。自然堤防の背後には「石台」^{こくだい}「砂田」「台之上」といった洪水等による土砂堆積地名がみられる。織機川の旧河道上には「川原」「沢田」「細田」の地名が残り、織機川の派流域にも「上川窪」「下川窪」の旧河道地名が残る。上無川周辺では自然堤防を意味する「土手岸」があり、その後背湿地には「沢見」「井戸尻」「江留」などの低湿地地名が残る。また、「永増」^{ながます}は上無川と矢ノ目川に挟まれた中洲状の土地を示す長間洲の転化であろうか。

次に歴史的な小字名・地名を見ていくと北側の山麓に中世城館跡に由来する地名が多く残っていることがわかる。

池黒の平野部北辺に接する山地である字「上之平」には、西から池黒館山館、別所館の二つの館が立地している。「館山下」「館山」「館之内」には、これらの山城の根小屋や日常の生活の場としての館があったと思われる。また、「館之内」の南には旧河道を挟んだ向かい岸に「馬場」があり、さらにその南東には「猫子屋敷」^{ねこご}「猫子前」がある。これら「猫子屋敷」等は根小屋の転化とも考えられる。

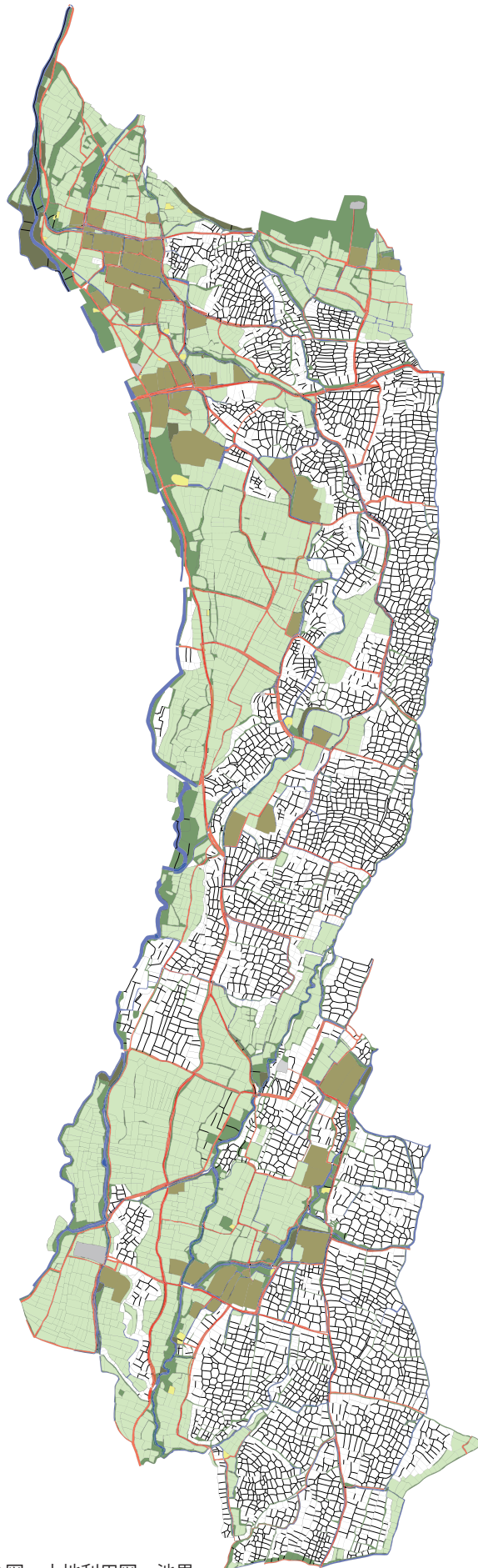
「日渡」^{ひわたし}は旧河道の合流地点にあたっており、河川の渡河地点か或は川に樋を渡した樋渡しや荷物を上げ下ろしした荷渡しの転化であろうか。「木ノ実小屋」は、製蠟用の漆の実を納めるため元禄三年に設けられた木の実御蔵があった所と考えられる。

「神明前」は坂上神明宮の南にあたり、この付近に北条寺があったと伝わる。坂上神明宮には皇大神社の応徳三年（1086年）棟札（近世作）が残り、坂上神明宮の鎮座する別所山の北からは保延六年（1140年）銘の宮内別所山経筒が出土している。

「庚壇」^{こうだん}「壇ノ前」^{みつぼり}「五倫壇」は近世墓地があったものと思われる。「弁天」「東・南弁天」は弁天を祀っていたと思われ、「観音前」には羽黒神社と三堀観音がある。この羽黒神社は、元は三堀寺宝乗院という修験寺で、現在地の西方約 100 m の地点にあったが度重なる洪水により現在地に移転したと云い（山田 1965）、慶応四年（1868年）に神社になった。「京田」^{きょうでん}は経田のことで寺に寄進された田と思われ、「八幡田」は八幡神社があったか或はその免租田と思われる。「稻荷田」には稻荷神社があった。

屋敷地名は「猫子屋敷」「西屋敷」「六屋敷」^{むつ}がみられる。天文二十二年（1553年）伊達晴宗公采地下賜録には「ほりとめ在家」「したの在家」「なかほり在家」「をしま在家」「たての在家」の在家が記され、天正十三年（1585年）北条段銭帳には「たての内在家」が記されている。その場所は不明だが、小字名からすると「ほりとめ在家」は「江留」付近に、「したの在家」は「館山下」に、「たての在家」は「館之内」にあったものか。また「たての内在家」は東矢ノ目村にあるとされる。

「別所」は、「本村に対し追加開墾を許された土地」、「熊野大社関連の地名」、「蝦夷の俘囚を住ませた地」^{ふしゅう}など諸説がある。「大坪」は条里制地名の可能性が考えられる。



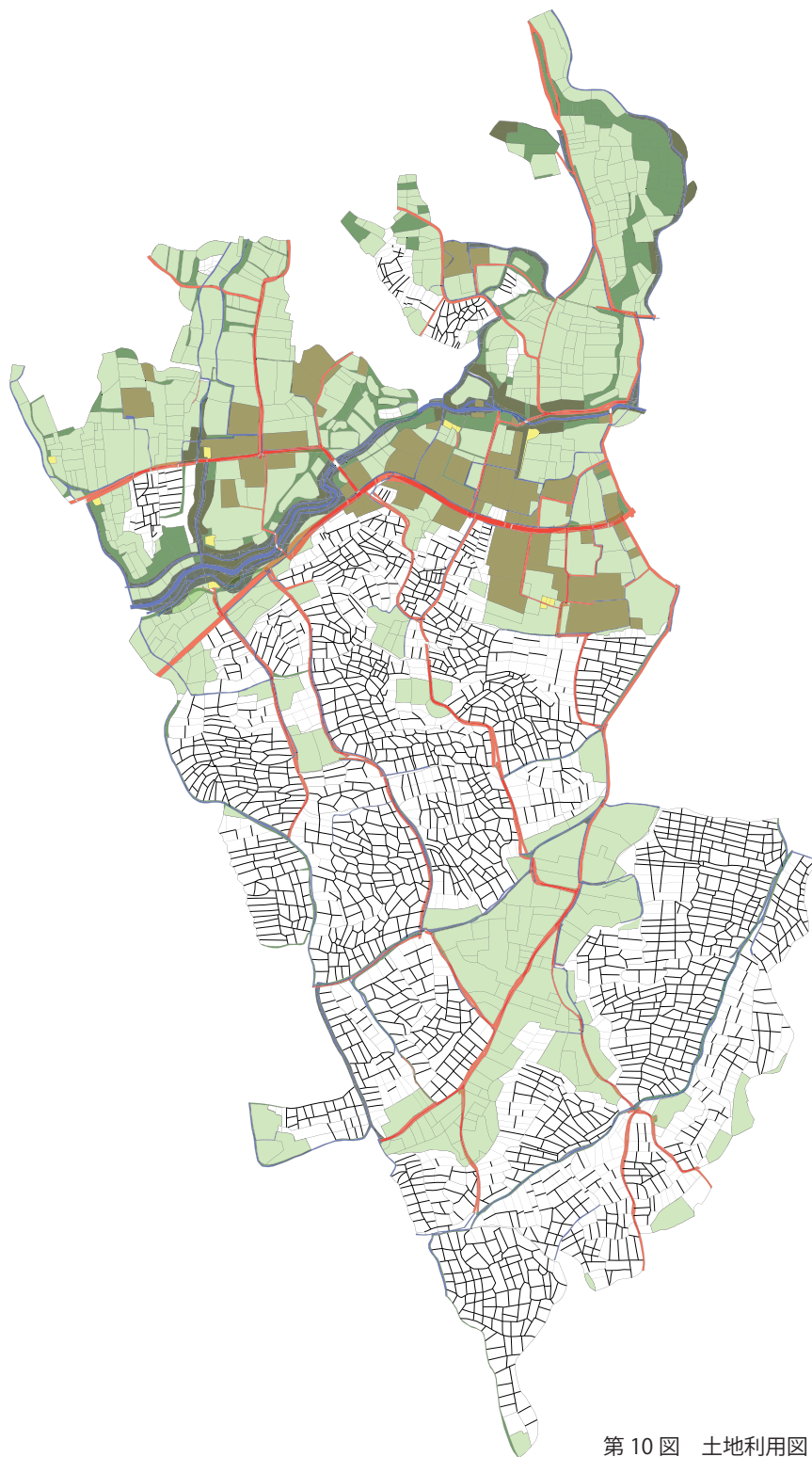
第8図 土地利用図 池黒



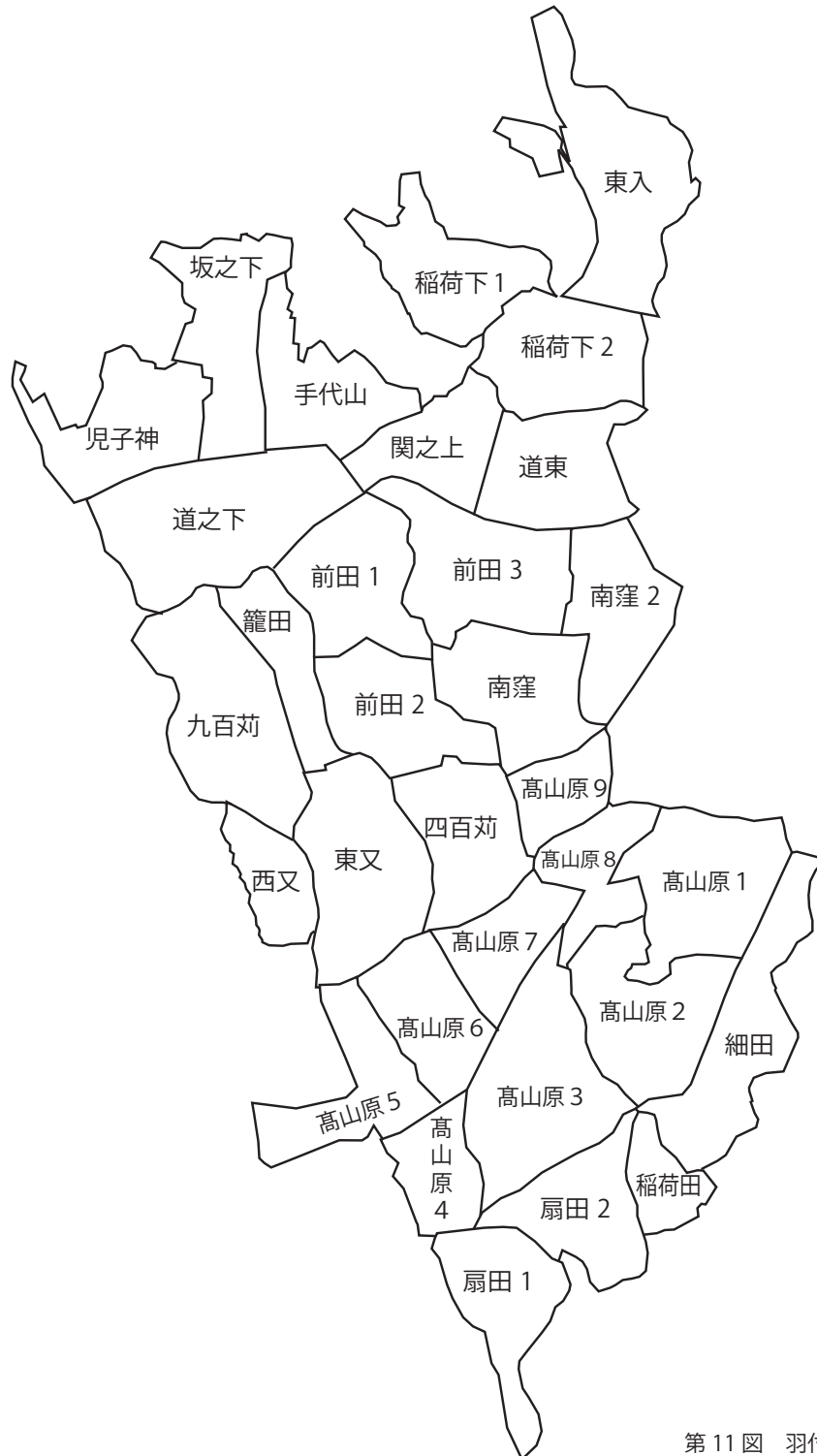
第9図 池黒の小字名

③羽付

羽付は、かつては羽月村^{はづき}と呼ばれていたと伝わる。山裾の緩斜面に沿って集落が広がり、その合間を梨郷堰が西流している。集落の南には南を意味する場合が多い「前」を冠する「前田」が広がり、その以南に水田が広がる。水田地帯の中に小字名「高山原」という古い自然堤防が北東から南西にかけて延びており、その東側の旧河道とみられる付近には、「細田」や「扇田」のような水田の形状に由来する小字名が残る。今次調査の範囲外であるが山間部には神社や館跡が立地している。「稲荷下」は稲荷神社の下に



位置し、「兒子神」には兒子神社がある。「^{てしろ}手代山」のテシロは「神の使いの意味」とする説（山形新聞社 2003）があるが、「出城」の可能性についても注意が必要か。「稲荷田」は稲荷神社の免田と思われる。「稲荷下1」の北側の山に稲荷神社があり、周囲には稲荷を冠する小字名が多い。寛永十五年（1638年）御検地羽付村には「柿在家」という在家地名が記されているが、「高山原4」の西側が砂塚字掛在家であることから、柿在家は掛在家と同じ在家を示すのではないかと思われる。沖郷村史には「稚児神」の北方の山に位置する「安部沢」に「安部綱吉が梨郷片岸を経て宮内へ移る。一説には羽付安部沢とも伝うが明らかでない」との伝承が記されている。



第 11 図 羽付の小字名

2. 梨郷地区

(1) 梨郷地区の概要と特色 (第12図)

梨郷地区は、宮内扇状地の西辺に位置する。地区南部の砂塚地区では織機川の右岸の自然堤防が発達し、後背湿地を挟んでさらに北側にも大江川や織機川旧河道に沿うと思われる複数の古い自然堤防が北東から南西方向に延びている。梨郷地区の集落はこれら自然堤防上と山際の緩斜面地に立地している。砂塚地区付近では、地区名が示すとおり土地に花崗岩が風化した真砂土が多く混じる。吉野川流域の粘性の高い土壌とは異なる砂の多い土壌が特徴である。

梨郷地区の南端は織機川(別名:境川、沢入川、池川、池黒川)、西端は最上川(別名:松川)が境となる。地区西辺は最上川の蛇行によって入り組んだ複雑な地形になっていた。川に近い土地は洪水氾濫地や荒地が多かったとみられ、草地や新しい開拓地が多い。

梨郷の地区名の由来は明らかではない。梨郷村史では地区名に関する論考を記しているが、そもそも昔は梨郷村を「根添村」、和田を「東根添」、竹原・梨郷を「西根添」、砂塚を「沖」と言ったとされるが根拠は不明としている。梨郷の山地に多くの城館が確認されていることを考えれば、この「根」という言葉は根小屋との関連も考えられる。

梨郷の地名は、大永五年(1525年)伊達種宗安堵状では「下長井之庄林郷」「林郷かた岸」と「林郷」と表記されている。天文七年(1538年)御段銭古帳以降は「りんかう」と記されているものが多い。また、和田の護国山全城院に伝わる古文書では「梨江」の文字が見られるという。地名の漢字は当て字であることが多く、漢字には意味がない場合も多く、梨郷の「梨」も同様に当て字と思われる。あえて「林郷」の「林」という漢字の意をくめば林が多い土の意かと思われるが、「隣郷」や「臨郷」など主たる郷の隣に位置する土地の意や、「臨江」のように大きな河に臨む地の意とも考えられる。「梨江」という事例もあり、地形的に見れば「臨江」の可能性が高いように思われる。地区の中心的な城郭の一つで、平時の居館とされる梨郷南館がまさに河に臨む位置にあったことも地区名が「臨江」に由来している可能性を示唆しているのかもしれない。

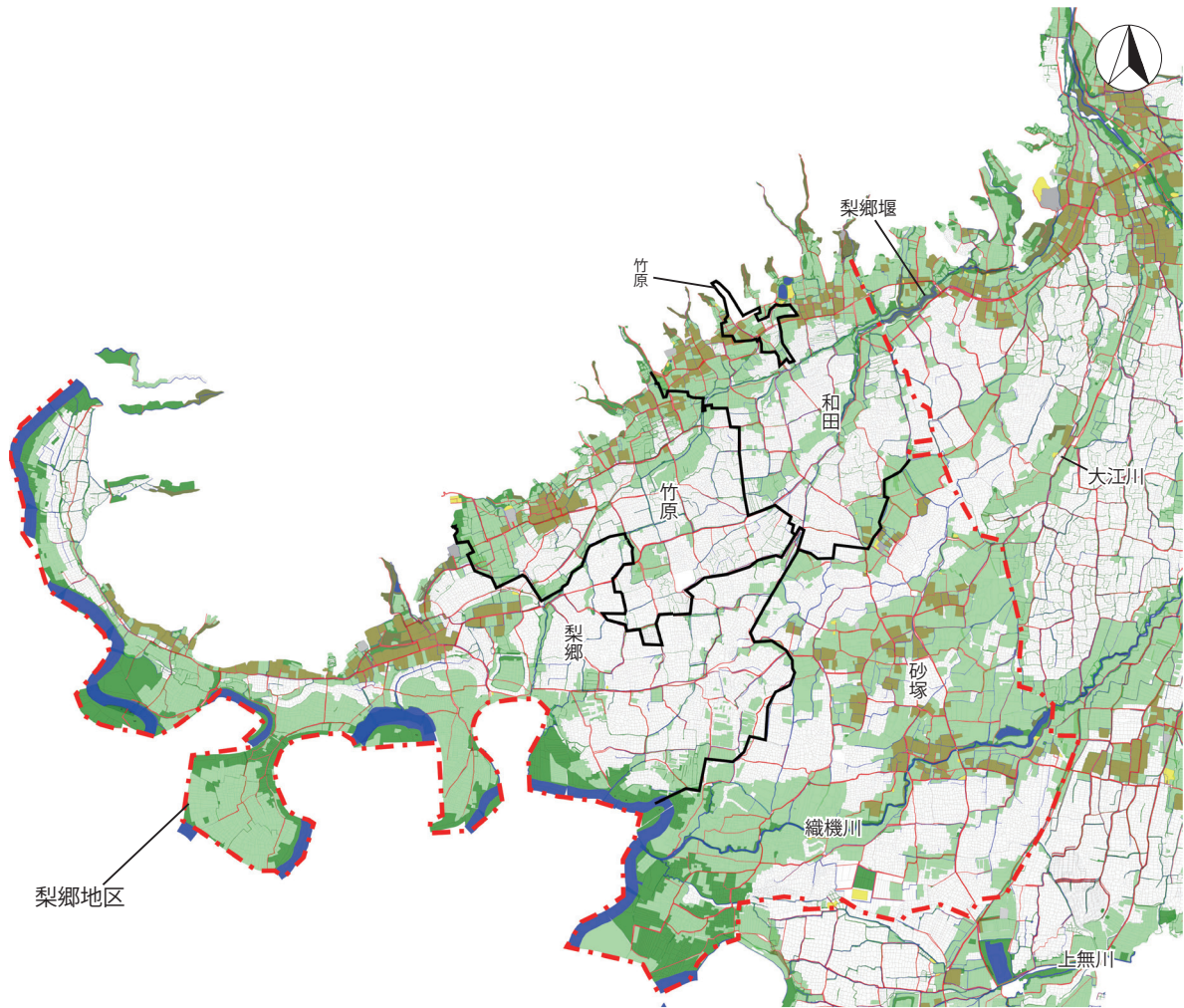
梨郷村史では、『寛永元年(1624年)から「梨郷」になったという説は考えられる』とし、梨郷という漢字表記は近世以降に統一的に使用されるようになったものと考えている。また、梨郷は下長井に属していたが、明治になって北条郷に編入となった。

(2) 梨郷地区の集落・屋敷・館等

梨郷地区の中世城館跡は、現在9ヶ所が遺跡となっており(表3)、山裾の緩傾斜地～山地に立地するものと平野部に立地するものがある。

中心的な城館として、梨郷には梨郷上館(館主:増田興隆・宗繁、『荒井大蔵、藤原持時』)や梨郷南館(館主:増田興隆・宗繁)、竹原には割田館(館主:湯村図書、『小関(関)兵庫之介』)、和田には片岸館(館主:『片岸右京』)があり、砂塚には島崎館(館主:島崎又右衛門行経)があったと伝わる(南陽市教育委員会1983、『』は実在が不明とされる人物)。また、砂塚には近世に安部屋舗と呼ばれる屋敷があった(米沢市立図書館蔵寛政九年絵図)。梨郷地区は他の地区に比べ館主に関する伝承が多く残る。

以下、土地利用図で見られる集落・屋敷・館等を記す(第13～16図)。



第 12 図 梨郷地区の土地利用図（山間部除く）

※黒線：地区境

※今次調査は宮内扇状地が調査対象のため、平野地区の土地利用図は作成していない。

遺跡名	概要
竜樹館跡	主郭は標高 376.6m、麓の龍雲院からの比高 151m である。県城館遺跡調査では龍の形に似るとし、龍の頭頂を主郭とし、顔に当たる部分を階段状腰曲輪で固め、口部には長さ 10m、高さ 1m の土塁を備えたとされる。城域は南北の長軸 300m、単軸 100m である。
梨郷上館跡	主郭は標高 309m、比高は 100m。城域は麓の根小屋から山頂主郭の奥掘手までの長軸が 500m、短軸は 200m の山城である。築城者は伊達家家臣の増田撰津守興隆と伝わるが、室町時代中期に藤原朝臣持時、その子、升田津守の居館であったとも言う。
梨郷南館跡	最上川沿いに築かれた平城で圃場整備で消滅した。形は円味を帯びた四角形で東西 85～110m、南北約 105m と広い。水堀で周囲を囲み土塁を築く。郭自体も高く土を盛り、洪水に備えていた。天正十二年（1584 年）頃伊達家家臣増田撰津守興隆・宗繁父子が築城と云う。また、字安邊野の石橋裏に大永元年（1521 年）、此舟場安倍ノ館専用と刻されていたという（市史編集資料第 14 号）が、安倍ノ館が南館を指すのか他に館があったかは分からない。
梨郷小館跡	旧長井街道の道沿いに立地。標高 220m、周囲を水堀で囲む平城である。形は東西 60m の長四角で内側に土塁を築き、道は南館に通じる。梨郷城とも云う。
割田館跡	館跡は圃場整備で消滅した。標高 220m、平城で主郭は不整形形、周りを広い水堀、内側には土塁を築く。館主は大江氏の時代に小関（関）兵庫介、伊達氏の頃に湯村図書と伝える。（県城館遺跡調査では主郭部分のみを館跡と報告している）
赤松山館跡	館跡は和田字片岸から 500m 程の北の山中にある。主郭の標高は 390m、麓との比高 130m。城域は長軸 220m、単軸 80m。畦状縦堀を有する。片岸の旧家の文書に「嘉吉の変（1441 年）で足利義教を誅した赤松満祐の子の一人教康が住みついたか」と記される。
梨郷新館跡	片岸館の南に位置し、標高 230m。圃場整備で遺構はほぼ消滅した。幅 5m～12m の堀と土塁で固めていた。館主について梨郷村史では「当地長井時代に片岸右京がおったが確証ない」とある。（県城館遺跡調査では字新館の北端のみを館跡と報告している）
片岸館跡	館は標高 240m。形は東西にのびた四角形で、長軸 105m、単軸 75m ある。梨郷村史に「当地長井時代（1115～1380 年）地頭大江時広の臣片岸右京が館を築く」と記す。また、沖郷村史では「安部馬右助の先祖が和田の片岸を経て宮内に移ったと云う」と記す。
竈山館跡	主郭は標高 296 m、麓からの比高は 56 m である。和田字竈山に所在する。尾根端に子安観音堂があり、その裏山に曲輪群がある。長軸 185 m、短軸 120 m の山城である。

表 3 梨郷の城館遺跡

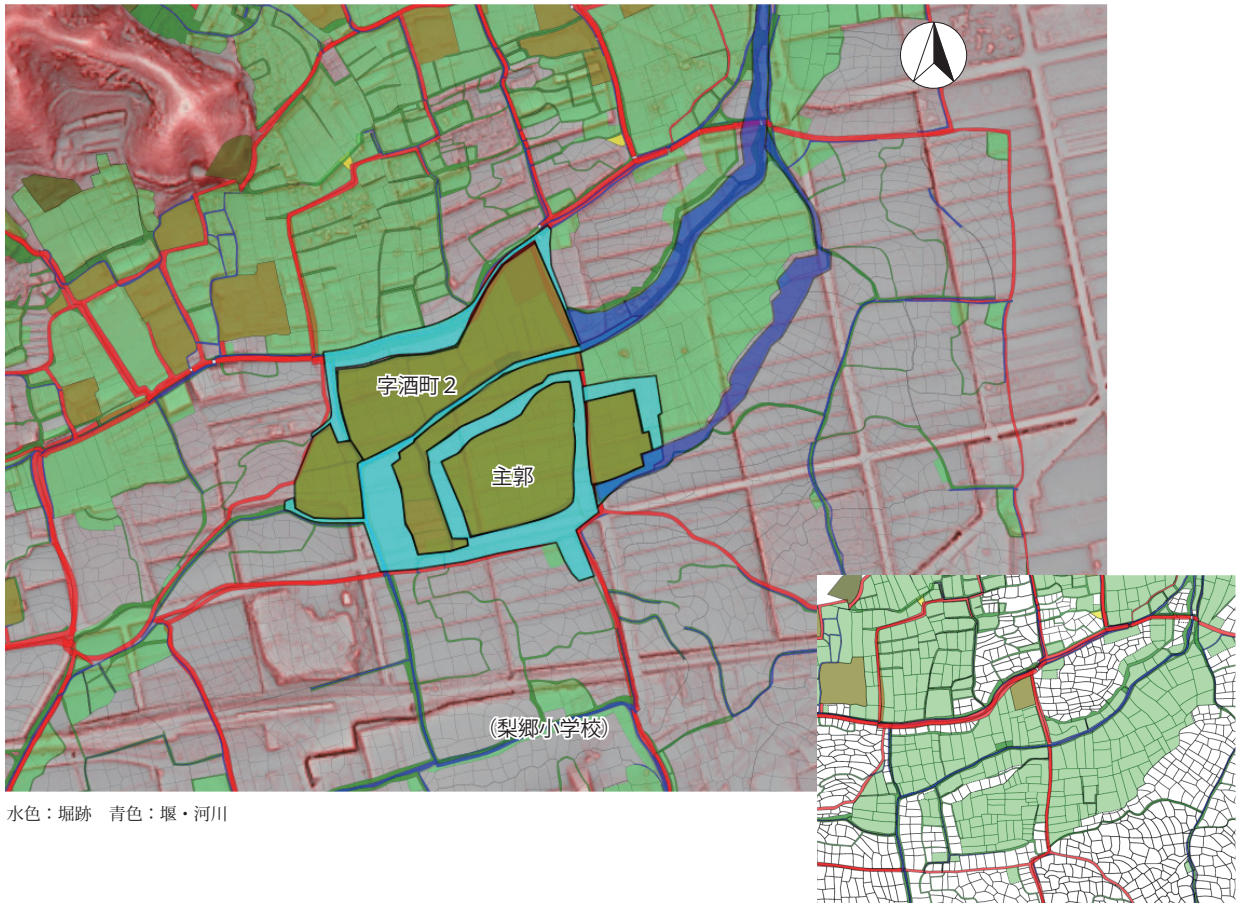
①梨郷上館は、梨郷字上館に位置する山城である。梨郷小館、梨郷南館と関連が深いとされ、明治期の土地利用図からもその様相の一端がうかがえる。城下の位置に町（字酒町）が形成されている。梨郷南館は梨郷字館廻に位置し、南館の東に字本館の小字名が残る。地名は移動したり広範囲の呼称の一部が残ったりすることから、本館とは梨郷南館そのものを指すと推測される。圃場整備で消滅する前は主郭は高台となっており周囲を囲む堀跡が水田となって残っていた。館の南や西には最上川の蛇行部や旧河道の跡が見られる。梨郷小館は梨郷南館の北に接し、梨郷字桐町・字桐町前に位置する。北辺の堀跡が水田となって残る。梨郷南館の根小屋に相当する屋敷があったものか。

②割田館は、土平川による小扇状地の扇端付近の微高地に立地する。現在は耕地整理で失われたが、字限図が作られた当時は主郭を囲む堀跡が水田と畑地になって残存していた。二の曲輪に相当する主郭北側（字酒町2）にも同様の堀跡がみられ、北西角付近にはその痕跡が明瞭に残っていた。主郭東方では人為的な地割が不明瞭になるが、宝暦七年（1757年）の大洪水で土平川も氾濫、山抜け泥押しし、現梨郷小学校の敷地はこの時流入した堆積土と云うと梨郷村史にあり、この災害が大きく作用していると思われる。

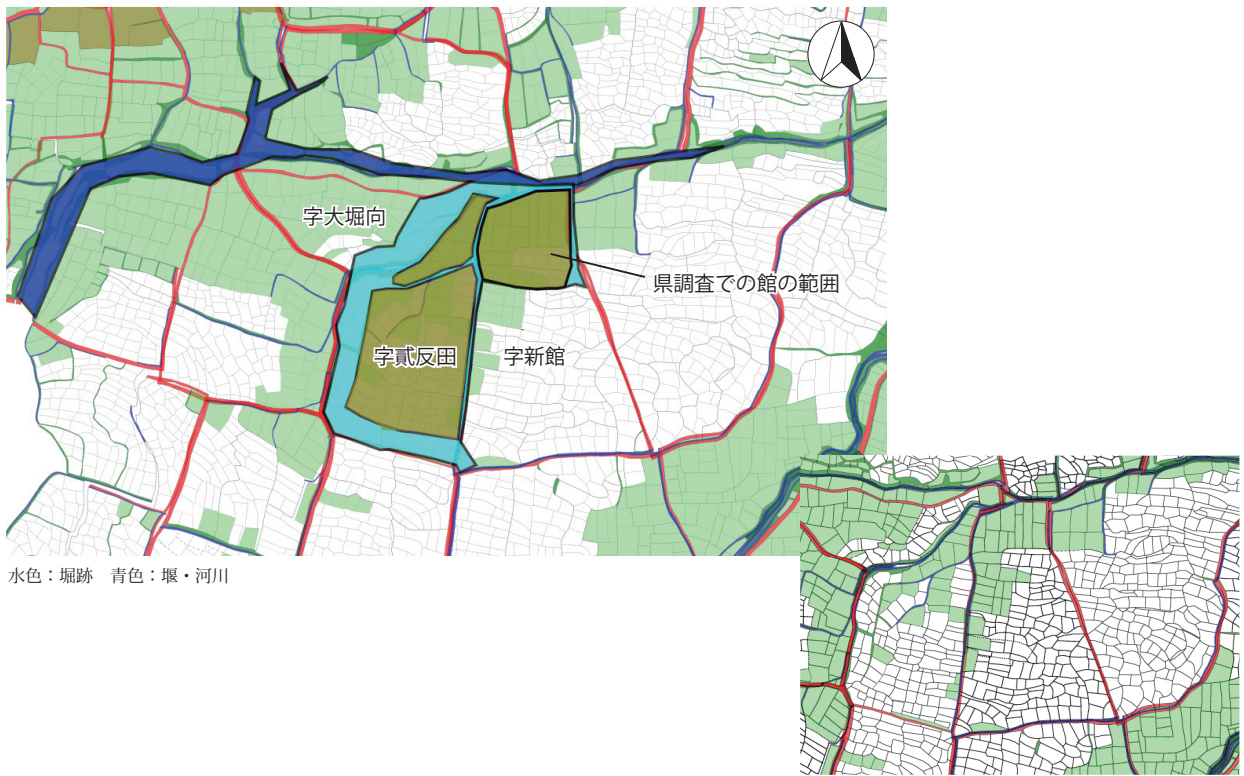
③梨郷新館は梨郷字新館（字貳反田）に位置する。県城館遺跡調査では字新館の北端のみを館跡とする。周辺をみると西側に大堀状の痕跡が水田として残ることから範囲は字貳反田まで広がる可能性もあるが、その東側（字新館の南半部）の地割は曖昧である。



①梨郷上館と周辺館
第13図 梨郷の屋敷や館跡1



②割田館



③梨郷新館

④和田字古屋鋪、竹原字中屋敷は、竈山館の南山麓に位置する。明治の字限図では字古屋鋪だが、現在は字元屋敷と表記する。明治期には古屋鋪、中屋敷ともに主に畑地になっている。館に関連した屋敷があったものか。竈山館の伝承もなく不明である。なお、中屋敷は昭和十六年（1941年）に竹原から和田に編入になっている。

⑤片岸館は、山城である赤松山館南西の山麓、和田字片岸に位置する。山際に長方形の主郭を置き、背面に深い堀を有する。西に堤があり、南側は集落地となっている。

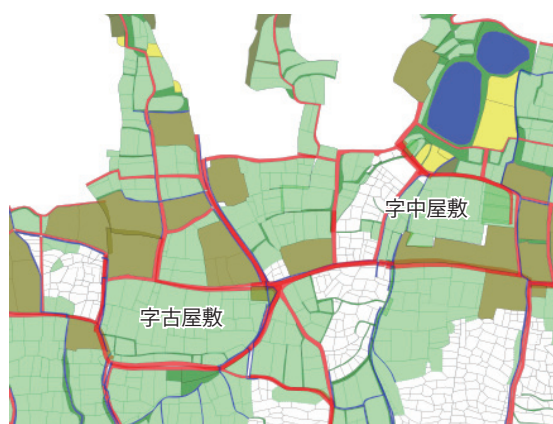
⑥和田字宿之東付近は、竈山館南西の緩斜面地である。古道沿いに屋敷が見られる。梨郷から羽付に至る道路が「上道」、全城院前を通る古道が「忍道」である。忍道はかつては梨郷平野から羽付まで続いていたと言われ、梨郷村史の旧道図にも記されている。

⑦竹原字下夕町・天王前は、竜樹山館の南東に位置し、集落の西にある龍雲院付近が竜樹山館への登城口となる。字圓行寺は龍雲院以前にあった寺に由来する。近くの山際には、嘉暦二年大日板碑等の板碑、牛頭天王社や白山神社などの社があり、付近にはこれらに由来する小字名も多い。

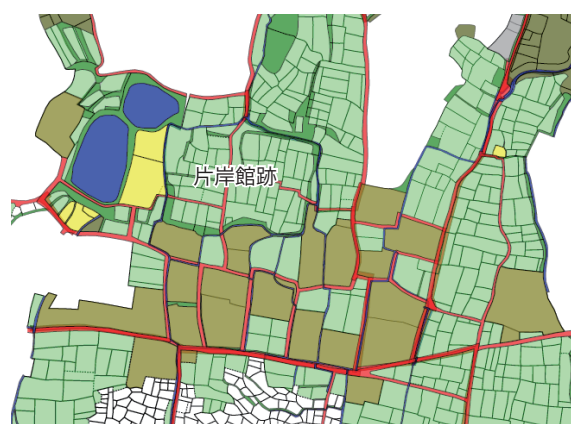
⑧砂塚字塩竈付近は古い自然堤防が広がっており、集落が散在している。砂塚では地区の中心となるような城館跡は未確認であるが、字安部に水路等に囲まれた方形区画が見られ、寛政九年の絵図では「安部屋鋪」と記されている。

⑨砂塚字西川前・東川前付近は、織機川の両岸に発達した自然堤防上に集落が立地し、字古屋敷の小字名が残る。この付近で織機川は直角に近い角度で河道の向きを幾度も変えている。条里制等、何らかの人為的な影響を受けている可能性もあろうか。

⑩砂塚字下西郡は、織機川と最上川の合流地点付近に広がる自然堤防上に位置する。東西方向に長い長方形の畑地の周囲を堀跡状の水田が囲む。館跡や屋敷跡のような区画になっているが、字名は梨郷字上西郡とともに郡衙に関連した地名とも考えられる。郡衙関連施設が河川近くに立地する例は多く、郡庁等の郡衙（沖郷地区の郡山遺跡群付近）から見て西にあたる場所の郡衙関連施設の所在地という可能性もあろうか。なお、字下西郡から東に向くと中落合館跡等の郡山郡衙推定域があり、字下西郡の区画は沖郷条里制を延長した場合の坪区画にも概ね一致する。また、字五把野から字上西郡付近には島畑状の畑地が分布しており、人工的な地割が多く見られる。字上西郡の西側に字船守、字大河がある等、周辺環境からは水運に関連するような遺跡があっても不自然ではない。

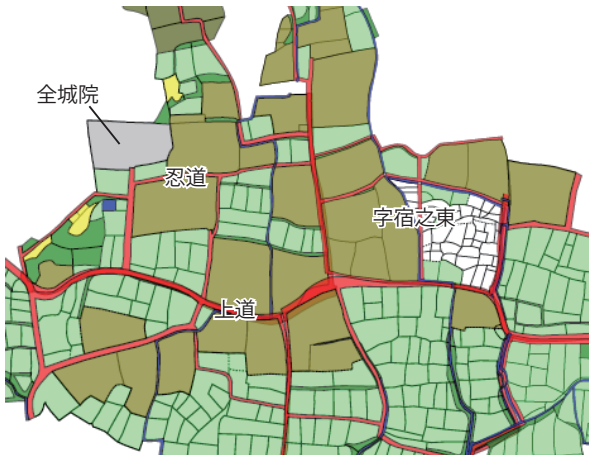


④和田字古屋鋪・竹原字中屋敷

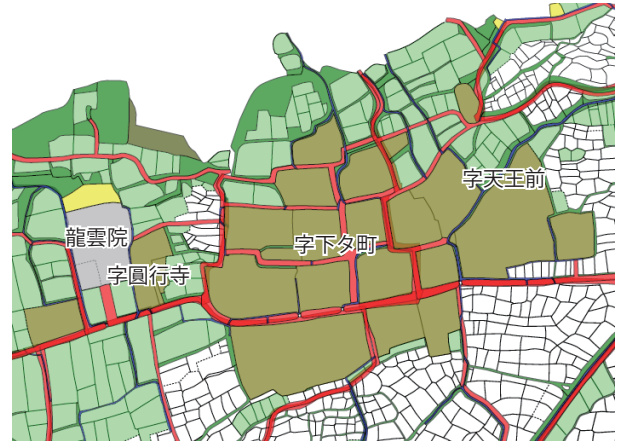


⑤片岸館

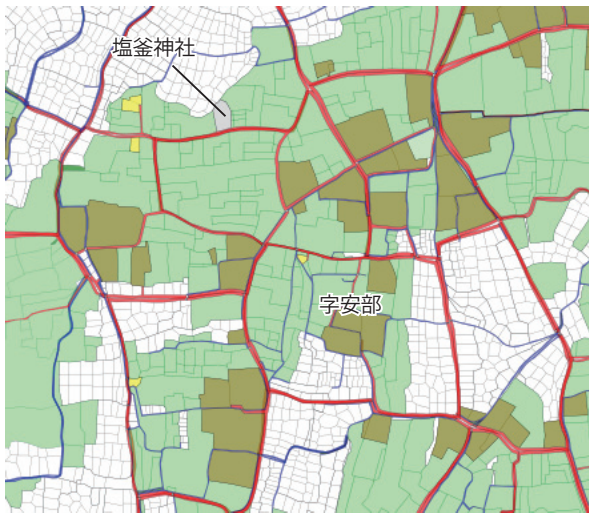
第15図 梨郷の屋敷や館跡3



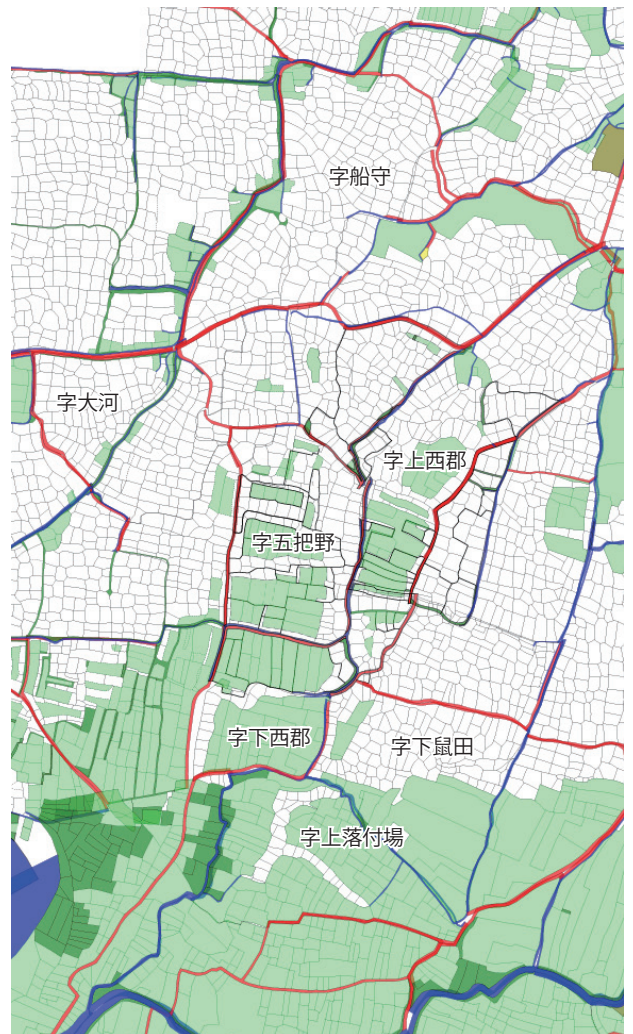
⑥和田字宿之東等



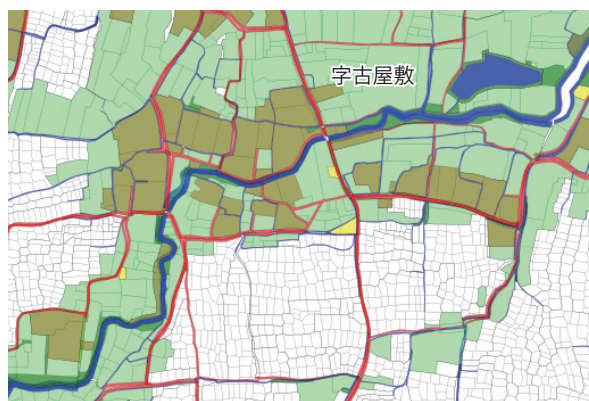
⑦竹原字下夕町・天王前



⑧砂塚字塩竈付近



⑩梨郷字上西郡・砂塚字下西郡



⑨砂塚字西川前・東川前

(3) 明治期の土地利用図 (梨郷)

① 梨郷

梨郷の平地部は、宮内扇状地西側の扇端にあたり、その東半は水田地帯で、西半は経塚山と最上川に挟まれた緩斜面が山裾を巡る。最上川の旧河道(蛇行部)は、「長洲賀淵」、「上沼向・小豆田・酒町南・中巻1・中鳶」、「中巻2・岡野・中巻1」、「中鳶」、「古川」、「館廻」南側、「岡野下」南側に見られる。「安邊野」は人名或は湿地地名、「町田河原」は川原、「階きざはし」は河岸段丘、「押切」は洪水地名。「船守」、「大河」は梨郷堰の河道に由来か。「巻」は城館に伴う牧もあるが、川が巻く(蛇行する)の意味であろうか。

「宮城」は和名類聚抄に記された古代置賜郡の郷の一つ、宮城郷に由来するとされる。「上西郡」は郡衙関連地名で、「六丁目」は条里関連地名か。歴史的に地区の中心的な館の一つである梨郷南館は、激しく蛇行する最上川の川べり(「館廻」「本館」)に立地している。また、「安邊野」にあった石橋の裏には「此舟場安倍ノ館専用」「大永元辛巳稔十月」と刻されていたという(南陽市教育委員



※廻田、良津々田はM19年竹原
字町田2からの編入後の形状

第17図 土地利用図 梨郷

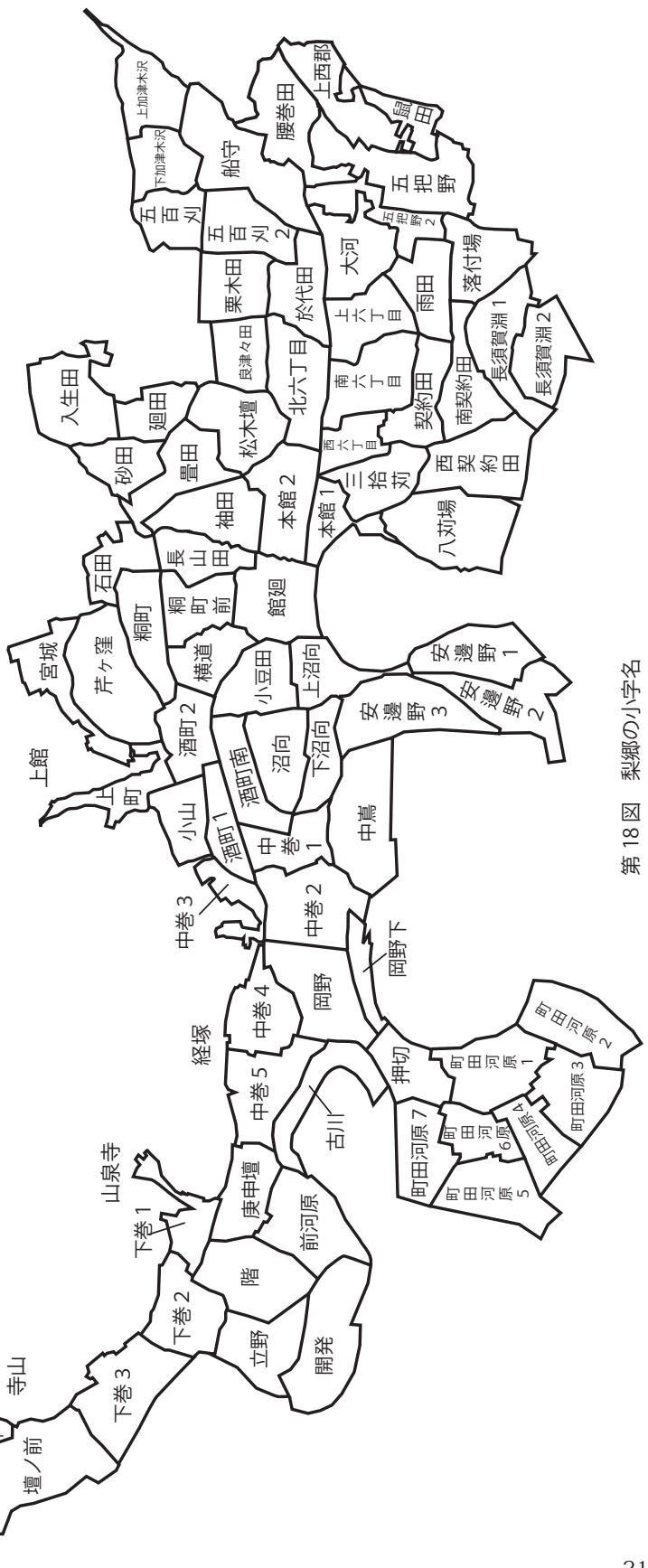
会 1985)。安倍ノ館が南館を指すのかどうかはわかっていない。

在家地名として、大永五年（1525年）伊達植宗安堵状には「朽木林在家」、天文二十二年（1553年）伊達晴宗公采地下賜録には「上の在け」（梨郷字上町付近か）、「なしのき在け」、「まき野在け」、「かう六在け」、「なかの在け」（砂塚字中野裏付近か）、「下の在け」（竹原字下夕町付近か）、「まぢの在け」、「うりはた在け」が記されている。

「上・下加津木沢」は、天正十五年（1587年）の増田宗成寺領寄進状で宗成（増田宗繁か）が本覚寺に寄進した田地の一つと考えられ、小字名はガツギという沼地の植物に由来するか或は開基の祭りをするためがつきだの米をとる開基田に由来する可能性もある（安彦 1978）。

「あらまち桐町」は中世の商業地に関する地名である。「よつつくだ良津々田」は中世の荘園領主や荘官、地頭らによる直営田を表わす佃つくだに関係するものか。

「壇」地名は近世墓地である。「庚申壇」は庚申塔に由来すると思われる。「おつけば からむし落付場」は芋おつけば いりうだを水に漬けておく芋漬場、「入生田」は用水管理のための共同水田である「井料田」のことか。

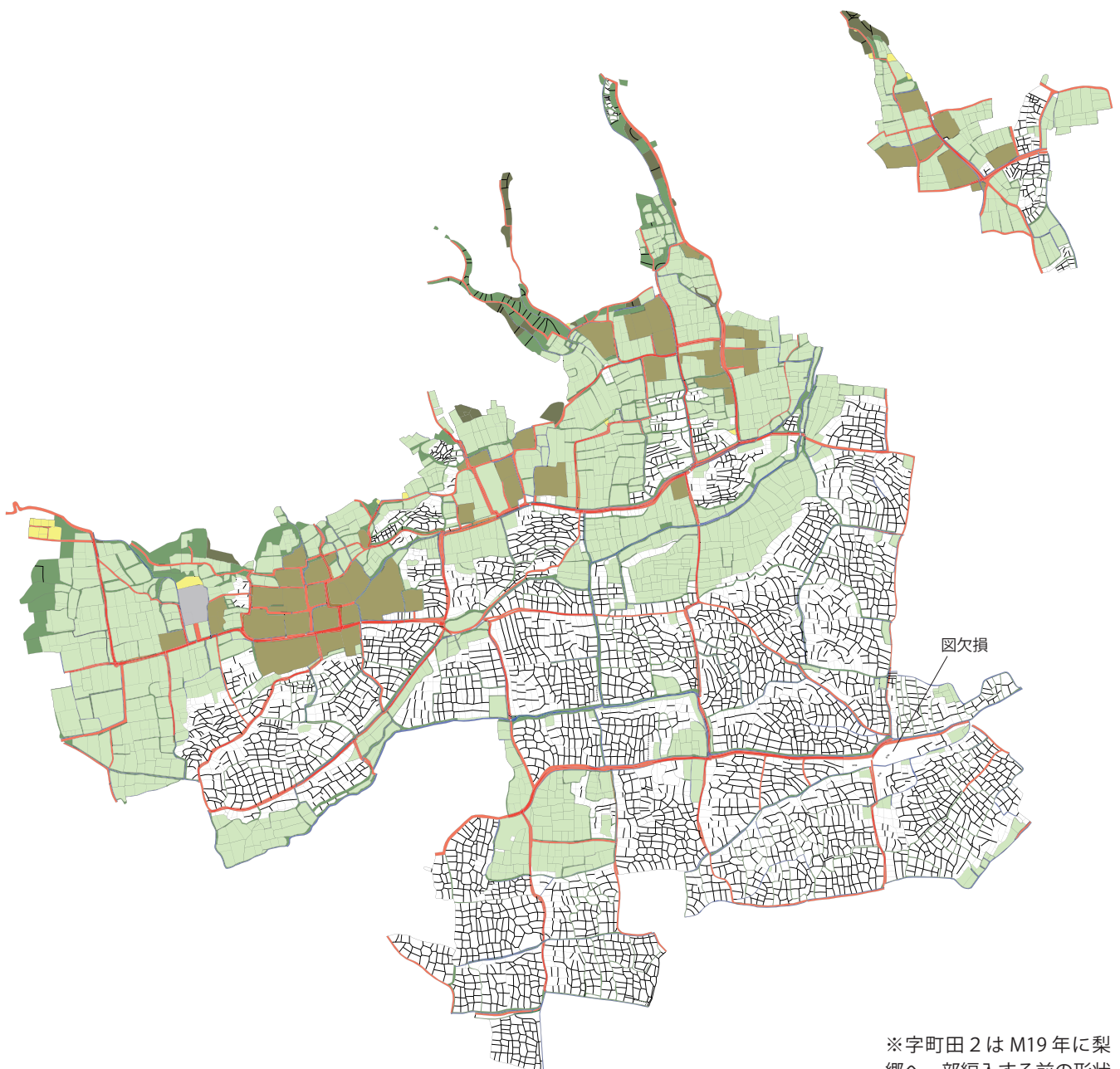


第 18 図 梨郷の小字名

たかわら
②竹原

北側の山裾に集落が立地し、南に水田地帯が広がる。「千苺田」「割田」付近に方形地割が残る。沖郷条里制とは向きが異なるが条里制に関連する地割の可能性もある。同様の方形地割は梨郷堰以西に見られる。「宮城1～4」は、和名類聚抄に記された古代置賜郡の郷の一つ、宮城郷に由来するとされる。地区の中央（「割田」「酒町2」等）に割田館が位置する。「酒町1」や「相ノ町」は明治期には既に集落は無いが、割田館に関連した集落があった可能性があるだろうか。竹原という地名の由来は不明だが、「館」が「竹」に転化する事例は多く知られており、「館原」が「竹原」に転化した可能性は考えられる。

竹原地区は寺社に由来する地名も多い。「光山寺」は稻荷山光山寺（全城院）のあった所と云い、「圓行寺」は龍雲院以前にあった寺である。「天王前」は牛頭天王社えんぎょうじに由来し、社の前には天王寺という寺があったとも云う。「白山田」は白山神社の免租地と思

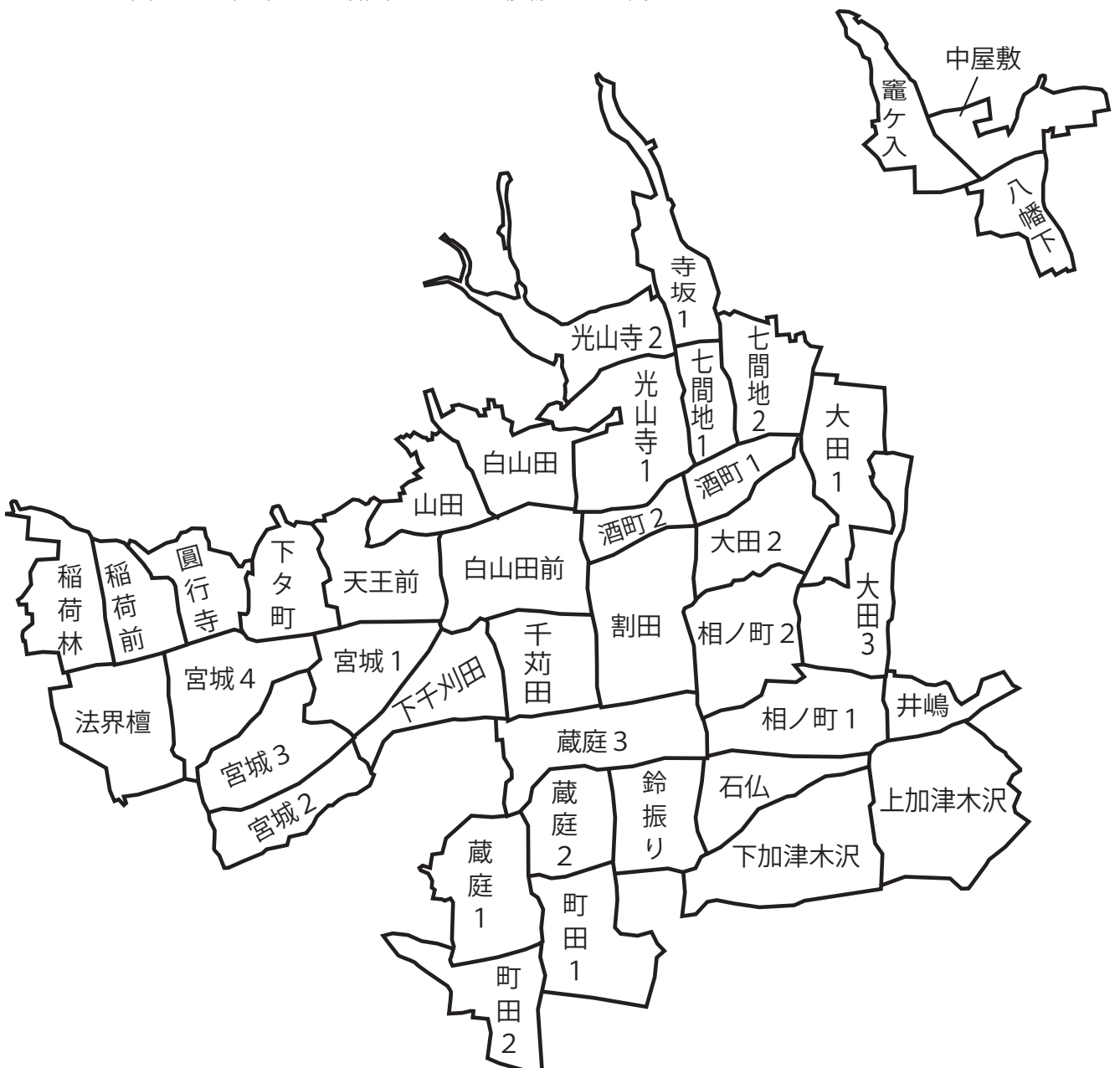


※字町田2はM19年に梨郷へ一部編入する前の形状

われる。「稲荷林」「稲荷前」「八幡神社」もそれぞれ神社に由来する。「石仏」は土平からの用水事業に失敗して自刃した上杉藩の家臣を弔った地と伝わるが、元々は現在梨郷小学校前に建つ南北朝頃の板碑に由来するものか。「七間地」には「治兵衛壇の東車塚塔婆」とも呼ばれた正元元年大日板碑（1259年）があったが、明治四年に「光山寺2」に移転されている。なお、市史編集資料第17号の嘉永三年（1850年）の竹原・七間地の絵図では「七間地2」南端付近の道沿いに板碑を思わせる石碑が1基描かれている。

「竈ヶ入」には窯があったか、或は竈に似た地形が由来と思われる。「法界檀」は近世墓地を示す地名である。

「上・下加津木沢^{がっきざわ}」は梨郷にも見られる小字名で、天正十五年（1587年）の増田宗成寺領寄進状で宗成（増田宗繁か）が本覚寺に寄進した田地の一つと考えられる。小字名はガツギという沼地の植物に由来するとも思われるが、開基の祭りをするための米をとる開基田^{がっきだ}に由来する可能性もある（安彦1978）。

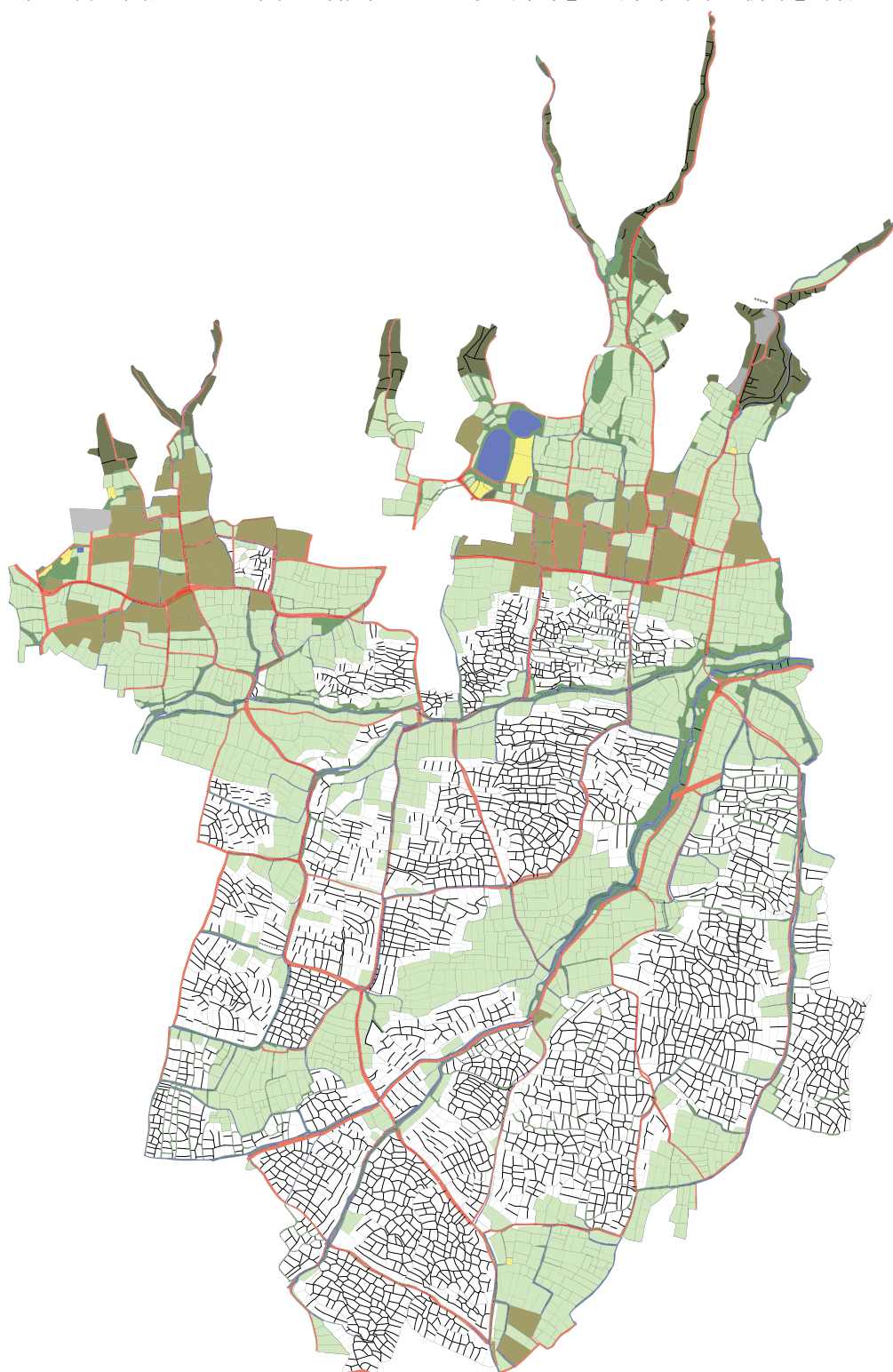


第20図 竹原の小字名

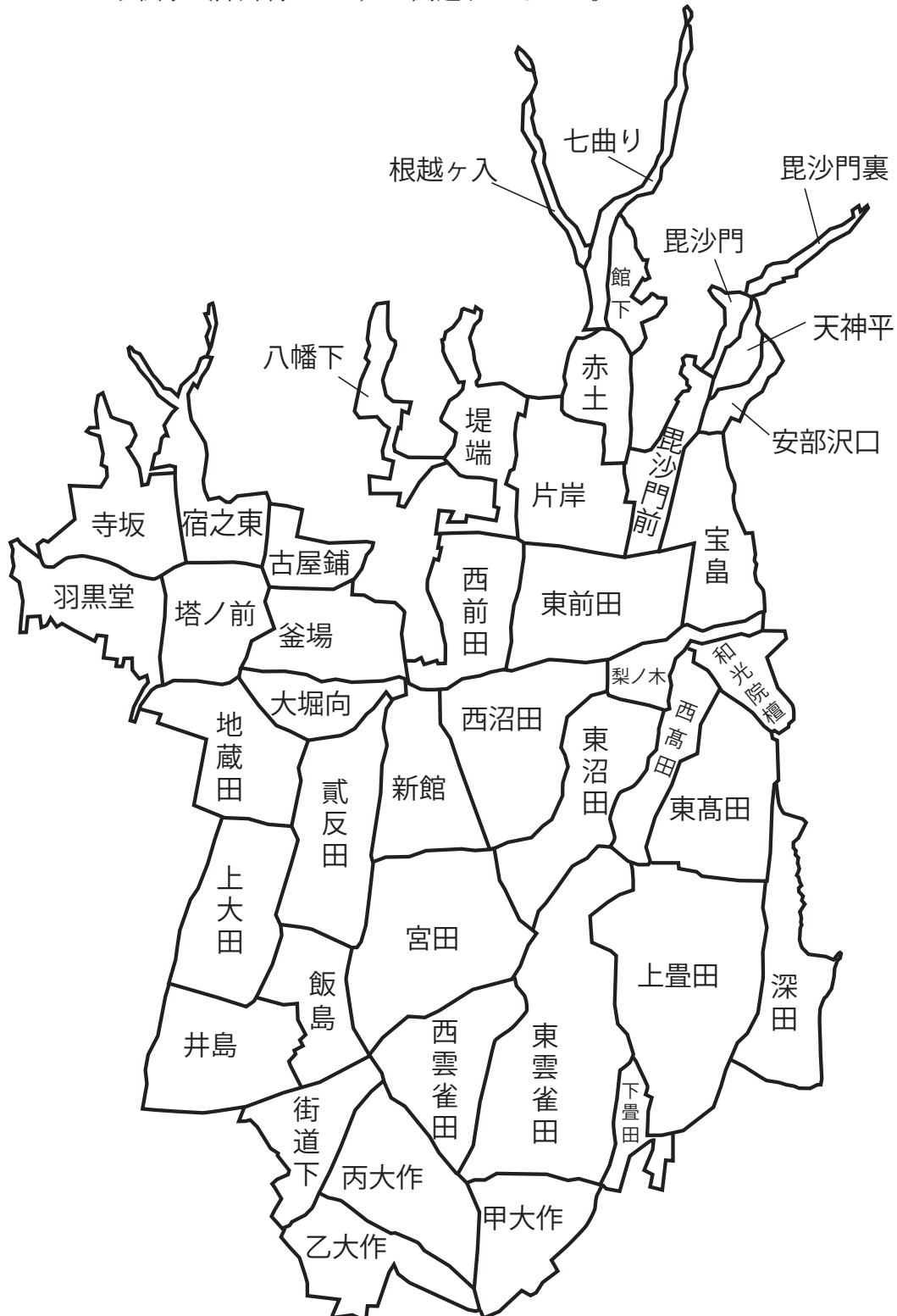
③和田

北の山裾に集落が立地し、その南に水田地帯が広がる。水田の中を二つに分岐した梨郷堰が流れ、その両岸に自然堤防が広がる。地元では分岐後に西流する堰をワエイ、南西流する堰をカエイと称すると言う。

和田の由来は不明だが、「ワタ」は山麓や河のカーブした地形で、山麓の水の湧く所を示す。梨郷堰が南に折れる地形等に由来か。「貳反田」「上大田」付近に方形区画がみられ、条里制に関連する地割の可能性もある。「片岸」に片岸館、「新館」付近に梨郷新



館、山中に赤松山館、竈山館が立地する。「七曲り」「館下」は赤松山館に由来し、「根越ヶ入」はその根小屋に関連する小字名か。「八幡下」は宮浦八幡神社があった地の西にあたる。「毘沙門」には毘沙門堂があった。「和光院檀」はかつて天王寺と呼ばれた羽黒修験法印に由来し、檀は近世墓地に由来すると思われる。「宝畠」は「たたら畑」の意と思われ、「釜場」や「赤土」等からも付近に何らかの生産遺跡がある可能性がある。「宮田」「地藏田」は神社や地藏講に対する免租地であろう。「安部沢口」は安部綱吉が片岸を経て宮内へ移ったという伝承（沖郷村 1973）に関連するものか。



第 22 図 和田の小字名

④砂塚

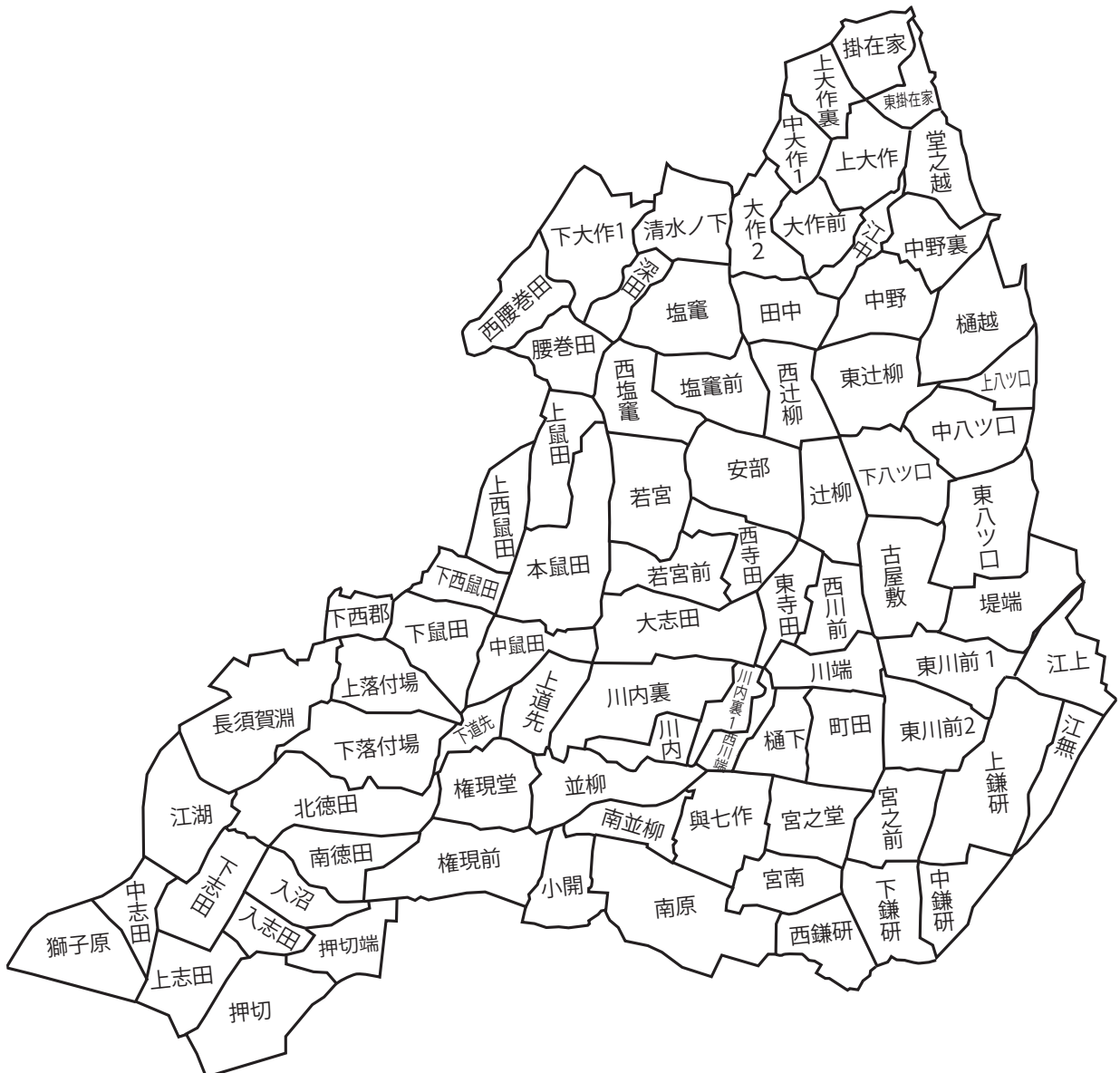
砂塚地区は宮内扇状地の西に位置し地区西南には最上川が流れる。地区の中央を織機川が東から西へ横断し、その両岸に広く自然堤防が発達している。その右岸のさらに北側にも古い自然堤防が東西に延びている。集落はこの古い自然堤防上と織機川の自然堤防上に立地している。この織機川が運んできた真砂土を多く含む土が堆積してできた自然堤防の様子が砂塚という地区名の由来になったものと思われる。最上川と織機川との合流地点の南に河川氾濫地名が多く残る。「押切」は川岸が削られた堤防決壊地名であり、「志田」は荒地、「獅子原」は湿地・土砂崩れ地を示す。「入沼」は蛇行部の短絡地点、「江湖^{えいこ}」は三日月湖である。織機川沿いでは「川内^{かわち}」が大雨時の浸水地名である。また、旧河道を示す地名の「江中」「深田」「腰巻田」が古い河川の流路を示している。「鎌研」のカマは鎌のように抉られた地名を示す。地区西辺に「鼠田」と付く小字が多く集まっている。ネズミ地名には、河川の氾濫を警戒して「寝ずに見守った地」「寝ず田」という事例もある。天正十五年（1587年）の増田宗成寺領寄進状では「ねすた」と記され



ている。

「下西郡」は梨郷地区の「上西郡」と共に郡衙関連地名と思われる。「掛在家」は在家地名である。天文二十二年（1553年）伊達晴宗公采地下賜録の「なかの在け」は「中野」付近にあったものか。砂塚地区では中世城館址は見つかっていないが、市史編集資料第10号では「砂塚原（字「南原」）に伊達家臣の島崎土佐守又右衛門行経が永禄三年（1560年）に島崎館を構え住む」との伝承を紹介している。「古屋敷」や方形地割の見られる「安部」付近にも屋敷や館跡があった可能性があり、「安部」には少なくとも近世には安部屋舗と呼ばれる屋敷があったことがわかる（米沢市立図書館蔵 寛政九年絵図）。

「若宮」には伊達時代に浄土宗の九品堂了西庵という寺があったという。「塩竈」は塩釜神社があったことに由来し、「権現堂」「権現前」や「宮之堂」「宮之前」も社に関係する。「落付場」は芋漬場おつけばからむしで、芋を刈って乾燥させ、皮がはがれ易いよう流水や池沼に漬けておく場所だったと思われる。「江上」は寛文二年（1662年）頃に開拓され、東覚院（後に長井市に移転）があったとされる（南陽市教育委員会 1983）。



第 24 図 砂塚の小事名

第3章 南陽市（漆山・梨郷・大塚）の小字名及び地名

市内各地区の小字名、地名を地区別に記録する。その出典の凡例は表4のとおりである。なお、これによらない場合は文献名を直接記載した。また古文書に見られる在家は、地名として残っていないものを字名・地名欄に（）で示した。

年	文献名	記号
1525	伊達植宗安堵状（大永五年）	A
1538	鍋田郷土史（21頁 天文七年御段銭古帳）	B
1553	伊達晴宗公采地下賜録（天文二十二年）	C
1585	天正十三年北条段銭帳	D
1638	寛永十五御検地帳羽付村	E
1638	寛永十五年漆山村之内柰之沢須刈田御検地帳	F
1638	寛永拾五年北條之内漆山村御検地帳	G
1638	寛永十五年北條之内荻村御検地帳	H
1638	寛永十五年北条之内赤湯村御検地帳	I
1638	寛永十五年組柳村検地帳	J
1639	萩生田村寛永拾六年水帳之事	K
1639	寛永十六年組柳村検地帳（山形県史資料編9）	L
1656	明暦二年御狩場之図	Lb
1739	元文四年温泉記（市史編集資料26号P34）	M
1767	明和四年北條之内長瀨村御検地帳	N
1781	鍋田郷土史（17・18頁 天明元年）	O
1786	天明六年文書	P
1790	寛政二年懸入石中山之在釜渡高帳	Q
1791	寛政三年赤湯村本地開改水帳	R
1794	寛政六年松沢村本地開改水帳	S
1824	文政七年金沢村本地開田畑水帳	T
1824	文政七年萱野改革水帳（赤湯町史268頁）	U
1830	文政十三年田畑売買并当代下書留扣帳	Ub
1843	天保十四年新田村漆反別名寄帳	V
1849	嘉永二年赤湯村本地開改水帳	W
1858	安永五年羽付村田畑名寄帳	Wb
	永代売渡申田畑證文之事	X
	御林集（日本林制史資料：赤湯町史345－346頁）	Y
	温泉記（市史資料集26号49頁）	Z
1874	明治七年地租改正 地価帳 土地台帳写（鍋田邑）	aa
1874～1893	明治七、八、二十六年字限図	ab
1876	明治九年新開摺帳（赤湯町史360頁）	ac
1938	東置賜郡史（昭和13・14年）	ad
1938	山形県地名録（昭和13年）	ae
1968	赤湯町史（昭和43年）	af
1973	沖郷村史（昭和48年）	ag
1979	梨郷村史（昭和54年）	ah
1981	角川日本地名大辞典（昭和56年）	ai
	南陽市地名索引（安達）	aj
1990	南陽市史（平成2年）	ak
2010	南陽市島貫の歴史（平成22年）	al
2013	平成25年税台帳	am

表4 小字名・地名の出典

1. 漆山 (1) 漆山の小字名・地名

NO	地区名	字名・地名	読み	出典	備考
	漆山		ウルシヤマ	ae,ai	
1	漆山	打越 (G: 打ちこし)	ウチコシ	G,ab,ad,ae,ai,ak,am	新山の西方。地滑り地名
2	漆山	大仏	オホボツ	G,ab,ad,ae,ai,ak,am	文和三年阿弥陀板碑
3	漆山	大仏東	オホボツヒガシ	ab,ad,ae,ai,ak,am	大仏の東
4	漆山	河原	カハラ	ab,ad,ae,ai,ak,am	織機川右岸の川原
5	漆山	上達	カミダテ	F,G,ab,ad,ae,ai,ak,am	上館か。西に大滝沢館、川向いに池黒館山館あり
6	漆山	上横打	カミヨコウチ	ab,ad,ae,ai,ak,am	ウチ：河川で土地が割れる
7	漆山	下横打	シモヨコウチ	ab,ad,ae,ai,ak,am	〃
8	漆山	北目	キタメ	ab,ad,ae,ai,ak,am	旧河道との分岐先端。北の免租地か
9	漆山	五合田	ゴゴウタ	ab,ad,ae,ai,ak,am	東寺町の西、西寺町の北
10	漆山	小林	コバヤシ	G,ab,ad,ae,ai,ak,am	ハヤシ：流水が早くなる所
11	漆山	曾利橋 (G: そりはし)	ソリハシ	G,ab,ad,ae,ai,ak,am	織機川右岸自然堤防と後背湿地
12	漆山	大根在家 (G: 大こん才け、大こ才け)	ダイコンザイケ	G,ab,ad,ae,ai,ak,am	大根在家
13	漆山	塚原	ツカノハラ (ai,am: ツカハラ)	G,ab,ad,ae,ai,ak,am	塚：古墳の可能性
14	漆山	天王 (ab: 天皇)	テンノウ (am: テノノウ)	G,ab,ad,ae,ai,ak,am	牛頭天王社に由来。発掘調査で屋敷跡と古墳群を確認
15	漆山	中道	ナカミチ	ab,ad,ae,ai,ak,am	西屋敷の北。織機川右岸微高地
16	漆山	西田中	ニシタナカ	G,ab,ad,ae,ai,ak,am	旧河道の分岐地含む低地
17	漆山	東田中	ヒガシタナカ	G,ab,ai,ak,am	旧河道西岸、微高地有
18	漆山	新山	ニヤマ (ai,am: ニイヤマ)	ab,ad,ae,ai,ak,am	漆山館。「二井山」と記す絵図もある
19	漆山	(新山在家)	ニヤマザイケ	D	新山在家
20	漆山	東高堰	ヒガシタカセキ	ab,ad,ae,ai,ak,am	旧河道東の自然堤防、道路の東
21	漆山	西高堰	ニシタカセキ	ab,ad,ae,ai,ak,am	旧河道東の自然堤防、道路の西。高塚があった
22	漆山	高堰	タカセキ	G	
23	漆山	西寺町	ニシテラマチ	ab,ad,ae,ai,ak,am	織機川右岸。三堀寺があった
24	漆山	東寺町	ヒガシテラマチ	ab,ad,ae,ai,ak,am	畑川右岸。氾濫域・自然堤防。三堀寺があった
25	漆山	寺町	テラマチ	G	三堀寺があった所
26	漆山	東屋敷	ヒガシヤシキ	ab,ad,ae,ai,ak,am	集落
27	漆山	西屋敷	ニシヤシキ	ab,ad,ae,ai,ak,am	集落
28	漆山	広面	ヒロオモテ	G,ab,ad,ae,ai,ak,am	ヒロ：土地が低く河川氾濫のあった所。ヒロ：免税地
29	漆山	深ケ沢	フカガサ	ad,ae,ai,ak,am	上達・四ツ谷の西の山
30	漆山	古館 (G: 古達)	フルダテ	G,ab,ad,ae,ai,ak,am	漆山館
31	漆山	細田	ホソダ	ab,ad,ae,ai,ak,am	河間低地。旧水路跡の細田有り
32	漆山	谷地中	ヤチナカ	G,ab,ad,ae,ai,ak,am	湿地
33	漆山	柳田	ヤナギタ	G,ab,ad,ae,ai,ak,am	東屋敷の西。ヤチ：斜面。キ：所。又は田の形状が柳に似ている、柳の木に由来など
34	漆山	雪ケ沢	ユキガサ	ad,ae,ai,ak,am	四ツ谷の西。サキ：岩、崖地
35	漆山	四ツ谷 (G: 四や)	ヨツヤ	G,ab,ad,ae,ai,ak,am	織機川が谷から出る地点
36	漆山	浅見沢	アサミサ	ad,ae,ai,ak,am	アサ：字崩れ地。山水が湧く湿地
37	漆山	一ノ滝	イチノタキ	ad,ae,ai,ak,am	立石の北
38	漆山	三ノ滝	サンノタキ	ad,ae,ai,ak,am	大走の北
39	漆山	岩清水	イワシミズ	ad,ae,ai,ak,am	東大沢二の南。織機川
40	漆山	大石沢	オオイシサ	F,ad,ae,ai,ak,am	松ヶ沢口の東
41	漆山	小石沢	コイシサ	ad,ae,ai,ak,am	松ヶ沢口の東

NO	地区名	字名・地名	読み	出典	備考
42	漆山	大掛	オカカ	ad,ae,ai,ak,am	カ：山崩れ、崖地
43	漆山	大窪	オカホ	ad,ae,ai,ak,am	ホ：窪地
44	漆山	大沢	オサリ	ad,ae,ai,ak,am	柴沢口～七曲の西
45	漆山	東大沢	ヒガ オサリ	ad,ae,ai,ak,am	中沢口～七曲の北
46	漆山	大平	オタイ	ad,ae,ai,ak,am	ヒラ：山崩れの起き易い所
47	漆山	大鷹	オトカ	ad,ae,ai,ak,am	大鷹山関連
48	漆山	大滝沢	オトサリ	ad,ae,ai,ak,am	滝は館の転化の可能性あり。採土場
49	漆山	大滝沢口	オトサリガチ	ad,ae,ai,ak,am	里見坂の北。織機川
50	漆山	大峠	オトウゲ	F,ad,ae,ai,ak,am	見沢の西。上伊佐沢への道有り
51	漆山	大峠前	オトウゲ マ	ad,ae,ai,ak,am	
52	漆山	大走	オハシ	ad,ae,ai,ak,am	一の滝の北。上松ヶ沢の東
53	漆山	大畑	オハタ (ai: オハタ)	ad,ae,ai,ak,am	七曲の北。織機川
54	漆山	大葉柳	オハヤキ (ai: オハヤキ)	ad,ae,ai,ak,am	矢ノ沢への道沿い。ヤキ：斜面地
55	漆山	関ノ下 (ai: 関下)	セキタ	ad,ai,ak,am	
56	漆山	鎌ヶ沢 (F: 釜ヶ沢)	カマガサリ	F,ad,ae,ai,ak,am	唐保の北東
57	漆山	上柴沢	カミシバサリ	ad,ae,ai,ak,am	矢ノ沢口東の西。広い谷。小須刈田に続く道あり
58	漆山	上立石	カミタシ	ad,ae,ai,ak,am	隣地に字館石。これらも館関連地名か
59	漆山	立石	タシ	ae,ai	
60	漆山	唐保	カホ	ad,ae,ai,ak,am	見沢の北。織機川
61	漆山	橋沢 (ai: 橋ヶ沢)	キツサ (ai,am: キツガサリ)	ad,ae,ai,ak,am	下田の北東。キツ：地崩れ地形
62	漆山	木戸場	キトバ	ad,ae,ai,ak,am	大滝沢口の北。織機川
63	漆山	木糶沢	キヤサリ (ai: キリサリ、am: キアサリ)	ad,ae,ai,ak,am	大沢三の中
64	漆山	調法沢	チヨウホサ (ae,af: キヨウホサ、ai: チヨウホウサリ、am: チヨホサアリ)	ad,ae,ai,ak,am	貞白森の北東。矢ノ沢への道沿い
65	漆山	熊ヶ沢	クマガサリ	ad,ae,ai,ak,am	熊ヶ沢口の西
66	漆山	熊ヶ沢口	クマガサリガチ	ad,ae,ai,ak,am	後藤名出の北。織機川
67	漆山	後藤名出 (F: 後藤なて)	ゴトウナデ	F,ad,ae,ai,ak,am	山の神の北。織機川
68	漆山	小仏沢	オトケサリ	ad,ae,ai,ak,am	山ノ神の北の山
69	漆山	駒ヶ沢 (F: こまか沢)	コマガサリ	F,ad,ae,ai,ak,am	備後館の西。館関連か
70	漆山	後連畑	ゴレンバタ (am: ゴレンバタ)	ad,ae,ak,am	石清水の西。織機川
71	漆山	笹子平	ササコタイ	ad,ae,ai,ak,am	笹子平遺跡
72	漆山	里見坂	サミカ	ad,ae,ai,ak,am	雪ヶ沢の東。織機川
73	漆山	三本谷	サンボンヤ	ad,ae,ai,ak,am	
74	漆山	鴨ヶ岡 (ai: 鴨岡)	シキガカ (ai: カカ)	ad,ae,ai,ak,am	熊ヶ沢口の北。シキ：剥ぐ。地滑り地名
75	漆山	上鴨ヶ岡	カミシキガカ	ad,ae,ai,ak,am	
76	漆山	柴沢口	シバサリガチ	ad,ae,ai,ak,am	矢ノ沢口東の北西
77	漆山	下小沢	シモコサリ	ad,ae,ai,ak,am	駒ヶ沢の北
78	漆山	下田	シメタ	F,ad,ae,ai,ak,am	松ヶ沢の北。織機川
79	漆山	下平田	シモヒラタ	ad,ae,ai,ak,am	下田の西
80	漆山	菖蒲沢	シヨウブサリ	ad,ae,ai,ak,am	唐保の西
81	漆山	東須刈田	ヒガシカサリ	ad,ae,ai,ak,am	須刈田の東
82	漆山	西須刈田	ニシカサリ	ad,ae,ai,ak,am	須刈田の西
83	漆山	南須刈田	ミミカサリ	ad,ae,ai,ak,am	東須刈田の南
84	漆山	北須刈田	キタカサリ	ad,ae,ai,ak,am	備後館～下田の西
85	漆山	須苅田 (F: すかり田)	スカサリ	F,ae,ai,am	須刈田前の南
86	漆山	小須刈田 (F: 小すかり田)	コスカサリ	F,ad,ae,ai,ak,am	南須刈田の南
87	漆山	須刈田前	スカサリ マ	ad,ae,ai,ak,am	駒ヶ沢の南西
88	漆山	東館岩 (F: 東立岩)	ヒガシタシ	F,ad,ae,ai,ak,am	城館地名か、自然の立岩
89	漆山	中館岩 (F: 中立岩)	ナカシ	F,ad,ae,ai,ak,am	か
90	漆山	西館岩 (F: 西立岩)	ニシタシ	F,G,ad,ae,ai,ak,am	

NO	地区名	字名・地名	読み	出典	備考
91	漆山	館岩	タヱ	F,ae,ai,am	城館地名か立岩か
92	漆山	館ヶ沢	タガサ	ad,ae,ai,ak,am	羽付境。深沢の西。新山の後方の山。城館地名
93	漆山	地藏前	ジゾウ	ad,ae,ai,ak,am	菖蒲沢の北
94	漆山	造道 (aj: つくりみち)	ツクリミチ	ad,ae,ai,aj,ak,am	
95	漆山	手白森	テシロモリ	ad,ae,ai,ak,am	矢ノ沢への道沿い。池黒の貞白森の東。テシロ: 神の使いの棲む森と云う
96	漆山	手白森山 (ai: 手白山)	テシロモリヤマ	ad,ae,ai,ak,am	
97	漆山	寺刈場下	テカリハシタ	ad,ae,ai,ak,am	
98	漆山	寺刈林下	テカリハヤシタ	ad,ae,ai,ak,am	
99	漆山	鯨沢	ドゾウ	ad,ae,ai,ak,am	池黒字鯨沢への飛び地
100	漆山	中沢口	ナカザウチ	ad,ae,ai,ak,am	柴沢口の北西。織機川
101	漆山	中沢	ナカザ	ai	
102	漆山	長畑	ナガハタ	ad,ae,ai,ak,am	
103	漆山	七曲り	ナナマカリ	ad,ae,ai,ak,am	後連畑の北。織機川
104	漆山	仁田	ニタ (ai: ニタ)	ad,ae,ai,ak,am	ニタ: 山水の染み出る所
105	漆山	仁田尻	ニタシ	ad,ae,ai,ak,am	
106	漆山	沼平	ヌマダラ	ad,ae,ai,ak,am	
107	漆山	備後館 (F: 備後立)	ビノコダテ	F,ad,ae,ai,ak,am	備後館。須刈田との分かれ道
108	漆山	備後館下	ビノコダテシ	ad,ae,ai,ak,am	大畑の北。織機川。備後館の南
109	漆山	二タ又	ニタマタ	ad,ak	ニタ: 山水の染み出る所
110	漆山	北沢	キタザ	ad,ak	
111	漆山	南沢	ミナザ	ad,ak	
112	漆山	二又北沢	フタマタキタザ	ae,ai,am	後連畑の西
113	漆山	二又南沢	フタマタミナザ	ae,ai,am	〃
114	漆山	稗田	ハイダ (ai,am: ヒエダ)	G,ad,ae,ai,ak,am	
115	漆山	東稗田	ヒガシヒエダ	ai	
116	漆山	上松ヶ沢	カミツカザ	ad,ae,ai,ak,am	松ヶ沢～見沢の東
117	漆山	下松ヶ沢	シモツカザ	ad,ae,ai,ak,am	大畑～松ヶ沢口の東
118	漆山	松ヶ沢 (F: まつか沢)	ツカザ	F,ae,ai,am	松ヶ沢口の北東
119	漆山	松ヶ沢口	ツカザウチ	ad,ae,ai,ak,am	備後館の北。織機川
120	漆山	見沢	ミザ	ad,ae,ai,ak,am	下田の北。織機川
121	漆山	水上	ミヅカミ	F,ad,ae,ai,ak,am	須刈田の東。東須刈田の中
122	漆山	水無	ミヅナシ	ad,ae,ai,ak,am	池黒字水無への飛び地
123	漆山	東杓ノ沢	ヒガシシクノザ	ad,ae,ai,ak,am	唐保～館岩の東
124	漆山	西杓ノ沢	ニシシクノザ	ad,ae,ai,ak,am	館岩の西
125	漆山	杓ノ沢	シクノザ	ae,ai,am	地藏前の北
126	漆山	本左沢	モトサザ (ai: モトサザリ, am: モトサザリ)	ad,ae,ai,ak,am	山の神南の北の山。アテ: 洪水の危険性のある川
127	漆山	焼ノ下	ヤクノシタ	ad,ae,ai,ak,am	野焼関連か
128	漆山	焼ノ平	ヤクノタイラ (ai: ヤクノタイラ)	ad,ae,ai,ak,am	〃
129	漆山	焼ノ平下	ヤクノタイラシ	ad,ae,ai,ak,am	〃
130	漆山	屋敷沢	ヤシザ	ad,ae,ai,ak,am	調法沢の北東。矢ノ沢への道沿い
131	漆山	屋敷沢口	ヤシザウチ	am	屋敷沢の北東。矢ノ沢への道沿い
132	漆山	屋敷浦	ヤシクラ	G,am	屋敷の裏
133	漆山	南矢ノ沢	ミナヤノザ	ad,ae,ai,ak,am	矢ノ沢の西
134	漆山	北矢ノ沢	キタヤノザ	ad,ae,ai,ak,am	
135	漆山	矢ノ沢	ヤノザ	F,ae,ai,am	元集落地
136	漆山	矢ノ沢口東	ヤノザウチヒガシ	ad,ae,ai,ak,am	矢ノ沢口西の北。織機川
137	漆山	矢ノ沢口西	ヤノザウチニシ	ad,ae,ai,ak,am	鳴ヶ岡の北。織機川
138	漆山	山ノ神	ヤマノカミ	ad,ae,ai,ak,am	山ノ神
139	漆山	山ノ神南	ヤマノカミナシ	ad,ae,ai,ak,am	譲沢口の北。織機川

NO	地区名	字名・地名	読み	出典	備考
140	漆山	譲沢	ユツリサ ^ニ (ai: ムス ^ニ リサ ^ニ リ、am: ムス ^ニ リサ ^ニ リ)	ad,ae,ai,ak,am	譲沢口の北の沢
141	漆山	譲沢口 (ae: 譲澤)	ユツリサケチ (ai: ムス ^ニ リサケチ)	ae,ai,am	木戸場の北。織機川
142	漆山	四ツ坪	ヨツツホ	ad,ae,ai,ak,am	壺のような地形か
143	漆山	前田	マエタ	F,ab,ai,am	旧水路跡の細田あり
144	漆山	備後塚	ヒノゴツカ	G,ab,ai,am	備後三郎の首塚と伝える。中世墓地、曲物片、一字一石経出土
145	漆山	向入	ムカイレ	ai,am	
146	漆山	館石	タテイシ	am	城館地名か
147	漆山	早坂	ハヤサカ	ai,am	
148	漆山	李沢	スモモサリ (ai: シモモサリ)	ai,am	スモモ：地滑りで窄められた地
149	漆山	赤坂	アカサカ	am	
150	漆山	岩倉	イワクラ	ai	岩倉神社
151	漆山	蛇見沢	ヘビミサリ	ai	蛇：土石流地名
152	漆山	藤面沢	トウメンサリ	ai	
153	漆山	大乱	オオミダレ	ai	災害地名
154	漆山	割沢	ワリサリ	ai	
155	漆山	評判平	ヒョウバンタイラ	ai	
156	漆山	關ノ下	ガケノシタ	ae,ai	崖地名
157	漆山	苗代	ナリシロ	F	
158	漆山	とうの前	トウノマエ	F,G	堂の前
159	漆山	平兵衛作り	ヘイヘイヅクリ	F	人名
160	漆山	屋敷の上	ヤシキノウエ	F	
161	漆山	屋敷の入	ヤシキノイリ	F	
162	漆山	かミ	カミ	F	
163	漆山	小沢	コサリ	F	
164	漆山	むかい	ムカイ	F	
165	漆山	しつの上	シツノウエ	F,G	清水ノ上か
166	漆山	勘五郎作	カンゴロウヅクリ	F	人名
167	漆山	たての下	タテノシタ	F	館の下
168	漆山	達の下	タツノシタ	F	館の下や滝の下か
169	漆山	達の内	タツノウチ	F	館の内や滝の内か
170	漆山	内達	ウチダテ	F,G	内館か
171	漆山	こや立	コヤダテ	F	小屋館（城館地名）か
172	漆山	八三作	ハチサンヅクリ?	F	人名
173	漆山	作三作	サクゾウヅクリ	F	人名
174	漆山	作蔵作	サクゾウヅクリ	F	人名
175	漆山	作助作り	サクスヅクリ	F	人名
176	漆山	のゝ田	ノノタ	F	
177	漆山	くりの木下	クリノキシタ	F	
178	漆山	くりの木ふん	クリノキブン	F,G	
179	漆山	くりの木た	クリノキタ	G	
180	漆山	栗分	クリワケ	G	
181	漆山	栗た（くりた）	クリタ	G	
182	漆山	七郎左エ門	シチロウサエモン	F	人名
183	漆山	大ふけ	オオフケ	F	坊：湿地、沼だった所
184	漆山	下（しも）	シモ	F	
185	漆山	きつつか沢	キツツカサリ	F	
186	漆山	清三郎作	セウサンロウヅクリ	F	人名
187	漆山	八沢	ヤツサリ	F	
188	漆山	下空沢	シモクノサリ	F	
189	漆山	坂の内	サカノウチ	F	
190	漆山	こまいた沢	コマイダサリ	F	
191	漆山	二股沢	フタマダサリ	F	
192	漆山	しば沢	シバサリ	F	柴沢
193	漆山	与三作り	ヨサンヅクリ	F	人名

NO	地区名	字名・地名	読み	出典	備考
194	漆山	孫左エ門作り	マゴザエモンヅク	F	人名
195	漆山	糸ぼし石	イトシイシ	F	烏帽子石
196	漆山	東沢口	ヒガシザウチ	F	
197	漆山	二まい田	ニマイタ	F	二枚田
198	漆山	二まいた上	ニマイタウヘ	F	二枚田上
199	漆山	二枚田沢	ニマイタザリ	F	
200	漆山	東	ヒガシ	F	
201	漆山	又七郎作り	マタシチロウヅク	F	人名
202	漆山	惣八郎作り	ソウハチロウヅク	F	人名
203	漆山	きようか沢	キョウカザリ	F	経ヶ沢か
204	漆山	ふかた	フカダ	F,G	深田
205	漆山	源蔵作り	ゲンゾウヅク	F	人名
206	漆山	おんのふれ	オンノフレ	F	
207	漆山	兵吉作り	ヘイケヅク	F	人名
208	漆山	かのとき石	カノキイシ	F	
209	漆山	つきの沢	ツキノザリ	F	
210	漆山	稗田ノ入	ヒエタノイリ	F	
211	漆山	弥左エ門作り	ヤサエモンヅク	F	人名
212	漆山	壇の前(段ノ前)	ダンノマエ	F,G	
213	漆山	東はなし	ヒガシバナシ	F	
214	漆山	小山ノ前	オヤマノマエ	F	
215	漆山	李平	スモエダラ	F	スモエ：地滑りで窄められた地
216	漆山	山崎	ヤマザキ	F	
217	漆山	藤地	フジチ	F	フジ：山裾を引いた地形
218	漆山	はけの下	ハケノタ	F,G	ハケ：崖、禿地
219	漆山	道ノ下	ミチノタ	F	
220	漆山	丸□の内	マル()ノウチ	F	□：不明
221	漆山	ふちの内	フチノウチ	F	
222	漆山	はし本	ハシト	F	橋本
223	漆山	新貴	シンキ	F	
224	漆山	小林前	コハヤシマエ	F	
225	漆山	小林分	コハヤシブン	F	
226	漆山	十郎右エ門作り	ジュウロウウエモンヅク	F	
227	漆山	やくしノ前(G:やくし前)	ヤクシノマエ	F,G	薬師の前
228	漆山	堂ノ前	ドウノマエ	F,G	
229	漆山	前畠	マエハタ	F	
230	漆山	新山口	ニヤマケチ	F	
231	漆山	ミミとり分	ミミトリブン	F,G	
232	漆山	ミミとり原	ミミトリハラ	G	
233	漆山	そら沢	ソラザリ	F	
234	漆山	関の上	セキノウヘ	F	
235	漆山	はつしの沢	ハツシノザリ	G	
236	漆山	内たて	ウチダテ	G	内館か
237	漆山	沢なし	ザリナシ	G	
238	漆山	山岸(山きし)	ヤマキシ	G	
239	漆山	いなり沢口	イナリザウチ	G	稲荷沢口
240	漆山	山ノ下	ヤマノタ	G	
241	漆山	まはり	マハリ	G	廻戸か
242	漆山	一上畠	イチジョウハタ	G	イチジョウ：一条からの転化にも注意が必要か
243	漆山	くわ畠(くわはた)	クワハタ	G	桑畠
244	漆山	くわはた作り	クワハタヅク	G	桑畠作り
245	漆山	くわ原	クワハラ	G	桑原
246	漆山	入小林	イリコハヤシ	G	
247	漆山	ヲノ	ヲノ	G	
248	漆山	十郎右エ門	ジュウロウウエモン	G	人名
249	漆山	丹後屋敷	タノゴヤシキ	G	

NO	地区名	字名・地名	読み	出典	備考
250	漆山	やくし堂田	ヤクシ ^ダ ウ	G	薬師堂田
251	漆山	オス堂	オシ ^ト ウ	G	才津堂。参考：川西町には妻頭神社あり
252	漆山	十文字	ジ ^ユ モジ	G	
253	漆山	砂田（すなた）	サ ^タ	G	砂の堆積地
254	漆山	先立	セン ^タ ツ	G	
255	漆山	千達作	セン ^タ ツヅ ^ク リ	G	
256	漆山	下道	シ ^タ ミ	G	
257	漆山	くねつま	ク ^ネ ツマ	G	曲（クネ）か。又はクネ：土地が隆起して通過を妨げている所
258	漆山	大しつ	オ ^シ ツ	G	
259	漆山	石田	イ ^シ タ	G	石の多い田
260	漆山	源六	ゲン ^ロ ク	G	人名か
261	漆山	川原（かわら）	カ ^ラ	G	河川
262	漆山	川原前	カ ^ラ マ ^エ	G	
263	漆山	北メ	キ ^メ	G	北免か（免税地）
264	漆山	北メヲノ	キ ^メ ヲ ^ノ	G	
265	漆山	土堂	ツ ^チ ト ^ウ	G	
266	漆山	カキツマ	カ ^キ ツマ	G	
267	漆山	寺ノ田	テ ^ラ ノ ^タ	G	寺社の免税地
268	漆山	遠やしき	ト ^オ ヤ ^シ キ	G	遠屋敷
269	漆山	にし	ニ ^シ	G	西
270	漆山	前	マ ^エ	G	
271	漆山	道上	ミ ^チ ノ ^ウ エ	G	
272	漆山	越廻り	コ ^シ マ ^リ	G	
273	漆山	平右衛門	ヒ ^ラ ウ ^エ モン	G	人名
274	漆山	かしん作り	カ ^シ ン ^ヅ ク ^リ	G	
275	漆山	酒しやう塚（坂しやう塚）	サ ^カ シヨウ ^ヅ カ	G	塚があったか
276	漆山	ふかつた	フ ^カ ツタ	G	
277	漆山	外やしき	ウ ^チ ヤ ^シ キ	G	外屋敷
278	漆山	小野作（おの作）	オ ^ノ ヅ ^ク リ	G	
279	漆山	小ノ	オ ^ノ	G	小野
280	漆山	白山堂	ハ ^ク サン ^ト ウ	G	白山神社
281	漆山	たうてん	タ ^ウ テン	G	堂田（免税地か）
282	漆山	やたうない	ヤ ^タ ウ ^ナ イ	G	
283	漆山	外畠	ウ ^チ ノ ^ハ タ	G	
284	漆山	南	ミ ^ナ ミ	G	
285	漆山	与一	ヨ ^イ チ	G	人名
286	漆山	与一作	ヨ ^イ チ ^ヅ ク ^リ	G	人名
287	漆山	こつてんわう（こつ天王）	コ ^ツ テン ^ウ オウ	G	牛頭天王
288	漆山	天王十郎右衛門	テン ^ノ ウジ ^ロ ウ ^エ モン	G	人名
289	漆山	竹原（竹わら）	タ ^ケ ハラ	G	館原か
290	漆山	水樋越（水樋こし、とよこし）	ミ ^ヅ ヒ	G	水路
291	漆山	ままの上	マ ^マ ノ ^ウ エ	G	崖の上
292	漆山	高付	タ ^カ ツキ	G	
293	漆山	西高付	G		
294	漆山	東高付	ヒガ ^シ タツキ	G	
295	漆山	畠添	ハ ^タ ヅ ^エ	G	
296	漆山	ミそおけふん	ミ ^ソ オ ^ケ ブン	G	
297	漆山	たいせい作（たいせ作）	タイ ^セ イ ^ヅ ク ^リ	G	多勢作か
298	漆山	水くほ	ミ ^ヅ ク ^ホ	G	水窪
299	漆山	高まま	タ ^カ ママ	G	マ：崖
300	漆山	七つ畝	ナ ^ナ ツ ^ネ	G	
301	漆山	大覚屋敷	ダイ ^カ ケヤ ^シ キ	G	
302	漆山	内蔵助作	ウ ^チ クラノ ^ス ケ ^ヅ ク ^リ	G	人名
303	漆山	くらの助作	クラノ ^ス ケ ^ヅ ク ^リ	G	
304	漆山	よこおち（横おち）	ヨ ^コ オ ^チ	G	

NO	地区名	字名・地名	読み	出典	備考
305	漆山	一枚五十かり	イチマイゴジウカリ	G	刈は中世年貢上納に係る
306	漆山	廿五束かり	ニジウゴリカカリ	G	水田面積
307	漆山	明神堂	ミョウジノドウ	G	明神堂
308	漆山	杉ノ下	スギノシタ	G	
309	漆山	石はし	イハシ	G	石橋
310	漆山	せみ作	セミヅクリ	G	
311	漆山	たのかミ (田ノ神)	タノカミ	G	田の神を祀っていたか
312	漆山	かつさ作	カツサヅクリ	G	人名
313	漆山	よもぎ田	ヨモギタ	G	植物名。ヨモギ：崩壊地名
314	漆山	蓮田	ハスダ	G	
315	漆山	糸末 (江末)	イトエ	G	
316	漆山	糸なし	イトナシ	G	江無
317	漆山	糸かみ	イトカミ	G	江上
318	漆山	ノキハ	ノキハ	G	
319	漆山	ひやけ	ヒヤケ	G	
320	漆山	七合田	イチゴウダ	G	
321	漆山	水押	ミヅオシ	G	洪水地名
322	漆山	北田	キタ	G	
323	漆山	たいし堂	タイシトウ	G	大師堂又は太子堂
324	漆山	川前	カマエ	G	
325	漆山	源左エ門作	ゲンサウエモンヅクリ	G	人名
326	漆山	まとぼ	マトボ	G	的場、武芸の練習場
327	漆山	彦作つくり	ヒコサヅクリ	G	人名
328	漆山	ほた田	ホタダ	G	ホタ：湿地
329	漆山	かきハ	カキハ	G	
330	漆山	ありはる	アリハル	G	
331	漆山	ほり	ホリ	G	
332	漆山	ヤシキツマ	ヤシキツマ	G	屋敷妻
333	漆山	しつばた	シツバタ	G	清水端か
334	漆山	出畠	デハタ	G	
335	漆山	ヤンキ添	ヤンキヅエ	G	
336	漆山	いへノ前	イヘノマエ	G	
337	漆山	横道	ヨコミチ	G	
338	漆山	ほんきん作	ホンキンヅクリ	G	
339	漆山	長おもて	ナガオモテ	G	長表
340	漆山	二郎左エ門作	ジロウサウエモンヅクリ	G	人名
341	漆山	孫右エ門作	マゴウエモンヅクリ	G	人名
342	漆山	ひはりた	ヒバリタ	G	雲雀田
343	漆山	ヒハコシ	ヒハコシ	G	
344	漆山	ノ添	ノヅエ	G	野添
345	漆山	くわんおん堂	カンノトウ	G	観音堂
346	漆山	川向	カムカイ	G	
347	漆山	法師柳	ホウシヤナギ	G	
348	漆山	田畠作	タハタヅクリ	G	
349	漆山	寺田	テラダ	G	寺社の免税地
350	漆山	ひふんこ作	ヒフンコヅクリ	G	
351	漆山	あなた	アナタ	G	穴田
352	漆山	大たき	オホタキ	G	大滝
353	漆山	屋敷前	ヤシキマエ	G	
354	漆山	寺ノ下	テラノシタ	G	
355	漆山	しつの前	シツノマエ	G	清水の前
356	漆山	一枚さハリ	イチマイサハリ	G	
357	漆山	かち作	カチヅクリ	G	
358	漆山	新右エ門作	シンウエモンヅクリ	G	人名
359	漆山	太郎兵工作	タロウヘイヅクリ	G	人名
360	漆山	ヤノメわたと	ヤノメワタ	G	
361	漆山	小林ノ下	コバヤシノシタ	G	

1. 漆山 (2) 池黒の小字名・地名

NO	地区名	字名・地名	読み	出典	備考
	池黒		イウケロ	ae,ai	
1	池黒	一本木	イッポンキ	ab,ad,ae,ai,ak,am	地区の南東端
2	池黒	井戸尻	イドジリ	ab,ad,ae,ai,ak,am	井戸の底のような地形。低湿地
3	池黒	江留	イトメ (am: イトマリ)	ab,ad,ae,ai,ak,am	江は入江、川。中落合運河の北
4	池黒	(ほりとめ在け)	ホトメ イ	C	NO3に関係か。堀留在家
5	池黒	扇田	オウキタ	ab,ad,ae,ai,ak,am	オウキ: 河川土砂堆積地
6	池黒	大坪	オオツボ	ab,ad,ae,ai,ak,am	西屋敷の北。大きい坪又はツボ(窪む地形)
7	池黒	鬼二百疇	オニヒヤカガリ	ab,ad,ae,ai,ak,am	刈は中世年貢上納に係る水田面積。鬼は大きく異形なものに付く冠詞
8	池黒	上之平 (am: 上ノ平)	ウエノヒラ	ad,ae,ai,ak,am	山頂に別所館、池黒館山館あり
9	池黒	川原	カハラ	ab,ad,ae,ai,ak,am	旧河道分岐地近辺
10	池黒	観音前	カンノマイ	ab,ad,ae,ai,ak,am	羽黒神社・観音堂有り
11	池黒	木の実小屋 (ad,ae: 木ノ室小屋、ai,am: 木之実小屋)	キノメコヤ (ai: キノミコヤ、am: キノミゴヤ)	ab,ad,ae,ai,ak,am	江戸時代の「木の実御蔵」か
12	池黒	京田	キョウテン	ab,ad,ae,ai,ak,am	経田(寺に寄進された田)の当て字か
13	池黒	庚檀	コウタン (ai: カヌイタン、am: カノイタン)	ab,ad,ae,ai,ak,am	庚申塔のある壇か
14	池黒	石台	コウタイ (ai: イタイ)	ab,ad,ae,ai,ak,aj,am	檀の前北。旧河道
15	池黒	五輪壇	ゴリンタン	ab,ad,ae,ai,ak,am	五輪塔のある壇
16	池黒	川窪	カクボ	ab,ai	川の窪んだ所
17	池黒	上川窪	カミカクボ	ab,ad,ae,ai,ak,am	織機川旧河道の窪地
18	池黒	下川窪	シモカクボ	ad,ae,ai,ak,am	〃
19	池黒	上割田	カミワタ	ab,ad,ae,ai,ak,am	下割田の北
20	池黒	下割田	シモワタ	ab,ad,ae,ai,ak,am	上無川左岸微高地
21	池黒	東割田	ヒガシワタ	ab,ad,ae,ai,ak,am	上無川右岸
22	池黒	割田	ワタ	ai	
23	池黒	新右衛門川原	シンウエモンカハラ	ab,ad,ae,ai,ak,am	織機川左岸。人名
24	池黒	神明前	シンメイマイ (ai: シンメイイ)	ab,ad,ae,ai,ak,am	坂上神明宮
25	池黒	砂田	サタ	ab,ad,ae,ai,ak,am	砂の堆積地。上無川と織機川の間
26	池黒	関ノ上	セキノウエ	ab,ad,ae,ai,ak,am	東・南弁天の東
27	池黒	関ノ下	セキノシタ	ad,ae,ak	崖
28	池黒	関ノ下	セキノシタ	ai	
29	池黒	千疇田	センカウリダ	ab,ad,ae,ai,ak,am	刈は中世年貢上納に係る水田面積
30	池黒	台ノ上	ダイノウエ	ab,ad,ae,ai,ak,am	上無川と織機川の間
31	池黒	高田	タカダ	ab,ad,ae,ai,ak,am	石台の北。旧河道左岸の自然堤防
32	池黒	館之内 (ae,ai,am: 館ノ内)	タノチ	ab,ad,ae,ai,ak,am	山麓にあった館か
33	池黒	館山	タヤマ	ab,ad,ae,ai,ak,am	館之内の北。池黒館山館の南斜面
34	池黒	館山下	タヤマシタ	ab,ad,ae,ai,ak,am	館山の西。池黒館山館の南斜面
35	池黒	地蔵巡 (ae,ai,ak,am: 地蔵廻)	ジゾウメクリ	ab,ad,ae,ai,ak,am	館之内の西。地蔵のある地の周りの意か
36	池黒	土戸川原	ツチドカハラ	ab,ad,ae,ai,ak,am	旧河道分岐地点。土: 泥。泥で戸を立てたように堰き止められたか
37	池黒	鳥居脇	トリイキ	ab,ad,ae,ai,ak,am	高田の東。神明神社に関連か
38	池黒	長表	ナガオヒ	ab,ad,ae,ai,ak,am	東田の北
39	池黒	中嶋 (ae,ai,ak: 中島)	ナカシマ	ab,ad,ae,ai,ak,am	織機川右岸。中洲状
40	池黒	永増	ナガマス	ab,ad,ae,ai,ak,am	長間洲か。上無川・矢ノ目川合流点
41	池黒	西屋敷	ニシヤシ	ab,ad,ae,ai,ak,am	宮内境

NO	地区名	字名・地名	読み	出典	備考
42	池黒	猫子前	ネコマエ	ab,ad,ae,ai,ak,am	ネコヤか。根小屋：非戦闘時の集落或は家臣団屋敷跡。旧河道左岸の自然堤防
43	池黒	猫子屋敷	ネコヤシ	ab,ad,ae,ai,ak,am	岩倉神社略史では、義経がねご屋敷の駿馬を手に入れ、岩倉神社に参拝したと伝える。 ネコヤ：非戦闘時の集落・家臣団屋敷跡
44	池黒	馬場	ハバ	ab,ad,ae,ai,ak,am	松畑の北。城館関連。騎馬の修練場
45	池黒	長谷堂	ハトウ	ad,ae,ai,ak,am	長谷観音か
46	池黒	別所	ヘツショ	ab,ad,ae,ai,ak,am	宮内境。宮内 NO64 参照
47	池黒	南弁天	ミナミバンテン	ab,ad,ae,ai,ak,am	字弁天の南
48	池黒	東弁天	ヒガシバンテン	ab,ad,ae,ai,ak,am	字弁天の東
49	池黒	弁天	バンテン	ab,ad,ai,ak,am	弁天が祀られている地
50	池黒	赤坂	アカカ	ad,ae,ai,ak,am	
51	池黒	稲荷田	イナダ	ab,ad,ae,ai,ak,am	西屋敷の西。上無川左岸。稲荷神社があった
52	池黒	岩倉	イクラ	ad,ae,ai,ak,am	岩倉神社
53	池黒	大乱	オオミダレ	ad,ae,ai,ak,am	災害地名
54	池黒	大屋敷	オオヤシ	ad,ae,ai,ak,am	
55	池黒	萱畑	カヤハ ^ニ (ai: カヤハタ, am: カヤハタ)	ab,ad,ae,ai,ak,am	字前田の西。上無川と織機川の間
56	池黒	北谷	キタ	ad,ae,ai,ak,am	
57	池黒	後沢田	ゴサダ	ab,ad,ae,ai,ak,am	
58	池黒	小糠沢	コヌカザ	ad,ae,ai,ak,am	刃：ぬかるむ
59	池黒	駒ヶ沢	コマガサ	ad,ae,ai,ak,am	
60	池黒	沢田	サダ	ab,ad,ae,ai,ak,am	向畑の西。旧河道
61	池黒	沢見	サミ	ab,ad,ae,ai,ak,am	
62	池黒	蛇見沢	ジヤミサ	ad,ae,ai,ak,am	蛇：土石流地名
63	池黒	高関	タカセキ	ab,ad,ae,ai,ak,am	神明前の西の低地
64	池黒	辰之尾	ツノ	ab,ad,ae,ai,ak,am	野中の北
65	池黒	立石	タテイシ	ad,ae,ai,ak,am	自然石か、館関連か
66	池黒	玉ヶ沢	タマガサ	ad,ae,ai,ak,am	
67	池黒	壇ノ前	ダンノマエ	ab,ad,ae,ai,ak,am	馬場の北東。旧河道左岸の微高地
68	池黒	貞白森	テシロモリ	ad,ae,ai,ak,am	テシロ(神の使い)の棲む森
69	池黒	時田	トキダ	ad,ae,ai,ak,am	
70	池黒	土手岸	トテシ	ab,ad,ae,ai,ak,am	
71	池黒	藤ノ沢	フノサ	ad,ae,ai,ak,am	
72	池黒	長林	ナガハヤシ	ab,ad,ae,ai,ak,am	
73	池黒	二枚田	ニマエダ	ab,ad,ae,ai,ak,am	
74	池黒	野中	ノカ	ab,ad,ae,ai,ak,am	砂子田境
75	池黒	兀ノ沢 (ai: 兀ヶ沢)	ハゲガサ	ad,ae,ai,ak,am	崖地名
76	池黒	畑田	ハタ (ai: ハタ)	ab,ad,ae,ai,ak,am	地区の南東端
77	池黒	早坂	ハヤカ	ad,ae,ai,ak,am	
78	池黒	東大鷹	ヒガシオオタカ	ad,ae,ai,ak,am	大鷹山関連
79	池黒	東田	ヒガシタ	ab,ad,ae,ai,ak,am	向畑の東。後背湿地
80	池黒	東藤面沢	ヒガシツツラサ (am: ヒガシツツラサ)	ad,ae,ai,ak,am	ツツラ：鶴類の植物。蔓が繁茂する谷川の崖
81	池黒	西藤面沢	ニシツツラサ (am: ニシツツラサ)	ad,ae,ai,ak,am	〃
82	池黒	東稗田	ヒガシハヤタ (am: ヒガシハヤタ)	ad,ae,ai,ak,am	
83	池黒	評判平	ヒョウバンダラ	ad,ae,ai,ak,am	
84	池黒	平戸	ヒラト	ab,ad,ae,ai,ak,am	ヒラ：傾斜地或は平坦地。ト：出入り口、門のような地形

NO	地区名	字名・地名	読み	出典	備考
85	池黒	日度 (ad,ae,ai,am: 日渡)	ヒワタ	ab,ad,ae,ai,ak,am	旧河道合流地点。渡河地点或は樋渡しや荷渡しか。またはニワタリの神(水神等)を祀った地か。
86	池黒	畑田	ハタタ	ad,ak,am	
87	池黒	前田	マエタ	ab,ad,ae,ai,ak,am	字西屋敷の南
88	池黒	松田	マツタ	ad,ak	
89	池黒	峰岸 (ai: 峯岸)	ミネシ	ab,ad,ae,ai,ak,am	高関の北。別所山の裾
90	池黒	向畑	ムカイタ	ab,ad,ae,ai,ak,am	猫子屋敷の北。旧河道左岸の自然堤防
91	池黒	向山	ムカイヤマ	ad,ae,ai,ak,am	
92	池黒	六屋敷	ムツヤシキ (ai,am: ロクヤシキ)	ab,ad,ae,ai,ak,am	字江留の西。ほりとめ在家に関連か。中落合運河跡の北側
93	池黒	屋敷沢	ヤシキザリ	ad,ae,ai,ak,am	
94	池黒	休場	ヤスマ	ab,ad,ae,ai,ak,am	日渡の北東。旧河道
95	池黒	矢ノ沢口	ヤノサケチ	ad,ae,ai,ak,am	
96	池黒	八幡田	ヤワタタ (ai: ハチマンタ、am: ハチマンテン)	ab,ad,ae,ai,ak,am	八幡神社があったか、その免租田
97	池黒	割沢	ワザリ	ad,ae,ai,ak,am	
98	池黒	(したの在け)	シタザイ	C	下の在家
99	池黒	(なかほりの在け)	ナカホリザイ	C	中堀在家
100	池黒	(をしま在け)	オシマザイ	C	尾島在家
101	池黒	なかのやしき	ナカノヤシキ	C	中ノ屋敷
102	池黒	(たての在け)	タテザイ	C	館の在家
103	池黒	西原	ニシハラ	ab,ae,ai,am	織機川左岸
104	池黒	松畑	マツハタ	ab,ae,ai,am	休場の北
105	池黒	細田	ホソタ	ab,ae,ai,am	西原の北。織機川左岸
106	池黒	水無	ミズナシ	ai,am	
107	池黒	鱈沢	トウジヨウザリ	ai,am	
108	池黒	中沢口	ナカザケチ	ai,am	
109	池黒	焼之平	ヤクノダイ	ai,am	野焼きに関連か
110	池黒	壺之滝	イノタキ	ai,am	
111	池黒	大走	オオハシ	ai,am	崖地名
112	池黒	矢野目	ヤノメ	ai,am	
113	池黒	四ツ谷	ヨツヤ	ai	
114	池黒	東矢の目	ヒガシヤノメ	D	
115	池黒	(たての内在家)	タテノウチザイ	D	東矢の目村に所在と云う。館の内在家

1. 漆山 (3) 羽付の小字名・地名

NO	地区名	字名・地名	読み	出典	備考
	羽付		ハネツカ	ae,ai	昔は羽月村と云う
1	羽付	稲荷田	イリタ	E,ab,ad,ae,ai,ak,am	稲荷神社の免租地
2	羽付	稲荷前	イリマエ	ad,ae,ai,ak,am	稲荷下の北
3	羽付	稲荷下 (E: いなり下)	イリシタ	E,ab,ad,ai,ak,am,Ub,Wb	稲荷神社がある山の下
4	羽付	稲荷沢 (E: いなり沢)	イリザリ	E,am,Wb	水上・箕輪の北
5	羽付	稲荷前下	イリマエシタ	ae,ai	
6	羽付	扇田	オキタ	E,ab,ad,ae,ai,ak,am	オキ：旧河道の土砂堆積地
7	羽付	関ノ上 (E: かけの上)	カケノウエ (ad: カケノウエ)	E,ab,ad,ae,ai,ak,am,Wb	道の東の西。集落
8	羽付	九百苺	クヒヤカリ	ab,ad,ae,ai,ak,am	川の南。刈は中世年貢上納に係る水田面積
9	羽付	四百苺	シヒヤカリ	ab,ad,ae,ai,ak,am	//、高山原北の後背湿地
10	羽付	高山原	タカヤマハラ	E,ab,ad,ae,ai,ak,am,Wb	旧河道右岸の自然堤防等
11	羽付	坂ノ下 (E: 坂下、ai,am: 坂之下)	サカノシタ	E,ab,ad,ae,ai,ak,am,Wb	手代山の西の谷
12	羽付	兒子神 (E: ちご神、児神)	チゴガミ (ai: ツゴガミ)	E,ab,ad,ae,ai,ak,am,Ub,Wb	兒子神社有り
13	羽付	兒子神裏	チゴガミウラ (ai: ツゴガミウラ)	ad,ae,ai,ak,am	兒子神社の裏の山
14	羽付	手代林	テシロハヤシ	ad,ae,ai,ak,am	テジロ：出城の可能性も。テシロ (神の使い) の棲む林
15	羽付	手代山	テシロヤマ (ae: テジロヤマ)	ab,ad,ae,ai,ak,am,Wb	テシロ (神の使い) の棲む山
16	羽付	窪田	クボタ	am	窪地、低湿地地名
17	羽付	南窪	ミナミクボ	E,ab,ad,ae,ai,ak,am,Ub,Wb	//
18	羽付	西窪	ad,ae,ai,ak	//	
19	羽付	西滝	ニシタキ	ae,ai,am,Wb	荘之尻の南
20	羽付	東又	ヒガシマタ	E,ab,ad,ae,ai,ak,am,Wb	四百刈の西。低地
21	羽付	西又	ニシマタ	E,ab,ad,ae,ai,ak,am	東又の西。低地
22	羽付	東入	ヒガシイリ	E,ad,ae,ai,ak,am,Ub,Wb	山に入る沢。漆山館の西
23	羽付	前田	マエタ	E,ab,ad,ae,ai,ak,am,Wb	集落の前
24	羽付	道ノ下 (ai: 道之下)	ミチノシタ	E,ad,ae,ai,ak,am,Wb	旧道の南、南端は川
25	羽付	道東	ミチヒガシ	ab,ad,ae,ai,ak,am	集落内を走る道の東
26	羽付	水上	ミズガミ	ad,ae,ai,ak,am	東入の西
27	羽付	安部沢	アベザリ	E,ad,ae,ai,ak,am,Ub,Wb	安部綱吉が片岸を経て宮内へ移る。一説には羽付安部澤とも伝うが明らかでない (沖郷村史 651頁)。和田境
28	羽付	阿弥陀山	アマダヤマ	ad,ae,ai,ak,am	阿弥陀山物見
29	羽付	猪口帰 (安永5: ちやうこ帰り、文政13: 長こ帰り)	チヨクガエリ (ad: チヨクガエリ、am: チヨクガエリ)	ad,ae,ai,ak,am,Ub,Wb	安部沢や入道清水の北東
30	羽付	荘ノ尻 (ai: 荘之尻)	シヨオノシ	ad,ae,ai,ak,am	地区の最北。山地。北条荘の端か
31	羽付	入道橋	ニユウトウハシ	ad,ae,ai,ak	
32	羽付	入道清水 (安永5: 入道しつ)	ニユウトウシミズ	E,am,Wb	坂ノ下の北。湧水地名
33	羽付	二本松沢	ニホンマツザリ	E,ad,ae,ai,ak,am,Wb	稲荷沢の北
34	羽付	平林	ヒラハヤシ	ad,ae,ai,ak,am	ヒラ：崖崩れ地
35	羽付	水呑場	ミズノミバ	E,ad,ae,ai,ak,am,Wb	二本松沢の北
36	羽付	箕輪	ミノ	ad,ae,ai,ak,am	水上の北
37	羽付	稲荷山	イリヤマ	ad,ae,ai,ak,am	稲荷神社
38	羽付	籠田	カゴタ	ab,ae,ai,am	カゴ：崩壊地名。川の南
39	羽付	細田	ホシタ	E,ab,ai,am,Wb	漆山境。細長い地形
40	羽付	たんの前 (安永5: 段の前)	タンノマエ	E,Wb	壇の前
41	羽付	河近 (かちか)	カチカ	E,Wb	
42	羽付	おり橋	オリハシ	E	
43	羽付	北	キタ	E,Wb	
44	羽付	くねつま	クネツマ	E,Wb	クネ：山の根元。土地が隆起し通過を妨げる所
45	羽付	道はた	ミチハタ	E	道端
46	羽付	ほりはた (堀端)	ホリハタ	E,Wb	

NO	地区名	字名・地名	読み	出典	備考
47	羽付	道の上	ミノウエ	E	
48	羽付	樋口	トイチ	E,Wb	
49	羽付	堂ノ前	トウノマエ	E,Wb	
50	羽付	堂ノ後	トウノアト	E,Wb	
51	羽付	大志田 (大シタ)	オシダ	E,Wb	
52	羽付	手向山	テムカイヤマ	E	
53	羽付	沢口	サワグチ	E,Wb	
54	羽付	砂田	サダ	E,Wb	砂の堆積地
55	羽付	歳の神 (さいの神)	サイノカミ	E,Wb	賽の神を祀った所
56	羽付	樋越	トイノコシ	E,Ub,Wb	
57	羽付	とうのこし (とうの越)	トウノコシ	E,Wb	堂ノ越
58	羽付	和光田	ワコウデン	E	和田の和光院檀と関係か
59	羽付	橋本	ハシモト	E,Wb	
60	羽付	式反田	シキタンダ	E,Wb	
61	羽付	割田	ワッタ	E,Wb	
62	羽付	五蔵作	ゴゾウヅク	E,Ub,Wb	人名
63	羽付	深田 (ふかた)	フカダ	E,Ub,Wb	
64	羽付	せき田	セキダ	E,Wb	関田
65	羽付	宮内	ミヤノウチ	E	
66	羽付	西田	ニシダ	E	
67	羽付	高山原	タカヤマハラ	E,Wb	
68	羽付	にし (西)	ニシ	E,Wb	
69	羽付	すげた (すけ田)	スゲタ	E,Wb	
70	羽付	柿在家 (かき在家)	カキザイ	E,Wb	柿在家 (掛在家か)
71	羽付	ひばり田	ヒバリダ	E,Wb	雲雀田
72	羽付	畑田	ハタケダ	E	
73	羽付	角畑	カドハタケ	E	参考：門島 (カドハタ：中世の在地領主の居館周辺の田地 (畑) で開発領主直営地)
74	羽付	沢田	サワダ	E,Wb	
75	羽付	サワ	サワ	E	沢
76	羽付	沢ハタ (沢端)	サワハタ	E,Wb	
77	羽付	みのわはた (箕輪畑)	ミノハタ	E,Wb	
78	羽付	たい	タイ	E,Wb	
79	羽付	前畑	マエハタケ	E,Wb	
80	羽付	油田	アブラダ	E,Wb	稻荷神社の免租地と云う
81	羽付	たん下	タンシタ	E	壇下
82	羽付	東	ヒガシ	E,Ub	
83	羽付	十文字	ジュウモンジ	E,Wb	辻より新しい用語
84	羽付	苗代	ナラシロ	E,Wb	
85	羽付	くほ (窪)	クボ	E,Wb	
86	羽付	七十かり (七十刈)	ナナジユカガリ	E,Wb	刈は中世年貢上納に係る水田面積
87	羽付	柳田	ヤナギダ	E,Wb	ヤナギ：河川浸食地
88	羽付	大た川	オホタガハ	E	大田川、河川名
89	羽付	梨 (梨子) の木田 (梨木田)	ナシノキダ	E,Wb	
90	羽付	白山堂	ハクサンドウ	E,Wb	白山神社
91	羽付	大た川端 (大こ川端)	オホタガハタ	E,Wb	大田川端
92	羽付	石田	イシダ	E,Wb	
93	羽付	ハタホコ (はたほご)	ハタホコ	E,Wb	旗鉾
94	羽付	塩から田	シオカラダ	E,Wb	
95	羽付	天王 (天のふ)	テンオ	E,Wb	牛頭天王
96	羽付	すみ畑	スミハタケ	Wb	
97	羽付	油田道西	アブラダミチニシ	Wb	油田：免田
98	羽付	油田道東	アブラダミチヒガシ	Wb	〃
99	羽付	いなり下道北	イナリミチノキタ	Wb	
100	羽付	坂の下居屋敷	サカノシタイカシ	Wb	

NO	地区名	字名・地名	読み	出典	備考
101	羽付	かご田（籠田）	カゴタ	Ub,Wb	
102	羽付	あふき田	アブキダ	Wb	
103	羽付	穴沢	アナザリ	Wb	
104	羽付	屋敷添	ヤシヅエ	Wb	
105	羽付	たいの下	タイノタ	Wb	対：河岸段丘
106	羽付	宮田	ミヤタ	Wb	神社の免租地か
107	羽付	おり端	オリハタ	Wb	
108	羽付	前沢	マエザリ	Wb	
109	羽付	御林下	ゴリンシタ	Wb	
110	羽付	的場	マハ	Wb	武芸の練習場
111	羽付	善屋敷	ゼンヤシキ	Wb	
112	羽付	わごう田	ワゴウダ	Wb	
113	羽付	樋ノ脇	トノワキ	Ub	
114	羽付	山ノ神堂前	ヤマノカミドウマエ	Ub	山神
115	羽付	安部沢与五郎境	アベサゴヨロウサカイ	Ub	人名
116	羽付	入道清水四郎右衛門境	ニュウドウシミズシロエモンサカイ	Ub	人名
117	羽付	安部沢五郎右衛門山境	アベサゴヨロウエミンヤマサカイ	Ub	人名
118	羽付	稲荷下道下	イナリシタミチノタ	Ub	
119	羽付	元と堂	モトウ	Ub	
120	羽付	前田苗代	マエダナラシロ	Ub	
121	羽付	西瀧穴沢	ニシタキアナザリ	Ub	
122	羽付	いなり沢関上明神脇	イナリサリセキウエミョウジンワキ	Ub	
123	羽付	衣田	コロモタ	Ub	
124	羽付	欠ノ上	カケノウエ	Ub	妨：地崩れ地名
125	羽付	川近	カワチカ	Ub	

1. 漆山（4）その他の地名等

NO	地区名	地名	読み	出典	備考
1	—	境川	サカイガリ		織機川の旧名と云う
2	—	織機川	オリハタガリ		大里端（オリハタ、大里：郡衙のあった里、その境の川）や郡端川（ヨリハタ）からの転化の可能性はないか
3	羽付	羽月村	ハツキムラ	市史編集資料第26号89頁	羽付村の旧名という

※補足 沖郷地区 その他の地名等

NO	地区名	地名	読み	出典	備考
1	—	栗屋川	クリヤガリ	寛政九年絵図（米沢市立図書館）	上無川の旧名。「高松川とも栗屋川とも云う」とあり

※南陽市字限図調査報告書(2)－沖郷－ 発刊後に確認

2. 梨郷 (1) 梨郷の小字名・地名

NO	地区名	字名(地名)	読み	出典	備考
	梨郷(A: 林郷)		リンゴウ	A,ai	(臨江の意か?)
1	梨郷	五把野	ゴワノ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	税関係地名か。律令時代、田租として一段につき稲二束二把(のち一束五把)の率でかかった
2	梨郷	西五把野	ニシゴワノ	am	
3	梨郷	東五把野	ヒガシゴワノ	am	
4	梨郷	大河	タカ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	雨田の北。羽付から流れる川(上館堰)の旧河道に關係か
5	梨郷	船守(ak: 舟守)	フナモリ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	羽付から流れる川(上館堰)の旧河道沿いか
6	梨郷	契約田	ケイヤクダ	ab,ad,ah,ai,ak,am	契約講に由来か
7	梨郷	南契約田	ミナミケイヤクダ	ab,ae,ah,ai,am	〃
8	梨郷	西契約田	ニシケイヤクダ	ab,ae,ah,ai,am	〃。南端は最上川
9	梨郷	東契約田	ヒガシケイヤクダ	am	〃
10	梨郷	長須ヶ淵	チヨウスカガフチ	ab,ad,ah,ai,ak,am	最上川蛇行部旧河道。天正15年増田宗茂(宗繁)、砂塚の鼠田、竹原の加津木沢、梨郷の長須ヶ淵など2千刈の地その他を梨郷本覚寺寺領として寄進
11	梨郷	本館	モトダテ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	館廻(南館)の西。湿地。南館の地名が遷移したか
12	梨郷	松木壇(ae: 松ノ木壇)	マツキダン	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	壇は近世墓地
13	梨郷	廻田(ad,ae,ah,ai,ak,am: 廻り田)	メグリダ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	微高地の周りに位置する田か
14	梨郷	入生田	イリュダ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	井料田: 用水管理のための共同水田
15	梨郷	砂田	サダ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	砂の堆積地
16	梨郷	袖田	ソデダ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	袖: 尾根側面、建造物の脇。地形が袖に似る等
17	梨郷	長山田	チヨウサンダ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	南館北東。長は坂道のある地、高低差のある地形
18	梨郷	桐町	アラマチ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	アラマチ: 中世の門前町商業地。梨郷小館
19	梨郷	桐町前	アラマチマエ	ab,ae,ah,ai,am	館廻(南館)の北
20	梨郷	石田	イシダ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	石の堆積地。災害地名
21	梨郷	芹ヶ窪	セリガクボ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	植物地名。芹の生える湿地(窪地)
22	梨郷	酒町	サカマチ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	梨郷上館の南。集落。坂町か
23	梨郷	酒町南	サカマチミナミ	ab,ae,ah,ai,am	酒町の南、集落、南半は最上川旧河道
24	梨郷	小豆田	アズキタ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	館廻の西。最上川旧河道蛇行部。アズ(アズキ): 崩崖地名
25	梨郷	庚申檀	カノシダ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	庚申塔のある壇か
26	梨郷	下巻	シモマキ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	マキ: 川の屈曲部。中世城館に伴う「牧」の可能性もある。中巻3には建高寺あり
27	梨郷	中巻	ナカマキ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	
28	梨郷	巻	マキ	ah,am	
29	梨郷	上町	ウエマチ	ad,ae,ah,ai,ak,am	増田家臣が住んだ所で侍屋敷とも云った
30	梨郷	(上の在け)		C	上の在家
31	梨郷	安邊野	アヘノ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	最上川蛇行部に挟まれた土地。アヘノ: 湿地地名。大永元年頃に安倍ノ館の舟場があったと云う
32	梨郷	中島(ad,ai,ak: 中島)	ナカシマ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	最上川の南。中洲か
33	梨郷	前河原(ad,ah,ai,ak,an: 前川原)	マエカハラ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	古川の西。旧河道と氾濫原
34	梨郷	経塚	キョウツカ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	経塚山
35	梨郷	小山	コヤマ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	上町の西。この付近に江戸時代の御米蔵跡

NO	地区名	字名(地名)	読み	出典	備考
36	梨郷	鼠田	ネミ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	梨郷NO10 備考参照。「寝ず見の田」の意か
37	梨郷	落付場	オツパ (am: オツパ)	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	芋漬場: 芋(カラムシ)を刈って乾燥させ、皮がはがれ易いよう流水や池沼に漬けておく場所。舟を止めて一休みする場かとの説もある
38	梨郷	雨田	アマタ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	落付場の北。アマ: 湿地
39	梨郷	下加津木沢 (ai: 下賀津木沢)	シモガ ツキサ	ab,ah,ai,am	ガツキ: 湿地性植物か。本覚寺の寄進田であったことによる開基田(ガツキ田)に由来か
40	梨郷	加津木沢	ガ ツキサ	ad,ak	
41	梨郷	上加津木沢 (ai: 上賀津木沢)	カガ ツキサ	ah,ai,am	
42	梨郷	五百苺	ゴヒヤカリ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	船守の西。刈は中世年貢上納に係る水田面積
43	梨郷	栗木田	クリキタ (am: クリキタ)	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	刈: 小崩壊地名か
44	梨郷	良津々田 (ae,ah,am: 良津々久田、ai,ak: 良津久田)	ヨツツタ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	佃(ツクダ): 中世の荘園公領制で、荘園領主や荘官・地頭らによる直営田
45	梨郷	北六丁目	キロクチヨメ	ab,ae,ah,ai,am	丁目: 町割りの区分。
46	梨郷	西六丁目	ニシロクチヨメ	ab,ae,ah,ai,am	丁が条里制の条や面積を示す町、目が免田を示す免の転化という場合もある
47	梨郷	南六丁目	ミナミロクチヨメ	ab,ae,ah,ai,am	
48	梨郷	上六丁目	カミロクチヨメ	ab,ae,ah,ai,am	
49	梨郷	六丁目	ロクチヨメ	ab,ad,ah,ak,am	
50	梨郷	於代田	オダ イデン	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	刈: 緩い傾斜地、扇状地、低湿地
51	梨郷	三拾苺	サンジ ユカリ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	刈は中世年貢上納に係る水田面積
52	梨郷	豊田	タミデン	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	タミならば災害で荒れた地の意
53	梨郷	館廻 (ad,ae,ah,ai,ak,am: 館ノ廻)	タノマワリ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	梨郷南館主郭
54	梨郷	宮城	ミヤキ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	古代の宮城郷に由来
55	梨郷	横道	ヨコミチ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	館廻の北西。湿地
56	梨郷	沼向	ヌマカイ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	酒町南の南、旧河道の川向い。沼があったか
57	梨郷	下沼向	シメヌマカイ	ab,ad,ae,ah,ai,am	沼向の南。自然堤防
58	梨郷	上沼向	カミヌマカイ	ae,ah,ai,am	下沼向の東、小豆田の南
59	梨郷	岡野	オカノ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	北に旧河道、西・南にも最上川と旧河道がある
60	梨郷	岡野下	オカノシタ	ab,ae,ah,ai,am	岡野の南。最上川の岸
61	梨郷	階	キタハシ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	キタハシ: 段々の地形
62	梨郷	壇ノ前 (ai,ak,am: 檀ノ前)	ダンノマエ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	檀: 近世墓地
63	梨郷	寺山下	テラヤマシタ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	寺山の下(西)
64	梨郷	寺山	テラヤマ	ae,ah,ai,am	平野古窯あり
65	梨郷	下河原 (ah,am: 下川原)	シモカワ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	寺山下の北。最上川右岸
66	梨郷	越ヶ沢	コシガ サ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	最上川右岸
67	梨郷	神楽山	カガ ラマ	ad,ae,ai,ak	梨郷古墳群。丘を棒で打ったり馬が通ったりすると太鼓を打つような音がすると云われた
68	梨郷	二本木	ニホンキ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	
69	梨郷	平野	ヒラノ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
70	梨郷	腰巻田	コシマキタ	ab,ad,ah,ai,ak,am	川が巻く(曲がる)地
71	梨郷	上西郡 (ae: 上西郷)	カミシロノリ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	郡衙関連地名か。(※M8年梨郷では砂塚分、M26年砂塚では梨郷分になっている。編入か)
72	梨郷	八刈場	ヤカハ (ad: ヤカハ)	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	南端が最上川。氾濫域の自然堤防。八は入の誤字の場合もある
73	梨郷	入刈場	イカハ	ai	八刈場の誤記か
74	梨郷	押切	オツキ (am: オツキ)	ab,ad,ah,ai,ak,am	堤防決壊地。最上川蛇行部に挟まれた地
75	梨郷	町田河原 (ai: 町田川原)	マチダガワ (ai: マチダワ)	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	最上川蛇行部に挟まれた島状の地。巻き田河原か

NO	地区名	字名(地名)	読み	出典	備考
76	梨郷	下田川原	シタガワ	ae,ai	
77	梨郷	古川 (ad,ai,ak: 古河)	フルカ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	最上川旧河道
78	梨郷	開発	ヒラキ (ai: カイホツ、am: カイホツ)	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	最上川とその左岸。開拓地名
79	梨郷	立野	タツノ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	最上川右岸、氾濫原。好: 断つ、河岸浸食か
80	梨郷	櫛ヶ峰	クシガミネ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
81	梨郷	大森	オホモリ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
82	梨郷	開田	カイデン	ah,am	開拓地名
83	梨郷	上館	ウタテ (ai: ウラタテ、am: カミダテ)	ad,ae,ah,ai,ak,am	梨郷上館
84	梨郷	鹿野	カノ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
85	梨郷	山泉寺	サンセンジ	ad,ae,ah,ai,ak,am	正保9年開山の平野山山泉寺跡。正保11年焼失、移転し建高寺となる
86	梨郷	深沢	フカサ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
87	梨郷	梨子木	ナシキ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
88	梨郷	(なしの木在け)	ナシノキ	C	梨の木在家
89	梨郷	七十刈	シジユカリ	ad,ae,ah,ai,ak,am	刈は中世年貢上納に係る水田面積
90	梨郷	中島平 (ah: 中嶋平)	ナカジマ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
91	梨郷	長峰 (ai: 長峯)	ナガミネ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
92	梨郷	山田	ヤマダ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
93	梨郷	宮城野	ミヤキノ	A	
94	梨郷	(朽木林在家)	クシノキ	A	朽木林在家
95	梨郷	井戸尻	イデジリ	A	
96	梨郷	(まき野在け)	マキノ	C	まき野在家
97	梨郷	(かう六在け)	カウロク	C	
98	梨郷	(なかの在け)	ナカノ	C	中の在家
99	梨郷	(下の在け)	シタノ	C	下の在家
100	梨郷	(まちの在け)	マチノ	C	町の在家
101	梨郷	(うりはた在け)	ウリハタ	C	うり畑在家
102	梨郷	上野	ウノ	ab	
103	梨郷	西田	ニシタ	ab	
104	梨郷	神楽山下	カゲヤマシタ	ab,ae,ah,ai,am	神楽山の下。寺山下の北東
105	梨郷	埋立	ウメダテ	am	

2. 梨郷 (2) 竹原の小字名・地名

NO	地区名	字名(地名)	読み	出典	備考
	竹原		効ヲ	ae,ai	館原：城館地名
1	竹原	上加津木沢 (ai: 上加賀津木沢)	カミガツキザリ (ai: カミツキザリ)	ab,ah,ai,am	梨郷 NO10、39 参照。カツキは沼地の植物。または寺が檀家から徴する開基米(カツキ米)に関係か
2	竹原	下加津木沢 (ai: 下加賀津木沢)	シモガツキザリ	ab,ah,ai,am	
3	竹原	加津木沢	ガツキザリ	ak,am	
4	竹原	石仏	イソトク	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	板碑に由来
5	竹原	鈴振 (ad,ae,ah,ai,ak,am: 鈴振り)	スズフリ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	石仏の西
6	竹原	町田	マチダ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	地区南辺。南は字大河や字船守。町田2は部分的に明治19年梨郷へ編入
7	竹原	蔵庭	ゾウチ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	ゾウ：湿地や洪水を妨げる微高地。チ：平らな場所
8	竹原	相之町 (ad,ai,ak: 相ノ町)	アイマチ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	石仏の北。水田。アイ：旧川床の低所、合流点
9	竹原	太田	オオタ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	相之町の北。太田2は割田館西。字限図では「大田」となっている。
10	竹原	酒町	サカチ	ab,ad,ah,ai,ak,am	酒町2は割田館北半
11	竹原	割田	ワッタ (am: ワリダ)	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	割田館
12	竹原	白山田	ハクサンデン	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	白山神社への免田か
13	竹原	白山田前	ハクサンデノマイ (ai: ハクサンデノマイ)	ab,ah,ai,am	白山田の南。割田館の西
14	竹原	白山前	ハクサンマエ	ae,ai	白山神社の前
15	竹原	上千苺田	カミセンガリタ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	刈は中世年貢上納に係る水田面積。字限図では「千苺田」となっている
16	竹原	下千苺田	シモセンガリタ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	千刈田の西
17	竹原	宮城	ミヤキ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	古代の宮城郷に由来
18	竹原	法界壇	ホウカイダン	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	壇は近世墓地
19	竹原	圓行寺 (ah,ai,ak,am: 円行寺)	エンギョウジ (ae: エンギョウジ)	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	圓行寺があった。現在は龍雲院がある
20	竹原	天王前	テンノウマエ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	牛頭天王社。市史編集資料17号ではその前に天王寺(後の和田の和光院)があったとする
21	竹原	山田	ヤマダ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	天王前の北東
22	竹原	七間地	シチカンチ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	光山寺の東。元々正元元年大日板碑があった
23	竹原	土平	トウヘイ (ad: トウヘイ、am: トウヘイ)	ad,ae,ah,ai,ak,am	
24	竹原	井島	イジマ	ad,ah,ai,ak,am	井：水がわく所、島：中州状の地。
25	竹原	光山寺	コウサンジ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	光山寺(現在の全城院)があった所
26	竹原	寺坂	テラサカ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	七間地の北
27	竹原	芹ヶ沢	セリガサ	ad,ae,ah,ai,ak,am	植物名。湿地
28	竹原	露畑	フキハタ (ai: フキハタ)	ad,ae,ah,ai,ak,am	総合公園内。フキは土砂崩れ地名。又は「吹く」で窯や鍛冶関連地名か
29	竹原	中屋敷	ナカヤシキ	ab,ad,ae,ai,ak,am	中屋敷地区は昭和16年和田へ編入替
30	竹原	山ノ神沢 (ah: 山神沢)	ヤマノカミザ	ad,ae,ah,ai,ak,am	山の神
31	竹原	沼ノ戸	ヌノト (ai: ヌノト)	ad,ae,ah,ai,ak,am	
32	竹原	石打場	イシウチ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
33	竹原	徳根田	トクネタ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
34	竹原	三十刈	サンジウガリ	ad,ah,ai,ak,am	刈は中世年貢上納に係る水田面積。
35	竹原	餅田返り	モチダガエリ	ad,ae,ah,ai,ak,am	モチ：窪地
36	竹原	廻戸	マワリト (ad: マワト)	ad,ae,ah,ai,ak,am	
37	竹原	冷水沢	スズガサ (ai,am: ヒヤミズガサ)	ad,ae,ah,ai,ak,am	失敗に終わったが近世用水事業の水源地と云う
38	竹原	冷水返り	スズガエリ (am: ヒヤミズガエリ)	ah,am	

NO	地区名	字名 (地名)	読み	出典	備考
39	竹原	前坂	マエカ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
40	竹原	柳ヶ沢	ヤナガサ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
41	竹原	五十刈	ゴジウカリ (ai:ゴシユウカリ)	ad,ae,ah,ai,ak,am	刈は中世年貢上納に係る水田面積
42	竹原	北沢	キタノサ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
43	竹原	本堂	モトウ	ad,ae,ah,ai,ak,am	和田八千錡神社があったという元堂山(基堂山、本堂山)に関連か
44	竹原	土ヶ窪	ツカガキ (ai,am:トカガキ)	ad,ae,ah,ai,ak,am	
45	竹原	滝ヶ沢	タキガサ	ad,ah,ai,ak,am	
46	竹原	丸森沢	マルモリサ	ad,ak	
47	竹原	小丸森沢	コマルモリサ	ae,ah,ai,am	
48	竹原	大丸森沢	オマルモリサ	ae,ah,ai,am	
49	竹原	舞台	ブダイ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
50	竹原	大沢	オオサ (ai:オオサ)	ad,ae,ah,ai,ak,am	
51	竹原	備後沢	ビゴザリ	ad,ak	
52	竹原	豊後沢	ブンゴザリ	ae,ah,ai,am	
53	竹原	梨子木平	ナシキタイ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
54	竹原	東梨子木 (ah: 東梨子ノ木)	ヒガシナシキ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
55	竹原	西梨子木 (ah: 西梨子ノ木)	ニシナシキ	ad,ah,ai,ak,am	
56	竹原	梨子ノ木沢	ナシキサ	ae,ah,ai,am	
57	竹原	牛ヶ首	ウシガビ	ad,ae,ah,ai,ak,am	首状の隘路
58	竹原	荒地	アルチ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
59	竹原	七郎沢	シチロウサ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
60	竹原	菰筒道	コモツツロ (am:コトウ)	ad,ae,ah,ai,ak,am	菰の読みは「モト、ユ、ク」
61	竹原	越中坂	エツチウサカ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
62	竹原	坂町	サカマチ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
63	竹原	平内沢	ヘイナイサ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
64	竹原	鳥居場	トリバ	ad,ai,ak	
65	竹原	鳥屋場	トリヤ	ae,ah,ai,am	
66	竹原	孫八沢	マゴハチサ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
67	竹原	孫八山	マゴハチヤマ	ae,ai	
68	竹原	横枕	ヨコマクラ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
69	竹原	津花返り	ツハナガエリ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
70	竹原	安城沢	アジロサ (ai:アジロサ)	ad,ae,ah,ai,ak,am	
71	竹原	檀ノ入	ダノイ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
72	竹原	川原前	カワラマエ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
73	竹原	北ノ入 (ah: 北之入)	キタノイ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
74	竹原	綱木	ツナギ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
75	竹原	綱木平	ツナキタイ	ae,ah,ai,am	
76	竹原	十四枚田	シユウサイダ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
77	竹原	小舟ヶ沢	コフナガサ (ai:コフナガサ)	ad,ae,ah,ai,ak,am	
78	竹原	上台	カミダ (ai:ウツダ)	ad,ae,ah,ai,ak,am	
79	竹原	外沢	ヨソザ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
80	竹原	外沢山	ヨソザヤマ	ae,ah,ai,am	
81	竹原	月ノ返り (ah: 月之返り)	ツキノエリ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
82	竹原	若松前	ワカマツマエ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
83	竹原	稲荷林	イナリヤシ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	稲荷山の裾。墓地有
84	竹原	稲荷山	イナリヤマ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
85	竹原	木和田	キワダ	ab	
86	竹原	木和田ヶ入	キワダガエリ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
87	竹原	下町	シタマチ	ad,ai,ak	NO88 と同じか
88	竹原	下々町	シタマチ	ab,ae,ah,am	シモウマチは誤読、タは接続語。集落。下の在家か
89	竹原	沢田	サダ	ab,ad,ae,ai,ak	
90	竹原	竈ヶ入	カマガエリ	ab,ad,ai,ak	窯等があったものか。竈山の手前の意か
91	竹原	竈ヶ八	カマガハチ	ae,ai	竈ヶ入の誤記か

NO	地区名	字名 (地名)	読み	出典	備考
92	竹原	水上	ミヅ カミ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
93	竹原	権太沢	ゴ ンタツ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
94	竹原	矢引沢	ヤビ キツ	ae,ah,ai,am	
95	竹原	志田前	シタマエ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
96	竹原	白山	ハクサン	ad,ae,ah,ai,ak,am	白山神社に關係か
97	竹原	黒森	クロモリ	ad,ae,ah,ai,ak,am	加印：境界の靈地を示す
98	竹原	鬮代	クヅ シロ (ai: クヅ シロ、am: クズ シロ)	ad,ae,ah,ai,ak,am	
99	竹原	羽黒堂	ハグ ロトウ	ad,ah,ai,ak,am	羽黒神社に由来か
100	竹原	大赤坂	オオアカカ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
101	竹原	小赤坂 1、2	コアカカ	ae,ah,ai,am	
102	竹原	赤坂	アカカ	ah,ai,am	
103	竹原	赤堂	アカトウ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
104	竹原	赤堂山	アカトウヤマ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
105	竹原	雨沼	アマヌ	ad,ae,ah,ai,ak,am	雨が降ると沼になる地
106	竹原	熊ノ峠 (ae: 熊之峠)	クマノツゲ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
107	竹原	滝ノ上 (ae:t 瀧之上)	タキノヘ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
108	竹原	竜樹山	リウジュ ユサン (ae: リウジュ ユサン)	ad,ae,ah,ai,ak,am	竜樹山館、竜樹山古墳群
109	竹原	明神沢	ミヨウジ ンサツ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
110	竹原	天王山	テンノウサン	ad,ae,ah,ai,ak,am	天王山古墳群
111	竹原	稲場山	イハ ヤマ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
112	竹原	前坂	マエサカ	ad,ae,ai,ak	
113	竹原	坂町越	サカマチヒ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
114	竹原	堂坂	ドウサカ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
115	竹原	前山	マエヤマ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
116	竹原	鈴ノ切 (ae: 鈴之切)	スズ ノキリ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
117	竹原	本沢	モトサツ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
118	竹原	丸山	マルヤマ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
119	竹原	長峰 (ah: 長峯)	ナガ ミネ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
120	竹原	台山	ダイヤマ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
121	竹原	的場山	マクハ ヤマ	ad,ae,ah,ai,ak,am	的場は武芸の練習場
122	竹原	丸森	マルモリ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
123	竹原	土ヶ峰	ト ガ ミネ (ae: ト ガ ケ ホウ、am: ツチガ ミネ)	ad,ae,ah,ai,ak,am	
124	竹原	孫山	マゴ ヤマ	ad,ah,ai,ak,am	
125	竹原	浦山	ウラヤマ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
126	竹原	登津羅山	トツラヤマ (ad: トツ ラヤマ)	ad,ae,ah,ai,ak,am	トツラ：谷川の岸。蔓
127	竹原	手這坂	テハ イサ カ (ae: テハ ハ サ カ、ai: テハイサカ)	ad,ae,ah,ai,ak,am	手で這って登るような急な坂
128	竹原	大船山	オオフネヤマ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
129	竹原	櫓場	ヤグ ラ (ad: ヤガラ)	ad,ae,ah,ai,ak,am	
130	竹原	若松山	ワカマツヤマ	ad,ae,ah,ai,ak,am	若松山権現
131	竹原	大森	オオモリ	ad,ah,ai,ak,am	
132	竹原	神楽山	カゲ ラヤマ (ai: カゲ ラン)	ad,ae,ah,ai,ak,am	土平地区
133	竹原	金山	カネヤマ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
134	竹原	北ノ沢	キタノサツ	ad,ae,ai,ak	
135	竹原	滝尻 (ae: 瀧之尻、ah,am: 滝ノ尻)	タキノシ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
136	竹原	八幡沢	ハチマンサツ	ad,ae,ah,ai,ak,am	八幡神社に關係
137	竹原	八幡下	ハチマンシタ	ab,ae,ai	中屋敷の南、八幡神社に關係
138	竹原	沢田山	サツダ ヤマ (ai: サツダヤマ)	ad,ah,ai,ak,am	
139	竹原	豊年沢	ホネサツラ (ai: ホネサツラ)	ad,ae,ah,ai,ak,am	
140	竹原	南黒森	ミナモリ	ad,ae,ah,ai,ak,am	加印：境界の靈地
141	竹原	一杯帽子 (ah: 壹盃帽子)	イツハ イハ ヲウ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
142	竹原	峰ヶ森	ミネガ モリ	ad,ah,ak	
143	竹原	蜂ヶ森	ハチガ モリ	ae,ah,ai,am	峰ヶ森の誤字か

NO	地区名	字名(地名)	読み	出典	備考
144	竹原	蛇崩	ジヤズレ	ad,ae,ah,ai,ak,am	土砂崩れの災害地名
145	竹原	榎木沢	エノキザリ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
146	竹原	砂畑	スハ 畑	ad,ae,ah,ai,ak,am	
147	竹原	越口	コシケチ (ai: コシチ)	ad,ae,ah,ai,ak,am	
148	竹原	空窪	ソラクボ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
149	竹原	竹屋羅	タヤラ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
150	竹原	沼沢 (ae: 沼之沢)	ヌメザリ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
151	竹原	堤返り	ツツミカヒリ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
152	竹原	蟹沢 (ah: 蟹沢)	カニサリ (ai: カニサリ、 am: カニガサリ)	ad,ae,ah,ai,ak,am	
153	竹原	枝沢	エダザリ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
154	竹原	草刈場	クサカリバ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
155	竹原	池ノ上	イケノウエ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
156	竹原	狐穴	キツネアナ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
157	竹原	南ヶ沢	ミナミヶザリ	ae,ah,ai,am	
158	竹原	石ヶ窪	イシヶクボ	ah,ai,am	
159	竹原	松ヶ沢	マツヶザリ	ae,ah,ai,am	
160	竹原	雨ヶ沢	アメヶザリ	ae,ah,ai,am	
161	竹原	深沢	フカザリ	ah,am	
162	竹原	小寺坂	コテラザカ	ae,ah,ai,am	
163	竹原	貉沢	ムジナザリ	ae,ah,ai,am	ムジナ: タヌキ又はアナグマ
164	竹原	北山1、2	キタヤマノ	ah,am	
165	竹原	竈山	カマヤマ	ae,ah,ai,am	
166	竹原	平山	ヒラヤマ	ae,ah,ai,am	
167	竹原	名子山	ナコヤマ	ae,ah,ai,am	
168	竹原	滝山	タキヤマ	ae,ah,ai,am	
169	竹原	稲荷前	イナリマエ	ah,ai,am	稲荷林の東、龍雲院の西
170	竹原	治兵衛壇	チヘイダン	ah	七間地地区、正元元年大 日板碑が建っていた。
171	竹原	半右衛門平	ハンペイダラ	ah	山口半右衛門は竹原の豪 農だったのだろうとさ れ、その屋敷は今も半右 衛門屋敷と呼ばれ、また、 半右衛門平という地名も 残っている

2. 梨郷 (3) 和田の小字名・地名

NO	地区名	字名(地名)	読み	出典	備考
	和田		ワ	ae,ai	ワ: 山麓や河のカーブした地形。山麓の湧水地
1	和田	雲雀田	ヒハ ^リ タ	ad,ak,am	
2	和田	東雲雀田	ヒガ ^シ ハ ^リ タ	ab,ae,ah,ai,am	甲大作の北
3	和田	西雲雀田	ニシハ ^リ タ (ai: ニシハ ^リ タ)	ab,ae,ah,ai,am	丙大作の北
4	和田	豊田	タミ ^デ ン	ad,ae,ah,ai,ak,am	
5	和田	上豊田	カミ ^タ ミ ^デ ン	ab,ae,ah,ai,am	東雲雀田の東
6	和田	下豊田	シモ ^タ ミ ^デ ン	ab,ai	東雲雀田の東
7	和田	東高田	ヒガ ^シ カ ^タ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	上豊田の北。効: 傾斜地
8	和田	西高田	ニシ ^カ カ ^タ	ae,ah,ai,am	上館堰の左岸、自然堤防
9	和田	高田	カ ^タ	am	
10	和田	西前田	ニシ ^マ エ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	東前田の西
11	和田	東前田	ヒガ ^シ マ ^エ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	片岸の南
12	和田	新館	ニ ^タ テ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	西沼田の西。梨郷新館
13	和田	東沼田	ヒガ ^シ マ ^タ	ab,ad,ae,ah,ai,am	上館堰の右岸。氾濫跡又は旧河道
14	和田	西沼田	ニシ ^マ タ	ab,ad,ae,ah,ai,am	東・西前田の南。湿地
15	和田	沼田	マ ^タ	ak,am	
16	和田	宮田 (ae: 宮ノ田)	ミ ^タ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	神社に関する免租田。南は上館堰の氾濫跡又は旧河道、中央は自然堤防、北西は後背湿地
17	和田	飯島	イジ ^マ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	飯: 飯を盛り上げたような地形
18	和田	井島	イジ ^マ	ab,ad,ah,ai,ak,am	井: 水がわく所、島: 中州状の地。人名説も有
19	和田	街道下	カド ^ウ シ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	飯島の南
20	和田	二反田	ニ ^タ ダ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	面積地名。梨郷新館
21	和田	元屋敷	モト ^ヤ シ	ad,ae,ah,ai,ak,am	明治期は古屋舗
22	和田	宿之東 (ah,ak,am: 宮ノ東)	シユク ^ノ ヒガ ^シ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	古屋敷の西。集落
23	和田	和光院檀	ワコウ ^{イン} ダン (ai,am: ワウ ^{イン} ダン)	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	上館堰が南に曲がる地点。和田の和光院は、かつて天王寺とよばれ羽黒修験法印であった。檀は近世墓地
24	和田	梨ノ木	ナシ ^キ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	上館堰のカイ(堰)と和エイ(堰)のうち和エイが南に流れを変える
25	和田	宝島 (ad,ah,ai,ak,am: 宝畑)	タカラ ^ノ シ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	タカラ ^ノ シ。生産遺跡地名か
26	和田	毘沙門前	ヒ ^シ ヤ ^{モン} マエ (ai: ヒ ^シ ヤ ^{モン} マイ)	ab,ae,ai,am	毘沙門の南。片岸の東。集落
27	和田	毘沙門裏	ヒ ^シ ヤ ^{モン} ウラ	ab,ae,ah,ai,am	毘沙門の北
28	和田	毘沙門	ヒ ^シ ヤ ^{モン}	ad,ae,ah,ai,ak,am	毘沙門天を祀っていた。「元堂山(基堂山、本堂山)」にあった八千錡神社社殿の移転地と云う
29	和田	毘沙門沢	ヒ ^シ ヤ ^{モン} サワ	ae,ah,ai,am	和光印の北「毘沙門沢」に毘沙門堂があった。その本尊は現在梨郷神社に安置されており、像は南北朝時代に遡るものとされている
30	和田	片岸 (A: かた岸、C: かたきし)	カタ ^シ	A,C,ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	片岸館。1380以前、地頭大江時広の臣、片岸右京が館を築く。天文14年(1545)、伊達晴宗、判書を湯村将監に送り、奉公無二により、望みの片岸郷の内、采配の地を永代に贈与する(伊達正統世次考)
31	和田	赤土	アカ ^ツ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	片岸の北。赤い土
32	和田	堤端 (ae: 堤ヶ畑)	ツツミ ^ハ タ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	片岸の西。正寿院跡。墓地有、堤有
33	和田	堤ヶ入	ツツミ ^ガ イ	ae,ah,ai,am	

NO	地区名	字名(地名)	読み	出典	備考
34	和田	八幡下	ハチマンシタ	ab,ad,ah,ai,ak,am	堤端の西。宮浦八幡神社があった場所の下
35	和田	八幡前	ハチマンマエ	am	
36	和田	羽黒ノ堂 (ad,ae,ah,ai,ak,am: 羽黒堂)	ハク ロトウ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	壇ノ前の西。羽黒神社があったか
37	和田	塔ノ前	トウノマエ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	宿之東の南
38	和田	寺坂	テラサカ	ab,ad,ah,ai,ak,am	羽黒堂の北。全城院
39	和田	寺沢	テラサリ	ae,ai	
40	和田	上太田 (ah: 上大田)	カミオタ	ab,ad,ah,ai,ak,am	
41	和田	大田	オオタ	am	
42	和田	地藏田	ジゾウデン	A,C,ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	地藏講の免租地(晴宗公采地録に「かたきし内地蔵田」とある)
43	和田	大堀向	オホリムカイ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	梨郷新館の堀向いか
44	和田	釜場	カマバ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	生産遺跡関連地名か。或はカマ: 浸食地形か
45	和田	安部沢口	アベザウチ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	安部綱吉が片岸を経て宮内へ移る。一説には羽付安部澤とも伝うが明らかでない(沖郷村史)
46	和田	安部沢	アベザリ	ae,ai	
47	和田	館下 (ad,ae,ah,ai,ak: 館ノ下)	タノシタ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	赤松山館の西
48	和田	七曲り (ae,ah,ai,ak,am: 七曲)	ナナマガリ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	館下の西。赤松山館の西
49	和田	根越ヶ入	ネコシカノイ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	七曲りの西の谷。根小屋地名か
50	和田	狩野	カノ (am: カノ)	ad,ae,ah,ai,ak,am	
51	和田	天神平	テンジンダラ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	毘沙門の東。ヒラであれば傾斜地・急傾斜地の意
52	和田	館山	タヤマ	ad,ae,ah,ai,ak,am	城館地名。赤松山館
53	和田	兀山 (ah,am: 禿山)	ハゲヤマ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
54	和田	宮ノ浦	ミヤウラ	ad,ae,ah,ai,ak,am	宮浦八幡神社があった
55	和田	西大浦	ニシオウラ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
56	和田	東大浦	ヒガシオウラ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
57	和田	東沢田	ヒガシサタ	ad,ai,ak,am	
58	和田	深田	フカタ	ab,ae,ah,ai,am	上豊田の東。フカ: 湿地。上館堰の旧河道か
59	和田	大作	オオサク (ae: オオサク)	ab	サク: 狭く行き詰った谷、丘陵間の長くやや窪んだ低地。丘陵間の細長く入り組んだ水田
60	和田	甲大作	コウオオサク	ae,ah,ai,am	// 。地区南端
61	和田	乙大作	オウオオサク	ae,ah,ai,am	// 。地区南端
62	和田	丙大作	ハイオオサク	ae,ah,ai,am	// 。甲大作の西
63	和田	西大作	ニシオオサク	am	
64	和田	東大作	ヒガシオオサク	am	
65	和田	古屋舗	フルヤシ	ab	釜場の北、現在は「元屋敷」になっている
66	和田	竈ヶ入	カマガノイ	ah,am	生産遺跡関連地名か
67	和田	竈山	カマヤマ	ah,am	生産遺跡関連地名か
68	和田	中屋敷	ナカヤシ	ah,am	
69	和田	沢田山	サワタヤマ	ah,am	
70	和田	沢田	サワタ	ah,am	
71	和田	掛在家	カケザノイ	ah,am	掛在家
72	和田	符はたけ	フハタケ	A	
73	和田	きり田	キリタ	A	
74	和田	三千かり	サンゼンカリ	A	三千刈
75	和田	山ち四郎の本堤	ヤマジシロウノホツツミ	A	人名

2. 梨郷 (4) 砂塚の小字名・地名

NO	地区名	字名(地名)	読み	出典	備考
	砂塚		スツカ	ae,ai	
1	砂塚	鎌研	カマキ	am	河川の氾濫で抉られた所。 カ: 湾曲型入江地形
2	砂塚	西鎌研	ニシカマキ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	〃
3	砂塚	上鎌研	カマキ	ab,ae,ah,ai,am	〃
4	砂塚	下鎌研	シモカマキ	ab,ae,ah,ai,am	〃
5	砂塚	中鎌研	ナカマキ	ab,ae,ah,ai,am	〃
6	砂塚	南原	ミナハラ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	地区南辺。墓地有。島崎館があったと云う
7	砂塚	並柳	ナミヤキ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	織機川左岸。ヤキ: 河岸浸食地
8	砂塚	南並柳	ミナミヤキ	ae,ah,ai,am	後背湿地
9	砂塚	権現堂	ゴンゲノウ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	織機川左岸。権現堂があったか。自然堤防
10	砂塚	権現前	ゴンゲノマイ (ai: ゴンゲノマイ)	ab,ae,ah,ai,am	小開の西、権現堂の南。後背湿地
11	砂塚	礼記 (ad: 禮記)	レイキ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
12	砂塚	上落付場	カモツクハ (am: カモチツクハ)	ab,ad,ae,ah,ai,am	苧漬場: 苧(カムシ)を刈って乾燥させ、皮がはがれ易いよう流水や池沼に漬けておく場所。舟を止めて一休みする場があったかとする説もある(梨郷村史)
13	砂塚	下落付場	シモツクハ (am: シモチツクハ)	ab,ad,ae,ah,ai,am	
14	砂塚	落付場	ツクハ (am: オツクハ)	ak,am	
15	砂塚	鼠田(ねすた: 増田宗成寺領寄進状)	ネズミタ(ネズミ)	ad,ak	梨郷NO10参照。ネズミ: 河川氾濫に関する「寝ず田」の事例もある
16	砂塚	上鼠田	カミネズミタ	ab,ae,ah,ai,am	〃
17	砂塚	上本鼠田	カモトネズミタ	ai	〃
18	砂塚	本鼠田	モトネズミタ	ab,ae,ah,ai,am	〃。上・下西鼠田の東
19	砂塚	上西鼠田	カニシネズミタ	ab,ah,ai,am	〃。下西鼠田の北
20	砂塚	下西鼠田	シモニシネズミタ	ab,ah,am	〃。下鼠田の北
21	砂塚	中鼠田	ナカネズミタ	ab,ae,ah,ai,am	〃。本鼠田の南
22	砂塚	下鼠田	シモネズミタ	ab,ae,ah,ai,am	〃。下西郡の東
23	砂塚	大志田	オオシタ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	川内裏の北。シタク: 荒れる
24	砂塚	若宮	ワカミヤ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	伊達時代に浄土宗の了西庵という寺があった
25	砂塚	若宮前	ワカミヤマイ (ai: ワカミヤマイ)	ab,ae,ah,ai,am	大志田の北
26	砂塚	東寺田	ヒガシテラダ	ab,ae,ah,ai,am	寺の領田か免租地
27	砂塚	西寺田	ニシテラダ	ab,ae,ah,ai,am	
28	砂塚	寺田	テラダ	ad,ak	
29	砂塚	古屋敷	フルヤシ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	屋敷跡
30	砂塚	八ツ口	ヤツクチ	ab,ad,ak	
31	砂塚	上八ツ口	カミヤツクチ	ab,ae,ah,ai,am	中八ツ口の北。水路分岐地点
32	砂塚	中八ツ口	ナカヤツクチ	ab,ae,ah,ai,am	東八ツ口の北。水路分岐地点
33	砂塚	東八ツ口	ヒガシヤツクチ	ab,ae,ah,ai,am	堤端の北。水路分岐地点
34	砂塚	下八ツ口	シモヤツクチ	ae,ah,ai,am	中八ツ口の南西
35	砂塚	樋越	トヨゴシ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	上八ツ口の北
36	砂塚	東辻柳	ヒガシツジヤキ	ab,ae,ah,ai,am	
37	砂塚	西辻柳	ニシツジヤキ	ab,ae,ah,ai,am	集落
38	砂塚	辻柳	ツジヤキ	ad,ak	西辻柳の南
39	砂塚	辻柳前	ツジヤキマイ (ai: ツジヤキマイ)	ab,ae,ah,ai,am	
40	砂塚	田中	タナカ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	西辻柳の北
41	砂塚	江中	エナカ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	旧河道の中
42	砂塚	中野	ナカノ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	東辻柳の北。中野在家か
43	砂塚	なかの在家	ナカノイ	C	中野在家
44	砂塚	中野裏	ナカノウラ	ab,ah,ai,am	中野の北東

NO	地区名	字名(地名)	読み	出典	備考
45	砂塚	中裏	ナカウラ	ae	
46	砂塚	掛在家	カケザ ^ニ イケ (ai: カカ ^ニ イケ)	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	掛在家
47	砂塚	東掛在家	ヒガシカケザ ^ニ イケ	ab,ae,ah,ai,am	在家地名
48	砂塚	堂越 (ae,ai,ak,am: 堂ノ越)	トウノシ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	中野裏の北
49	砂塚	大作	オオサ ^ニ ク	ad,ak,am	サ: 狭く行き詰った谷。丘陵間の長くやや窪んだ低地。丘陵間の細長く入り組んだ水田
50	砂塚	下大作	ab,ae,ah,ai,am	清水ノ下の西	
51	砂塚	上大作	カミオオサ ^ニ ク	ab,ah,ai,am	上大作裏の見案箕
52	砂塚	上大作裏	カミオオサ ^ニ クウラ	ab,ah,am	掛在家の西
53	砂塚	大作裏	オオサ ^ニ クウラ	ae,am	
54	砂塚	中大作	ナカオオサ ^ニ ク	ab,ae,ah,ai,am	上大作裏の西
55	砂塚	前大作	マエオオサ ^ニ ク	ae,ai	
56	砂塚	裏大作	ウラオオサ ^ニ ク	ae,ai	
57	砂塚	大作前	オオサ ^ニ クマエ	ab,ah,ai,am	上大作の南西
58	砂塚	清水ノ下	シミズノシタ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	塩竈の北
59	砂塚	塩竈	シオガマ (ai: シオカマ)	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	塩竈神社
60	砂塚	西塩竈	ニシシオガマ (ai: ニシシオカマ)	ab,ae,ah,ai,am	塩竈前の西
61	砂塚	塩竈前	シオガママエ (ai: シオカママイ)	ab,ae,ah,ai,am	塩竈の南
62	砂塚	安部	アヘ	ab,ad,ah,ai,ak,am	集落。アヘ: 湿地地名
63	砂塚	腰巻田	コシマキタ	ab,ad,ae,ai,ak,am	マ: 河川が曲がる地
64	砂塚	西腰巻田	ニシコシマキタ (ai: ニシコシマキタ)	ab,ae,ah,ai,am	〃
65	砂塚	北腰巻田	キタコシマキタ	am	〃
66	砂塚	南腰巻田	ミナコシマキタ	am	〃
67	砂塚	深田	フカタ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	塩竈の西。フカ: 水気の多い湿地
68	砂塚	江上	エガミ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	江は入江、川
69	砂塚	東川前	ヒガシカワマエ (ai: ヒガシカワマイ)	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	織機川の左岸。自然堤防と後背湿地。集落
70	砂塚	西川前	ニシカワマエ (ai: ニシカワマイ)	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am,	織機川右岸。集落
71	砂塚	宮ノ前	ミヤノマエ (ai: ミヤノマイ)	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	神社の前か
72	砂塚	町田	マチタ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	川端の南
73	砂塚	川端	カワハタ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	織機川左岸。集落
74	砂塚	西川端	ニシカワハタ	ab,ae,ah,ai,am	織機川左岸
75	砂塚	宮ノ堂	ミヤノドウ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	神社があったか
76	砂塚	北徳田	キタトケテン	ab,ae,ah,ai,ak,am	参考: アノ語ト・コタシ = 「沼の村」との説もある
77	砂塚	南徳田	ミナミトケテン	ab,ae,ah,ai,ak,am	入沼の北。河川氾濫地
78	砂塚	徳田	トケテン	am	
79	砂塚	北徳根田	キタトケネ	ad,ai,ak	
80	砂塚	南徳根田	ミナミトケネ	ad,ai,ak	
81	砂塚	川内	カチ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	カチ: 大雨のたびに氾濫し浸水した場所
82	砂塚	川内裏	カチウラ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	〃
83	砂塚	堤端	ツツミハタ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	堤有り。旧河道
84	砂塚	宮南 (ae: 宮ノ南)	ミヤミナミ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	宮之堂の南
85	砂塚	與七作 (ah,ai,ak: 与七作)	ヨシツクリ (ae: ヨシツクリ、ad: ヨシツクリ)	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	人名。織機川左岸の後背湿地
86	砂塚	入沼	イリヌ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	旧河道に残った沼
87	砂塚	入志田	イリシタ	ab,ad,ae,ah,ai,am	入沼の南。シタ ^ク : 荒れる、シタル: 垂れ下がる
88	砂塚	押切	オシキリ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	堤防決壊地。河川氾濫地。氾濫で川岸が削られた所
89	砂塚	江無	エナシ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	江: 川
90	砂塚	樋下 (ad,ak: 樋ノ下)	トノシタ	ab,ad,ah,ai,ak,am	川端の南

NO	地区名	字名(地名)	読み	出典	備考
91	砂塚	樋越ノ下	トヨコノシタ	ae	
92	砂塚	獅子ノ原 (ah,am: 獅子原)	シシハラ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	最上川右岸。氾濫地。シ: 湿地・土砂崩れ地
93	砂塚	江湖	エコ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	三日月湖。長洲ヶ淵の南
94	砂塚	小開	コカイ	ab	南原の西。開拓地名
95	砂塚	下志田	シモシタ	ab,ae,ah,ai,am	河川氾濫地。シタ: 荒れる、シタル: 垂れ下がる
96	砂塚	上志田	カミシタ	ab,ae,ah,ai,am	押切の南。河川氾濫地
97	砂塚	中志田	ナカシタ	ab,ae,ah,ai,am	最上川右岸。河川氾濫地
98	砂塚	押切端	オツキハタ	ab,ae,ah,ai,am	堤防決壊地。河川氾濫地。氾濫で川岸が削られた所
99	砂塚	長須ヶ淵 (ae: 長須賀淵)	チヨウスガ フチ	ab,ae,ah,ai,am	長い洲。梨郷 NO10 参照
100	砂塚	道先	トウセン	ad,ak	
101	砂塚	上道先	カミトウセン	ab,ae,ah,ai,am	織機川右岸
102	砂塚	下道先	シモトウセン	ab,ae,ah,ai,am	織機川右岸
103	砂塚	下西郡	シモシロノリ	ab,ae,ah,ai,am	郡衙関連地名か

2. 梨郷 (5) その他の地名等

NO	地区名	地名	読み	出典	備考
1	梨郷	根添邑	ネノエ	市史編纂資料第10集P 168、梨郷村史P 50	梨郷村を根添邑と云う
2	砂塚	沖邑	チム	市史編纂資料第10集P 168、梨郷村史P 50	砂塚を沖邑と云う
3	和田	東根添	ヒガシネノエ	梨郷村史P 50	和田を東根添と云う
4	和田	元堂山	モトウヤマ	梨郷村史P 94	八千鎗神社があったと云う。社殿は毘沙門沢に移転した
5	梨郷	西根添	ニシネノエ	梨郷村史P 51	梨郷を西根添と云う
6	梨郷	舟場	フナバ	梨郷村史P 303	幸来橋付近。かつての舟付場跡
7	砂塚か	(南辻の在家)	ミナツツノサノイ	D (市史上巻 P721)	
8	—	梨郷堰 (上館堰)	リノコウセキ (カミダテセキ)		羽付から和田方向へ流れる川(堰)、途中和光院槽の東で分岐する。南流を「和イ」、西流れを「加イ」という
9	竹原	東車塚	ヒガシクルマツカ	文化財台帳 (正元元年大日板碑)	正元元年大日板碑を治兵衛壇の東車塚塔婆とも称したという

3. 大塚 (1) 大塚の小字名・地名

NO	地区名1	地区名2	字名(地名)	読み	出典	備考
	大塚			オツカ	am	
1	大字大塚	大塚	草刈り場	カサリハ	am	
2	大字大塚	大塚	草苜場一	カサリハ 一	am	
3	大字大塚	大塚	草苜場二	カサリハ 二	am	
4	大字西大塚	西大塚	岡野	オノ	am	
5	大字西大塚	西大塚	岡野一	オノ 一	am	
6	大字東大塚	東大塚	北川原一	キタワラ 一	am	
7	大字東大塚	東大塚	北川原二	キタワラ 二	am	
8	大字東大塚	東大塚	北川原三	キタワラ 三	am	
9	大字東大塚	東大塚	北川原四	キタワラ 四	am	
10	大字東大塚	東大塚	押切二	オシキリ 二	am	堤防決壊地。河川氾濫地。氾濫で川岸が削られた所

※大塚は、元々は川西町大塚であるが、最上川の河川改修により一部が南陽市分となっているため、当該の小字について採録した。

坂上神明宮所蔵 棟札及び神像の調査

1. 経過

池黒の坂上神明宮には皇大神社の棟札5枚と羽黒神社の神像1体が伝わっている。棟札のうち最も古いものは応徳三年（1086年）銘で、後三年の役があった頃の歴史を伝える資料として市指定文化財となっており、平成六年度に東北歴史資料館の協力を得て赤外線による文字解析調査を行っている。この「応徳三年棟札」は全国的にも最古級の年号であるものの、木材の調整に鑿^{のみ}を使用していることや梵字が記されているなど、所々に新しい要素が見られることから、制作年代に関する調査の必要性が高まり、令和三年度に山形大学高感度加速器質量分析センターにより材の炭素年代測定を実施した。

2. 史料について

(1) 棟札（応徳三年棟札）

池黒皇大神社の棟札で、国家安寧を祈り天照皇大神社を再建した際に制作されたと考えられる。棟札銘の詳細は市史上巻に詳しい。表面に墨書があり、右側に「応徳三年」、別当「出羽神輿麿」と記し、左側には社殿の再建にたずさわった人の名を記す。最上部に梵字（バン：金剛界大日如来）が記され、天照大神と大日如来を一体とする神仏混交を示す。

寸法：縦 57cm×上部 17cm×下部 15cm×厚さ 2cm

材質技法：針葉樹 木製板に墨書 釘穴なし

記載年：応徳三年

應徳三年丙寅七月十有五日 当山別当職出羽神輿麻呂 敬白

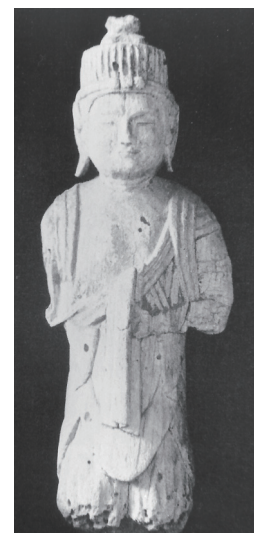
梵字バン（金剛界大日） 奉再立天照皇大神宮 国家安泰如意祈所

木刻師韓志和 鍛冶三条小門宗近



(2) 神像

池黒皇大神社の背後にそびえる上の平山（別名：池黒山、羽黒山）の頂上に羽黒神社があり、その本尊（本地仏か）として祀られていた。明治三十五年（1902年）に風害で社殿が被災して以降社殿は再建されず、像は現在坂上神明宮に安置されている。菩薩形の仏像で神像と称され、平安末期頃の木像聖観音（正観音）と推測されてきた。



3. 理化学分析

(1) 放射性炭素年代測定 (AMS 測定)

採取した計4点の試料について放射性炭素年代測定を行った。棟札に関してはウィグルマッチング法による測定を実施した。

調査期間は令和3年12月13日～令和4年1月18日である。

(2) 現地調査及び試料採集

期 日 令和3年12月13日 (月)

場 所 坂上神明宮

調査者 山形大学理学部物理学科 教授 門叶冬樹教

社会教育課 課長補佐 角田朋行、文化係長 後藤千佳子

内 容 宮司宅を訪問し、史料の実見と炭素年代測定のための試料採集を行った。

- ・和室にシートを敷き、応徳三年棟札、神像の順で試料を採集
- ・棟札の底面から、幅5mm×長さ1cm程の試料について年輪で1～5年、10～15年、20～25年から3点を各十数mg サンプリングした。
- ・神像の脚部から上記と同様に試料1点をサンプリングした。

(3) 年代測定の結果

山形大学高感度加速器質量分析センター報告書「南陽市教育委員会 試料4点の年代測定」に記載のとおり。

4. 制作年代について

池黒皇大神社は延暦年間(782～805年)の創建と伝えられ、応徳三年棟札の他にも再建を記す元和八年(1622年)棟札と元禄七年(1694年)棟札、享保二年(1717年)の尊像建立棟札、文政十二年(1829年)の屋根修繕棟札が残る(1970二瓶)。また、羽黒神社は元禄十二年(1699年)再建との記録がある。

今次調査結果は下記のとおりである。木材の伐採時期を示す放射性炭素年代測定の結果(1σ暦年代範囲・2σ暦年代範囲)及び再建記録からすれば、池黒皇大神社の応徳三年棟札は元禄～宝暦年間に木材を調達し制作されたもの、羽黒神社の神像は享保～明和年間に木材を調達し制作されたものと考えるのが妥当ではないかと考えられる。

(1) 棟札 (応徳三年棟札)

炭素年代測定の結果、池黒皇大神社の応徳三年棟札に使用されている木材の伐採時期は2σ暦年代範囲で1686～1710年(29.5%)、1743～1782年(39.4%)との年代範囲が得られた。これにより棟札は江戸時代に制作された若しくは作り直されたものであることが明らかになった。

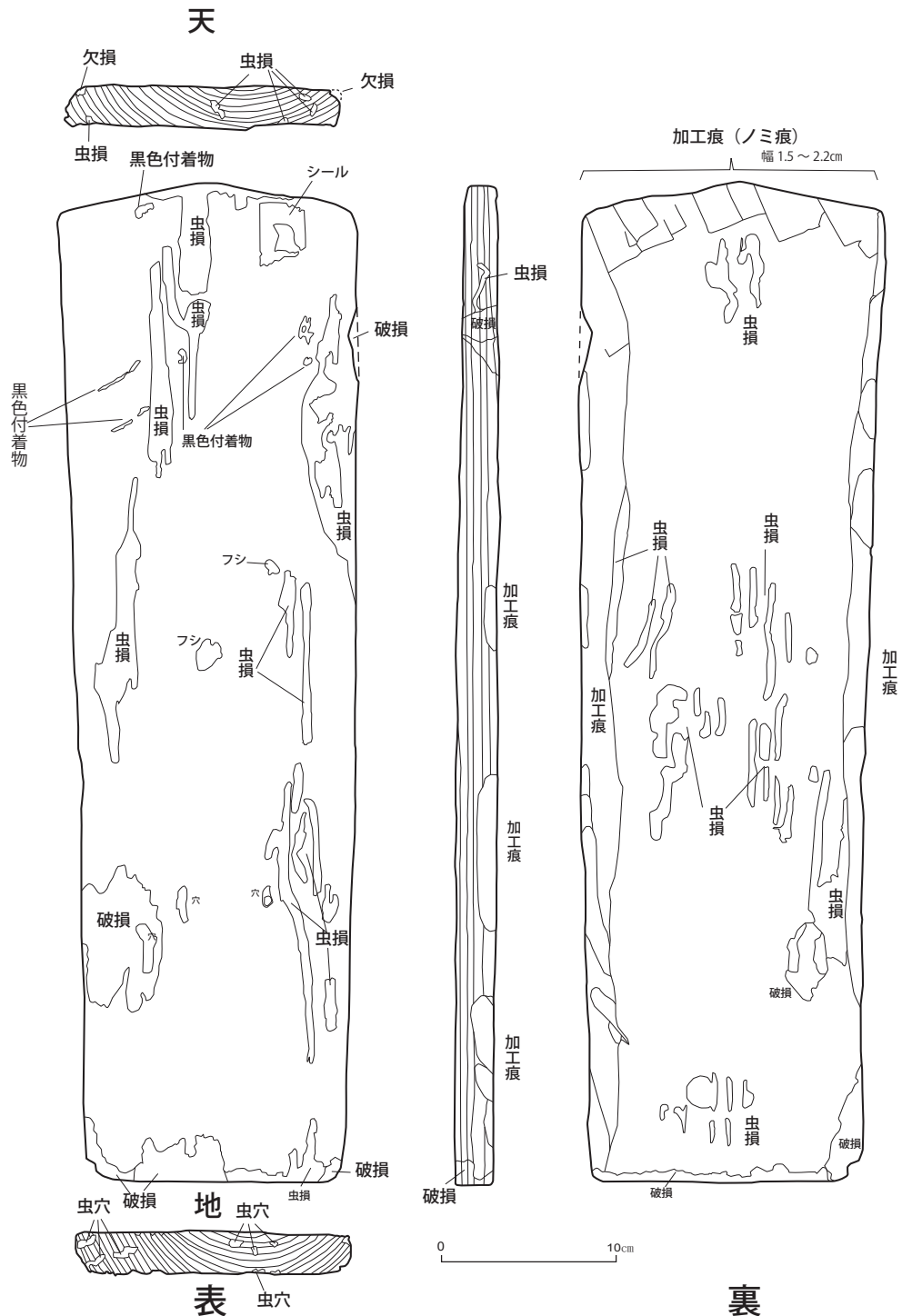
(2) 神像

炭素年代測定の結果、羽黒神社の神像(観音像)に使用されている木材の伐採時期は2σ暦年代範囲で1721～1783年(31.4%)という年代範囲が得られた。これにより神像は江戸時代に制作された木像であることが明らかになった。

5. 棟札のカビ除去等処置について

棟札は、カビや塵埃、虫損による劣化が見られたため、令和4年1月6日～22日に夕鶴の里資料館において以下の方針のもとカビ除去の応急処置を実施した。

- ・史料の状態調査を行い、劣化度合を把握する。
- ・薬剤を含ませない筆を使い、汚れや塵埃を除去する。
- ・エタノール消毒を行い、カビの除去とこれ以上の広がりを防ぐ。
- ・ヤニの除去を行う。



6. 年代測定

南陽市教育委員会 試料4点の年代測定

2022年1月18日

山形大学高感度加速器質量分析センター

1. はじめに

南陽市教育委員会 試料4点（写真1）に対して、加速器質量分析法（AMS法）による放射性炭素年代測定を行った。（皇大神社の棟札3点、羽黒神社神像1点）

2. 試料と測定方法

表1に試料情報を示す。測定試料は、元素分析計、質量分析計、ガラス真空ラインより構成されるグラファイト調整システムにてグラファイト化を行った。その後、加速器質量分析装置（NEC製1.5SDH）を用いて放射性炭素濃度を測定した。

3. 結果

表2～3に同位体分別効果の補正に用いる炭素同位体比（ $\delta^{13}\text{C}$ ）、同位体分別効果の補正を行った放射性炭素年代、較正曲線データを使用して放射性炭素年代を暦年代に較正した年代範囲を示す。各試料の暦年較正結果については、本報告書に添付した。

また、年輪間隔の分かったそれぞれの測定試料の放射性炭素年代を較正曲線上で比較照合する、いわゆるウィグルマッチング法で得られた結果を表2及び図1にそれぞれ示す。サンプルの最外年輪層に対する年代範囲として「NNY-MNFD」試料では1686–1710年（29.5%）、1743–1782年（39.4%）、1797–1799年（0.5%）、1815–1826年（8.8%）、1855–1882年（5.0%）、1886–1892年（1.0%）、1933–1961年（11.3%）が得られた。

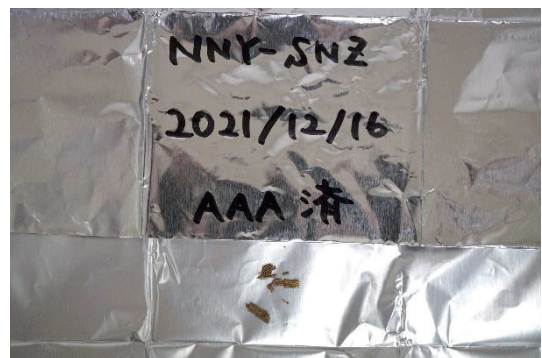
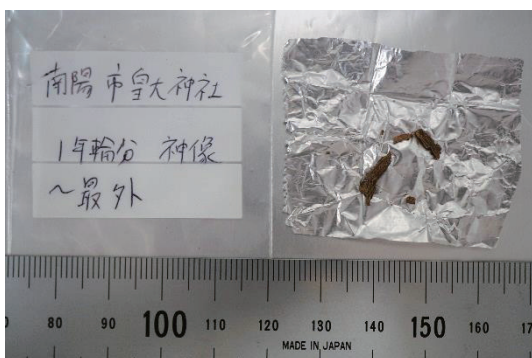
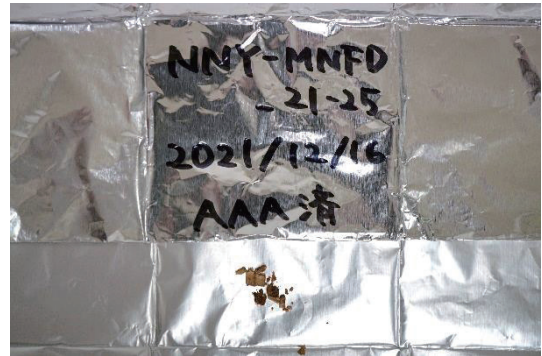
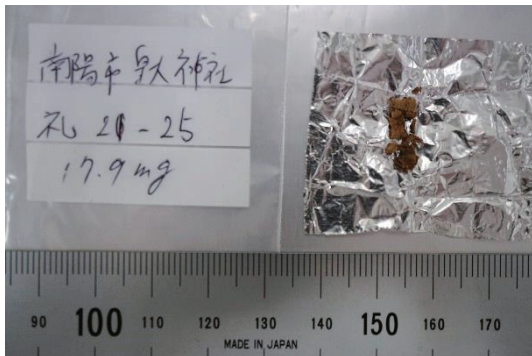
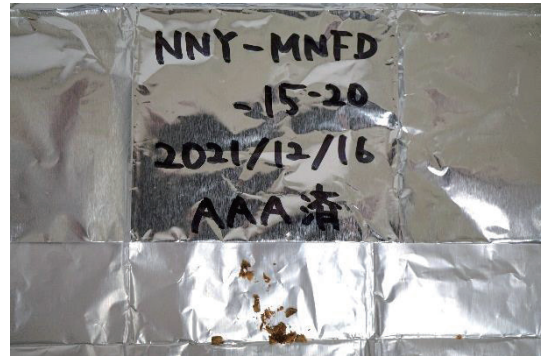
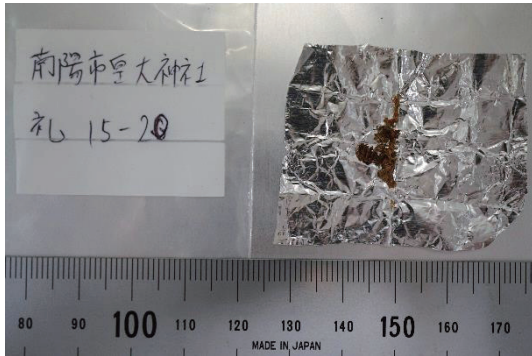
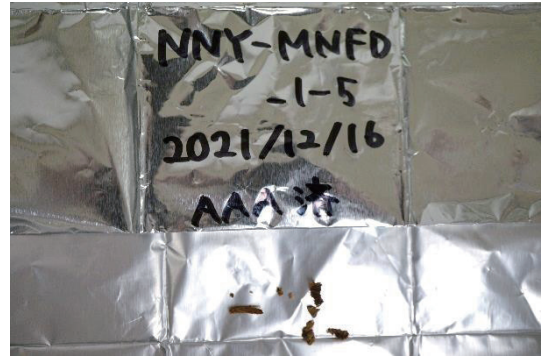
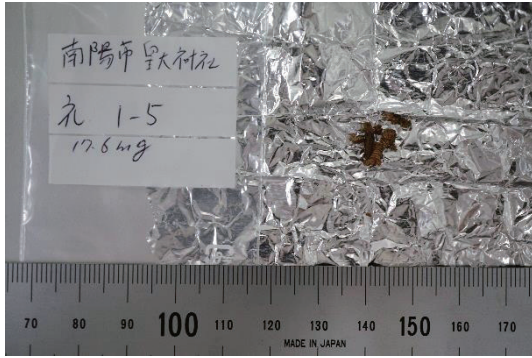


写真1. 試料情報

表 1. 試料情報

ラボコード	測定試料名	試料情報	試料状態	処理
YU-14977	NNY-MNFD_1-5	南陽市教育委員会 社会教育課試料 2021/12/13受取 南陽市皇大神社 棟札 1-5 年輪試料 NNY-MNFD_1-5	前処理後の試料 12.611mgから3.104mg使用	超音波洗浄実施 アセトン5分(1回)→クロロホルム +メタノール(1:1)30分(2回) →アセトン5分(2回) AAA処理 1M HCl 80度1時間 1M NaOH 80度1時間(2回) 1M HCl 80度1時間
YU-14978	NNY-MNFD_15-20	南陽市教育委員会 社会教育課試料 2021/12/13 受取 南陽市皇大神社 棟札 15-20 年輪試料 NNY-MNFD_15-20	前処理後の試料 8.949mgから3.139mg使用	超音波洗浄実施 アセトン5分(1回)→クロロホルム +メタノール(1:1)30分(2回) →アセトン5分(2回) AAA処理 1M HCl 80度1時間 1M NaOH 80度1時間(2回) 1M HCl 80度1時間
YU-14979	NNY-MNFD_21-25	南陽市教育委員会 社会教育課試料 2021/12/13 受取 南陽市皇大神社 棟札 21-25 年輪試料 NNY-MNFD_21-25	前処理後の試料 10.779mgから3.137mg使用	超音波洗浄実施 アセトン5分(1回)→クロロホルム +メタノール(1:1)30分(2回) →アセトン5分(2回) AAA処理 1M HCl 80度1時間 1M NaOH 80度1時間(2回) 1M HCl 80度1時間
YU-14980	NNY-SNZ	南陽市教育委員会 社会教育課試料 2021/12/13 受取 南陽市羽黒神社 神像 1年輪分 年輪試料 NNY-SNZ	前処理後の試料 3.268mgから3.232mg使用	超音波洗浄実施(純水、アセトン) AAA処理 1M HCl 80度1時間 1M NaOH 80度1時間(2回) 1M HCl 80度1時間

表 2. 「NNY-MNFD」 試料の放射性炭素年代測定及び暦年較正の結果

測定番号	試料名	$\delta^{13}\text{C}$ (‰)	放射性炭素年代 (yrBP $\pm 1\sigma$)	放射性炭素年代を暦年代に較正した年代範囲	
				1 σ 暦年代範囲	2 σ 暦年代範囲
YU-14977	NNY-MNFD_1-5	-27.70 \pm 0.46	134 \pm 26	1684AD (10.7%) 1706AD 1720AD (7.3%) 1735AD 1803AD (6.9%) 1818AD 1833AD (31.6%) 1891AD 1907AD (11.7%) 1930AD	1675AD (26.8%) 1744AD 1750AD (4.4%) 1765AD 1799AD (64.2%) 1942AD
YU-14978	NNY-MNFD_15-20	-27.86 \pm 0.37	171 \pm 20	1670AD (12.3%) 1686AD 1733AD (37.6%) 1779AD 1799AD (5.0%) 1805AD 1928AD (13.3%) 1945AD	1662AD (18.2%) 1695AD 1725AD (53.2%) 1813AD 1839AD (0.8%) 1846AD 1852AD (2.4%) 1877AD 1916AD (20.9%) ...
YU-14979	NNY-MNFD_21-25	-28.10 \pm 0.57	152 \pm 20	1675AD (13.6%) 1695AD 1725AD (13.0%) 1744AD 1749AD (10.9%) 1766AD 1799AD (9.1%) 1812AD 1840AD (1.2%) 1842AD 1873AD (1.5%) 1876AD 1916AD (19.0%) 1942AD	1668AD (15.4%) 1700AD 1721AD (29.8%) 1782AD 1796AD (9.9%) 1816AD 1833AD (19.3%) 1890AD 1907AD (21.1%) ...
ウィグルマツチ				1689AD (26.4%) 1706AD 1748AD (25.3%) 1764AD 1773AD (6.4%) 1779AD 1818AD (6.7%) 1824AD 1939AD (3.4%) 1943AD	1686AD (29.5%) 1710AD 1743AD (39.4%) 1782AD 1797AD (0.5%) 1799AD 1815AD (8.8%) 1826AD 1855AD (5.0%) 1882AD 1886AD (1.0%) 1892AD 1933AD (11.3%) 1961AD

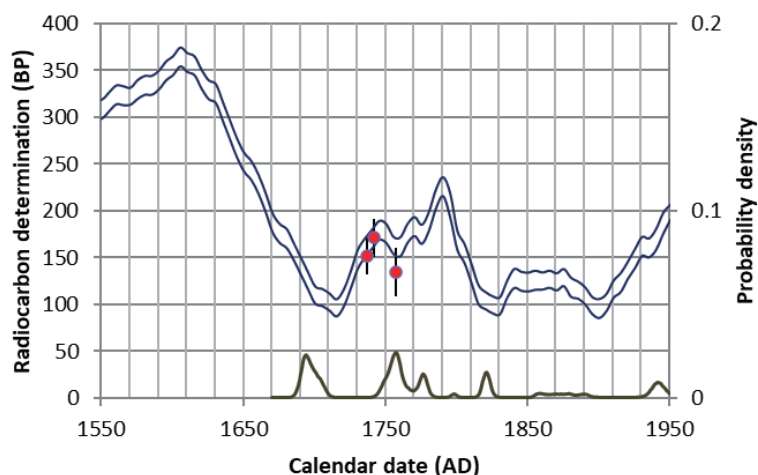


図 1. 「NNY-MNFD」 試料に対するウィグルマツチの結果

表 3. 「NNY-SNZ」 試料の放射性炭素年代測定及び暦年較正の結果

測定番号	試料名	$\delta^{13}\text{C}$ (‰)	放射性炭素年代 (yrBP $\pm 1\sigma$)	放射性炭素年代を暦年代に較正した年代範囲	
				1 σ 暦年代範囲	2 σ 暦年代範囲
YU-14980	NNY-SNZ	-28.88 \pm 0.39	154 \pm 20	1674AD (13.1%) 1694AD 1726AD (26.3%) 1768AD 1773AD (1.9%) 1777AD 1798AD (8.8%) 1812AD 1917AD (18.1%) 1943AD	1667AD (15.7%) 1700AD 1721AD (31.4%) 1783AD 1796AD (9.9%) 1815AD 1833AD (17.2%) 1889AD 1908AD (21.2%) ...

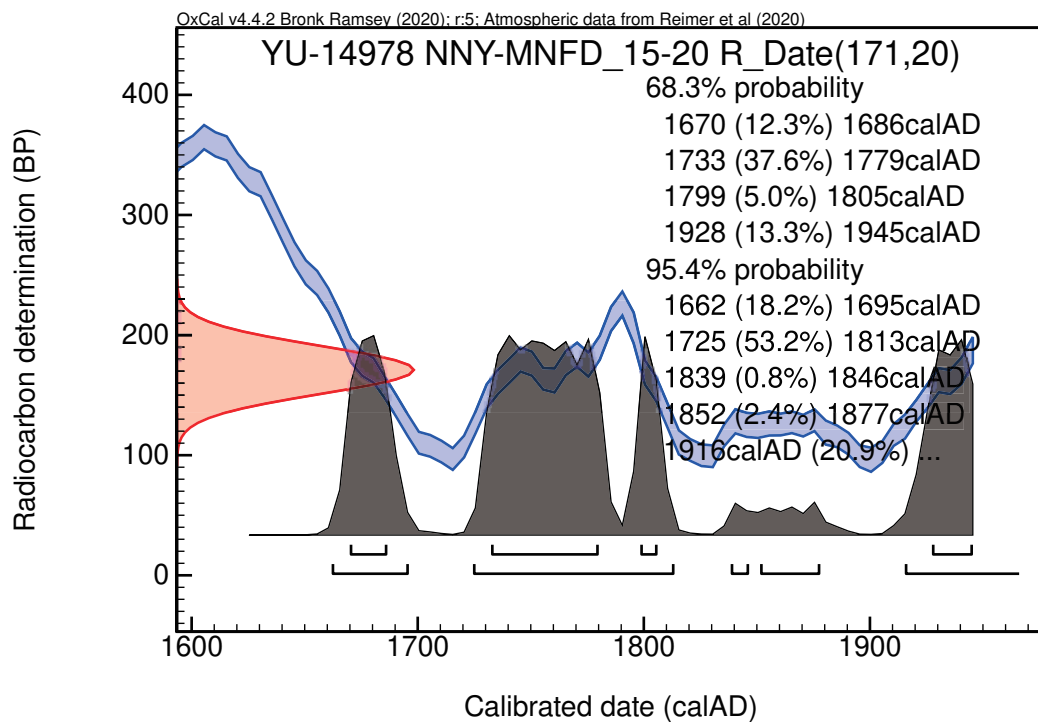
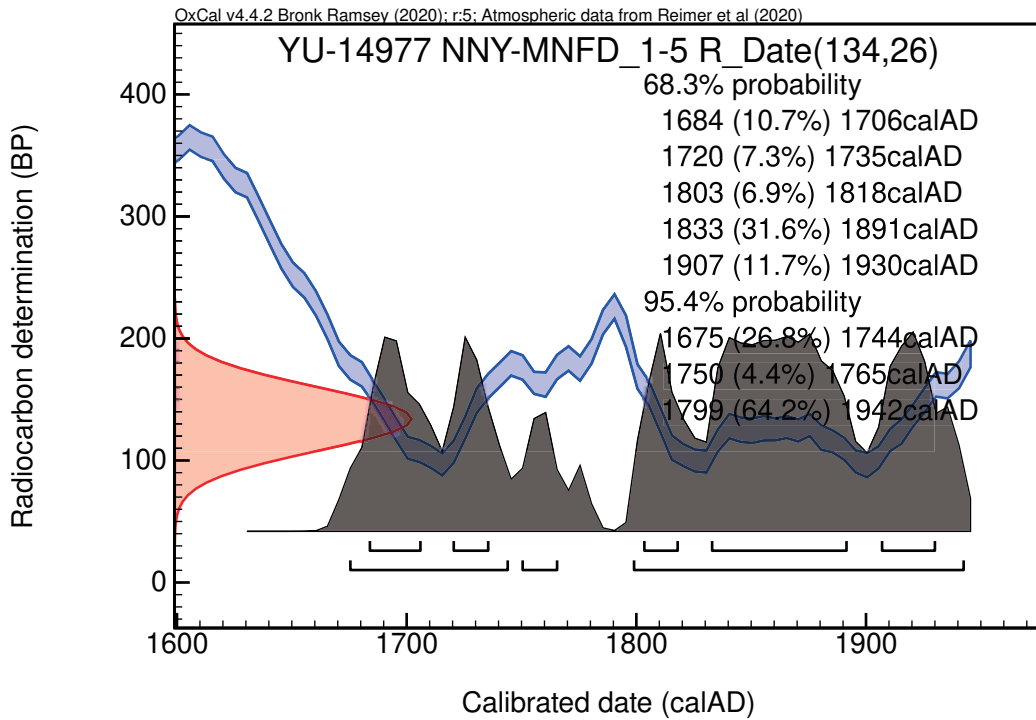
==== 年代測定のおえ方 ====

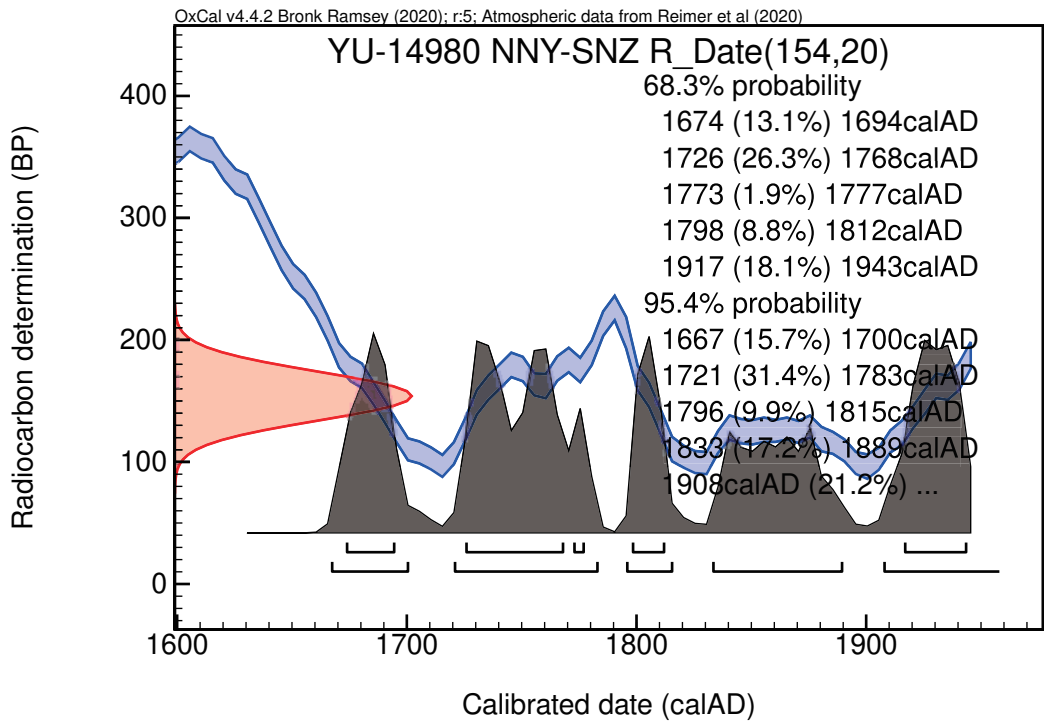
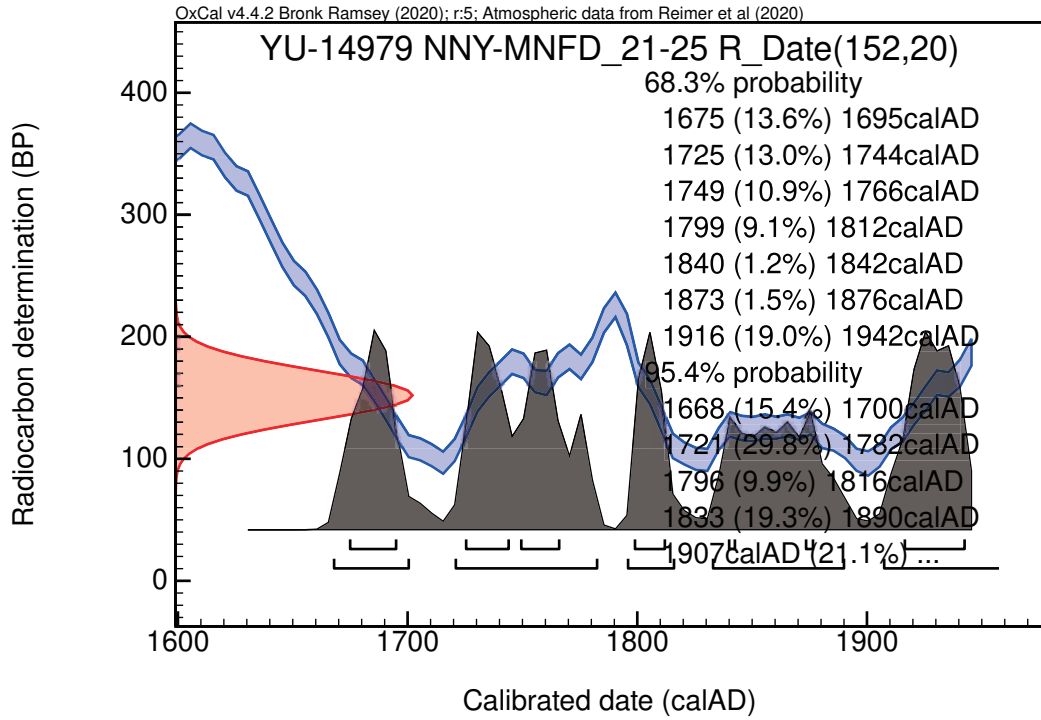
放射性炭素 (^{14}C) 年代は AD1950 年を基点にして何年前かを示した年代である。 ^{14}C 年代 (yrBP) の算出には、 ^{14}C の半減期として Libby の半減期 5568 年を使用した。また、付記した ^{14}C 年代誤差 ($\pm 1\sigma$) は、測定の統計誤差、標準偏差等に基づいて算出され、試料の ^{14}C 年代がその ^{14}C 年代誤差内に入る確率が 68.2%であることを示す。

なお、暦年較正の詳細は以下のとおりである。暦年較正とは、大気中の ^{14}C 濃度が一定で半減期が 5568 年として算出された ^{14}C 年代に対し、過去の宇宙線強度や地球磁場の変動による大気中の ^{14}C 濃度の変動、及び半減期の違い (^{14}C の半減期 5730 ± 40 年) を較正して、より実際の年代値に近いものを算出することである。 ^{14}C 年代の暦年較正には OxCal4.4.2¹⁾ (較正曲線データ: IntCal20²⁾) を使用した。なお、 1σ 暦年代範囲は、OxCal の確率法を使用して算出された ^{14}C 年代誤差に相当する 68.2%信頼限界の暦年代範囲であり、同様に 2σ 暦年代範囲は 95.4%信頼限界の暦年代範囲である。カッコ内の百分率の値は、その範囲内に暦年代が入る確率を意味する。グラフ中の縦軸上の曲線は ^{14}C 年代の確率分布を示し、二重曲線は暦年較正曲線を示す。

参考文献

- 1) C Bronk Ramsey, BAYESIAN ANALYSIS OF RADIOCARBON DATES, Radiocarbon, 51 (1), 337-360 (2009).
- 2) Paula J Reimer, William E N Austin, Edouard Bard, Alex Bayliss, Paul G Blackwell, Christopher Bronk Ramsey, Martin Butzin, Hai Cheng, R Lawrence Edwards, Michael Friedrich, Pieter M Grootes, Thomas P Guilderson, Irka Hajdas, Timothy J Heaton, Alan G Hogg, Konrad A Hughen, Bernd Kromer, Sturt W Manning, Raimund Muscheler, Jonathan G Palmer, Charlotte Pearson, Johannes van der Plicht, Ron W Reimer, David A Richards, E Marian Scott, John R Southon, Christian S M Turney, Lukas Wacker, Florian Adolphi, Ulf Büntgen, Manuela Capano, Simon M Fahrni, Alexandra Fogtmann-Schulz, Ronny Friedrich, Peter Köhler, Sabrina Kudsk, Fusa Miyake, Jesper Olsen, Frederick Reinig, Minoru Sakamoto, Adam Sookdeo, Sahra Talamo, THE INTCAL20 NORTHERN HEMISPHERE RADIOCARBON AGE CALIBRATION CURVE (0–55 CAL kBP), Radiocarbon, 62, 1-33 (2020).





引用・参考文献

1. 安齋徹・西村眞次 1938『東置賜郡史』財団法人東置賜郡教育會
2. 山形県 1938『山形県地名録』
3. 山形県 1965『山形県史資料編九』山形県
4. 山田二男 1965「光保里観世音縁起」『宮内文化史資料第 11 集』宮内文化史研究会
5. 長井政太郎 1968『赤湯町史』赤湯町史編さん委員会発行
6. 二瓶精蔵 1970「別所皇大神社の由緒と棟札」『宮内文化史資料第 24 集』宮内文化史研究会
7. 沖郷村 1973『沖郷村史』沖郷村史編纂委員会
8. 黒江太郎 1976『宮内熊野大社史』熊野文化研究所発行
9. 山形県 1977『山形県史資料篇十五 上古代中世史料 1』山形県
10. 安彦好重 1978『山形県の地名』高陽堂書店
11. 小関清 1979『梨郷村史』梨郷村史編纂会
12. 「角川日本地名大辞典」編纂委員会 1981『角川日本地名大辞典』(榊角川書店)
13. 南陽市教育委員会 1983『市史編集資料第 10 号』南陽市教育委員会
14. 吉野一郎 1984『郡山 矢ノ目館跡遺跡』(南陽市埋蔵文化財調査報告書第 1 集) 南陽市教育委員会
15. 南陽市教育委員会 1985『市史編集資料第 14 号』南陽市教育委員会
16. 米沢市史編さん委員会 1985『米沢市史資料篇 1』
伊達家関係資料「北条段銭帳」「晴宗公采地下賜録」外『米沢市史資料篇 1』
17. 郷土史編集委員会 1986『鍋田郷土史』南陽市鍋田部落会
18. 南陽市教育委員会 1987『市史編集資料第 17 号』南陽市教育委員会
19. 南陽市史編さん委員会 1988『南陽市史民俗編』南陽市
20. 南陽市史編さん委員会 1990『南陽市史上巻』南陽市
21. 南陽市史編さん委員会 1991『南陽市史中巻』南陽市
22. 南陽市史編さん委員会 1992『南陽市史下巻』南陽市
23. 角田朋行 1993『平成 5 年度南陽市字限図調査報告書—平野部—』南陽市教育委員会
24. 山形県神道青年会南陽東置賜支部 1994『南陽東置賜 神社参拝のしをり』
25. 滝沢由美子 1995「地籍図による地域環境と景観の復元」『歴史地理学 172』歴史地理学会
26. 山形県教育委員会 1995『山形県中世城館遺跡調査報告書第 1 集 (置賜地域)』山形県教育委員会
27. 南陽市教育委員会 1996『市史編集資料第 26 号』南陽市教育委員会
28. 山形新聞社 2003『やまがた地名伝説第 1 巻』(山形新聞社)
29. 須貝龍男 2010『彰往考来—南陽市島貫の歴史』須貝龍男
30. 南陽市教育委員会 2010『市史編集資料第 39 号』南陽市教育委員会
31. 高橋一彦ほか 2010『天王遺跡第 1・2 次発掘調査報告書』(山形県埋蔵文化財センター調査報告書第 186 集)
32. 角田朋行 2016『南陽市遺跡分布調査報告書 (3)』(南陽市埋蔵文化財調査報告書第 11 集)
南陽市教育委員会
33. 角田朋行 2016『南陽市遺跡分布調査報告書 (4)』(南陽市埋蔵文化財調査報告書第 13 集)
南陽市教育委員会
34. 角田朋行 2017『南陽市遺跡分布調査報告書 (5)』(南陽市埋蔵文化財調査報告書第 15 集)
南陽市教育委員会
35. 角田朋行 2021『南陽市字限図調査報告 (1) —赤湯・宮内・金山—』(南陽市文化財調査報告書第 1 集)
南陽市教育委員会
36. 角田朋行 2022『南陽市字限図調査報告 (2) —沖郷—』(南陽市文化財調査報告書第 2 集)
南陽市教育委員会

報告書抄録

ふりがな	なんようしあざきりずちょうさほうこくしょ(3) ーうるしやま・りんごうー
書名	南陽市字限図調査報告書(3) ー 漆山・梨郷 ー
副書名	坂上神明宮所蔵 棟札及び神像の調査
巻次	
シリーズ名	南陽市文化財調査報告書
シリーズ番号	第3集
編著者名	角田朋行
編集機関	南陽市教育委員会
所在地	〒999-2292 山形県南陽市三間通436番地1 TEL 0238-40-3211
発行年月日	2023年3月31日
要約	<p>市内遺跡分布調査の基礎資料として市内平野部の字限図調査を実施したもの。明治期の字限図から字寄図を作成し、それを基本図として土地利用図等を作成した。土地利用図と地名等から地形状況の把握や館跡等の検討を行った。また、小字名・地名等を採録した。本報告書では市内8地区のうち漆山・梨郷地区分について報告している。</p> <p>また、坂上神明宮所蔵の皇大神社の応徳三年銘棟札と羽黒神社の神像の木材の炭素年代測定を行い、共に近世の制作であることが明らかになった。</p>

南陽市文化財調査報告書
南陽市字限図調査（3）
— 漆山・梨郷 —
坂上神明宮所蔵 棟札及び神像の調査

2023年3月31日

発行 南陽市教育委員会
〒999-2292 山形県南陽市三間通436番地の1
電話 0238-40-3211（代）
印刷 有限会社文進堂印刷
〒999-2221 山形県南陽市柵塚811-3
電話 0238-43-2116

